

平成 29 年 9 月 12 日  
北広島市保健福祉計画検討委員会  
障がい福祉部会 【 資料 2 】

# 平成 29 年度 福祉に関するアンケート調査報告

## 【調査結果】

平成 29 年 9 月  
北広島市



---

# 目次

---

|                                 |          |
|---------------------------------|----------|
| <b>調査概要</b> .....               | <b>1</b> |
| 調査の目的 .....                     | 2        |
| 調査の方法 .....                     | 2        |
| この報告書の見方 .....                  | 2        |
| <b>調査結果</b> .....               | <b>3</b> |
| 問1 回答者.....                     | 5        |
| あなた(宛名の方)の性別・年齢・ご家族などについて ..... | 6        |
| 問2 年齢.....                      | 6        |
| 問3 性別.....                      | 7        |
| 問4 居住地域.....                    | 8        |
| 問5 一緒に暮らしている人.....              | 9        |
| 問6 日常生活における介助の必要性.....          | 10       |
| ①食事.....                        | 10       |
| ②トイレ.....                       | 11       |
| ③入浴.....                        | 12       |
| ④衣服の着脱.....                     | 13       |
| ⑤身だしなみ.....                     | 14       |
| ⑥家の中の移動.....                    | 15       |
| ⑦外出.....                        | 16       |
| ⑧家族以外の人との意思疎通.....              | 17       |
| ⑨お金の管理.....                     | 18       |
| ⑩薬の管理.....                      | 19       |
| 問7 主な介助者.....                   | 20       |
| 問8 中心的な家族内介助者の年齢・性別・健康状態.....   | 21       |
| ①年齢.....                        | 21       |
| ②性別.....                        | 22       |
| ③健康状態.....                      | 23       |
| あなたの障がいの状況について .....            | 24       |
| 問9 身体障害者手帳の有無.....              | 24       |
| 問10 身体障害者手帳を持っている場合の主たる障害.....  | 25       |
| 問11 療育手帳の有無.....                | 26       |
| 問12 精神障害者保健福祉手帳の有無.....         | 27       |
| 問13 自立支援医療(精神通院医療)受給者証の有無.....  | 28       |
| 問14 難病(特定疾患)の認定を受けているか.....     | 29       |
| 問15 発達障害として診断されたことがあるか.....     | 30       |

|                     |                             |    |
|---------------------|-----------------------------|----|
| 問 16                | 高次脳機能障害として診断されたことがあるか       | 31 |
| 問 17                | 現在受けている医療ケア                 | 32 |
| 障がい者手帳をお持ちのお子さんについて |                             | 33 |
| 問 18                | 障がい者手帳をはじめて交付された時期          | 33 |
| 問 19                | 子どもの介護者                     | 34 |
| 問 19-①              | 子どもの主な介護者                   | 35 |
| 問 20                | 子どもの発達の不安や障がいに気づいたきっかけ      | 36 |
| 問 20-①              | 子どもの発達の不安や障がいに気づいた年齢        | 37 |
| 住まいや暮らしについて         |                             | 38 |
| 問 21                | 居住形態                        | 38 |
| 問 22                | 同居人が高齢・病気等で一緒に暮らせなくなった場合の意向 | 39 |
| 問 23                | 施設に入所する場合、いつ頃の入所を希望するか      | 40 |
| 問 24                | 将来どのように地域で暮らしたいか            | 41 |
| 問 25                | いつ頃までに地域での生活を始めたいか          | 42 |
| 問 26                | 地域で生活するために必要な支援             | 43 |
| 日中活動や就労について         |                             | 44 |
| 問 27                | 1週間にどの程度外出するか               | 44 |
| 問 28                | 外出する際の主な同伴者                 | 45 |
| 問 29                | どのような目的で外出することが多いか          | 46 |
| 問 30                | 外出する時に困ること                  | 47 |
| 問 31                | 平日の日中の主な過ごし方                | 48 |
| 問 32                | 勤務形態                        | 49 |
| 問 33                | 今後、収入を得る仕事をしたいか             | 50 |
| 問 34                | 収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいか  | 51 |
| 問 35                | 必要だと思う障がい児・者の就労支援           | 52 |
| 障がい福祉サービスなどの利用について  |                             | 53 |
| 問 36                | 障害支援区分の認定                   | 53 |
| 問 37                | 障がい福祉サービス等の利用について           | 54 |
| 権利擁護について            |                             | 56 |
| 問 39                | 障害者差別解消法の施行を知っているか          | 56 |
| 問 40                | 障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことの有無 | 57 |
| 問 42                | 成年後見制度について知っているか            | 58 |
| 問 43                | 成年後見制度の利用状況と今後の利用意向         | 59 |
| 相談相手について            |                             | 60 |
| 問 44                | 悩みや困ったことの相談相手               | 60 |
| 問 45                | 障害のことや福祉サービスなどに関する情報の取得先    | 61 |
| 災害時の避難などについて        |                             | 62 |

|      |                            |    |
|------|----------------------------|----|
| 問 46 | 火事や地震等の災害時に一人で避難できるか ..... | 62 |
| 問 47 | 近所にあなたを助けてくれる人はいるか .....   | 63 |
| 問 48 | 火事や地震等の災害時に困ること .....      | 64 |

#### 自由記入設問

|      |   |    |
|------|---|----|
| 問 38 | あなたが、上記の(障がい福祉)サービスを利用していない理由は何ですか。<br>(自由にご記入ください) ..... | 65 |
| 問 41 | どのような場所や状況で差別や嫌な思いをしましたか。(自由にご記入ください) .....               | 69 |
|      | 障がい福祉サービスや行政の取り組みについて、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。 .....      | 75 |

---

## 調査概要

---

## 調査の目的

北広島市では、「北広島市障がい支援計画」の策定にあたり、住民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てることを目的としたアンケート調査を実施しました。

## 調査の方法

- 調査対象：市内在住の 65 歳未満の障がい福祉サービス等利用児者 647 名  
及び市内在住の 65 歳未満の障がい者手帳所持者のうち障がい福祉サービス等未利用児者 300 名（無作為抽出）
- 調査期間：平成 29 年 7 月 4 日～7 月 31 日
- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 配布・回収状況：

|      | 配布数   | 回収数   | 回収率   |
|------|-------|-------|-------|
| 住民対象 | 947 票 | 530 票 | 56.0% |

## この報告書の見方

この報告書の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、全て小数第 2 位以下を四捨五入し、小数第 1 位までを表記します。このため、全ての割合の合計が 100%にならないことがあります。また、複数回答の設問では、全ての割合の合計が 100%を超えることがあります。

---

## 調查結果

---

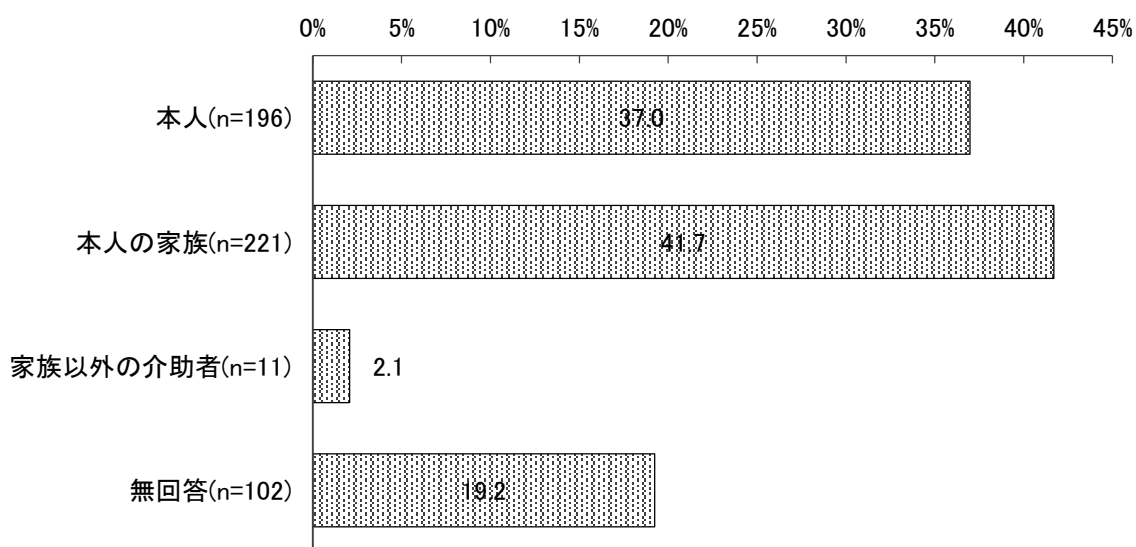


問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」とお呼びしますので、ご本人(この調査票の対象者：障がいのある方)の状況などについて、お答えください

回答者は、全体でみると「本人の家族」が41.7%と最も高く、次いで「本人」が37.0%、「家族以外の介助者」が2.1%となっています。

### 【回答者】

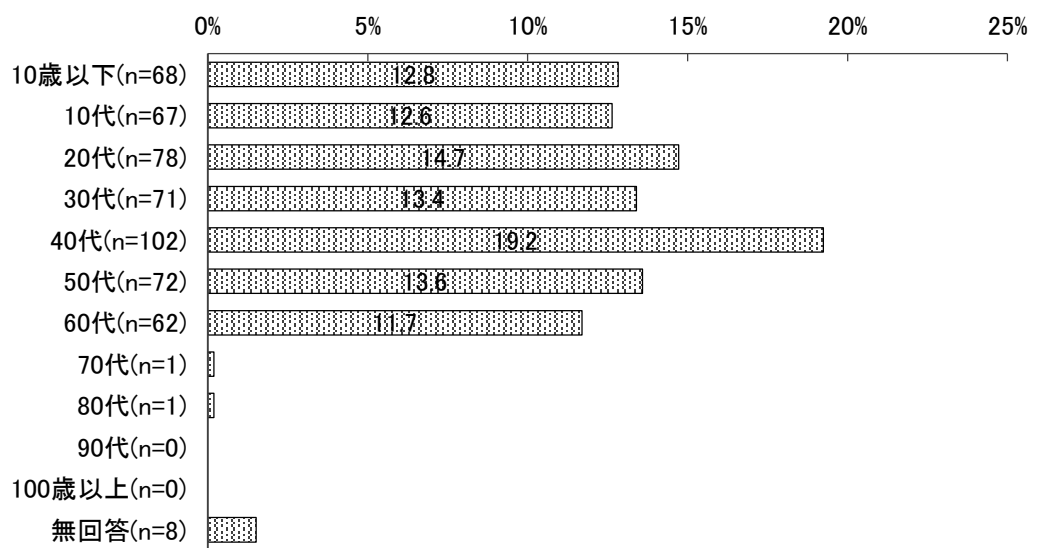


## あなた(宛名の方)の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢をお答えください。

年齢は、全体で見ると「40代」が19.2%と最も高く、次いで「20代」が14.7%、「50代」が13.6%、「30代」が13.4%、「10歳以下」が12.8%、「10代」が12.6%、「60代」11.7%となっています。

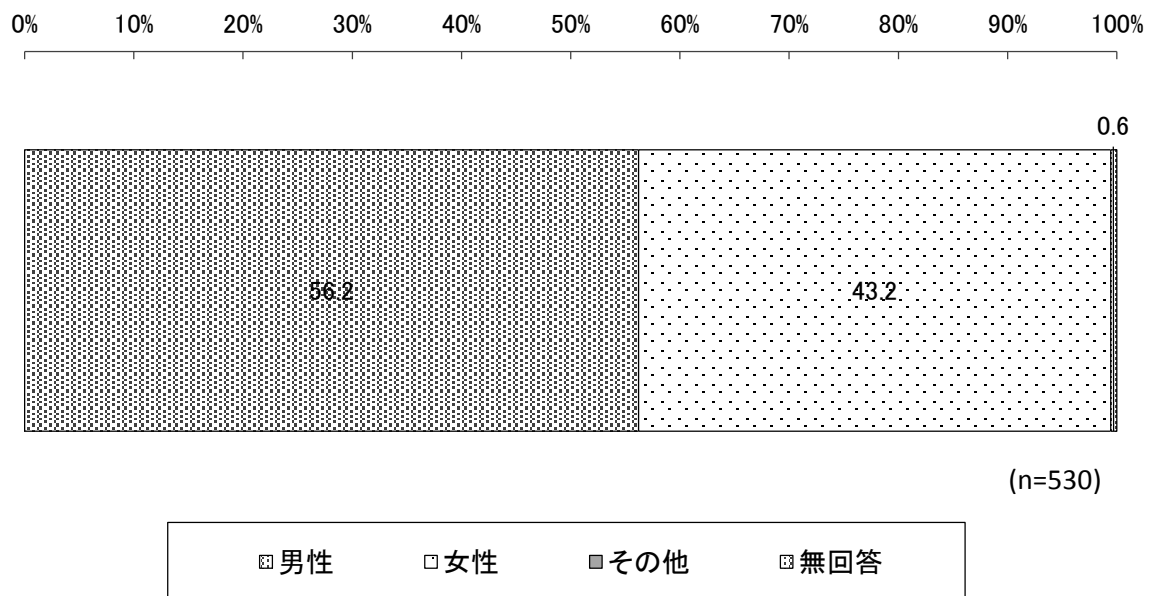
### 【年齢】



問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

性別は、全体で見ると「男性」が56.2%、「女性」が43.2%となっています。

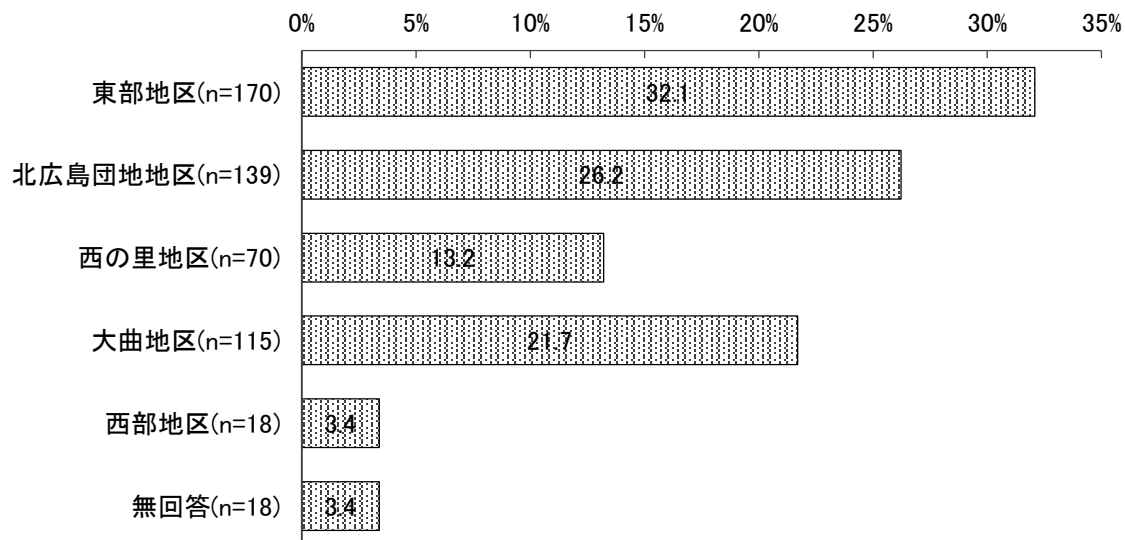
【性別】



問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(○は1つだけ)

居住地域は、全体で見ると「東部地区」が32.1%と最も高く、次いで「北広島団地地区」が26.2%、「大曲地区」が21.7%、「西の里地区」が13.2%、「西部地区」が3.4%となっています

### 【居住地域】



問 5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

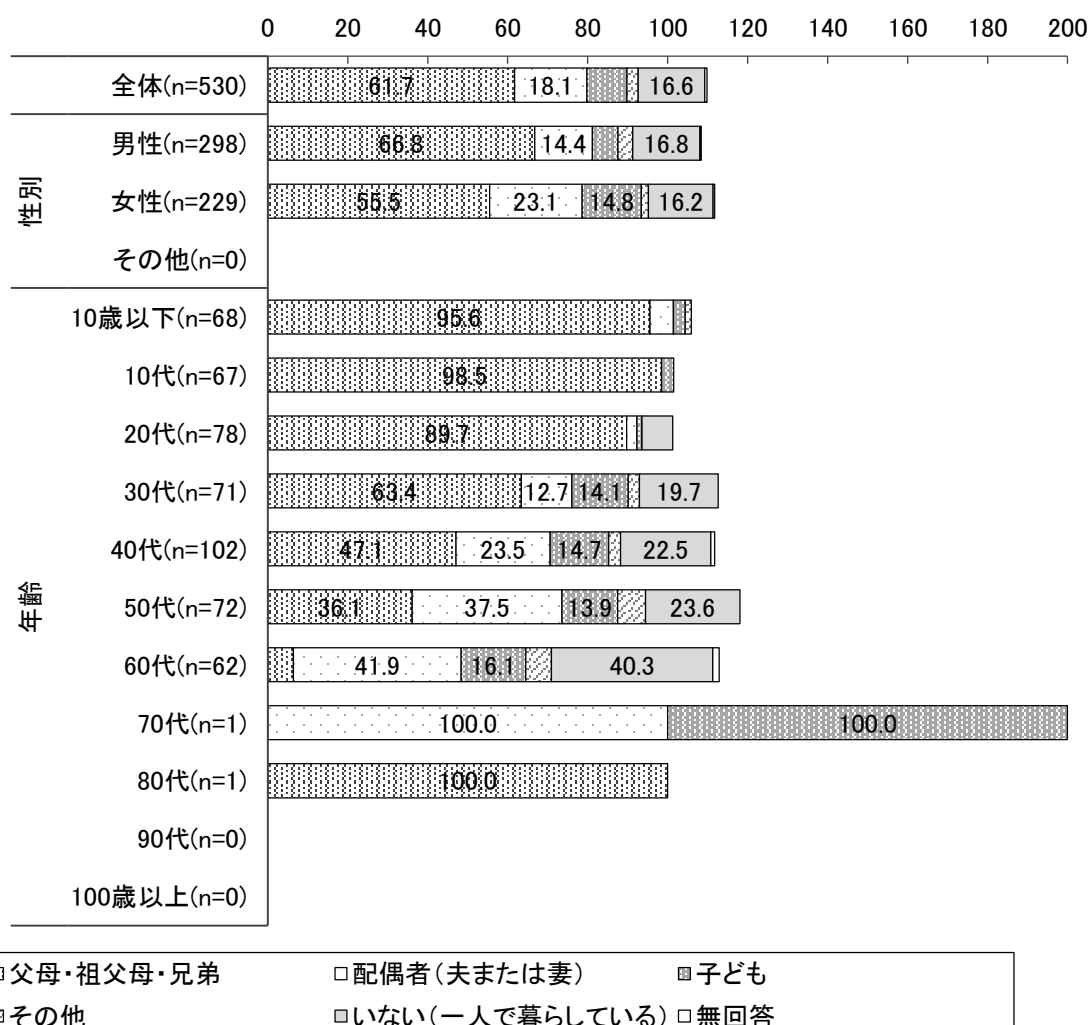
一緒に暮らしている人は、全体で見ると「父母・祖父母・兄弟」が 61.7%と最も高く、次いで「配偶者（夫または妻）」が 18.1%、「いない（一人で暮らしている）」が 16.6%となっています。

【その他】

孫/共同住宅で暮らす/グループホーム、リハビリセンター入所中/入院中/ など

属性別における「父母・祖父母・兄弟」の割合をみると、性別では男性が 66.8%であるのに対して、女性が 55.5%で 11.3 ポイント低くなっています。年齢階級別では 10 代が 98.5%で最も高く、70 代まで年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられます。

【一緒に暮らしている人】



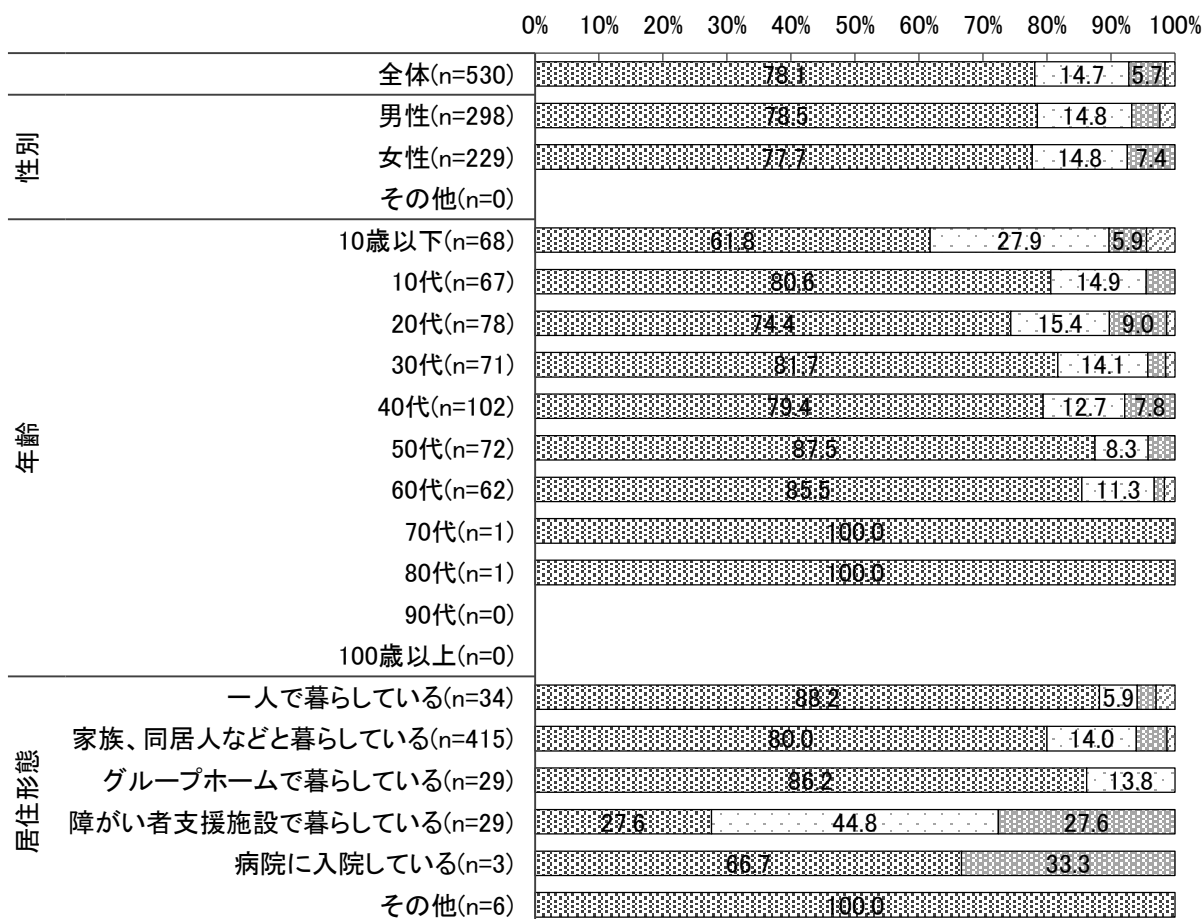
問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つ)

問6-①食事の介助の必要性

食事の介助の必要性は、全体で見ると「一人でできる」が78.1%と最も高く、次いで「一部介助が必要」が14.7%、「全部介助が必要」が5.7%となっています。

属性別における「一人でできる」の割合をみると、年齢階級別では50代が87.5%で最も高く、10代が61.8%で最も低くなっています。

### 【食事の介助の必要性】



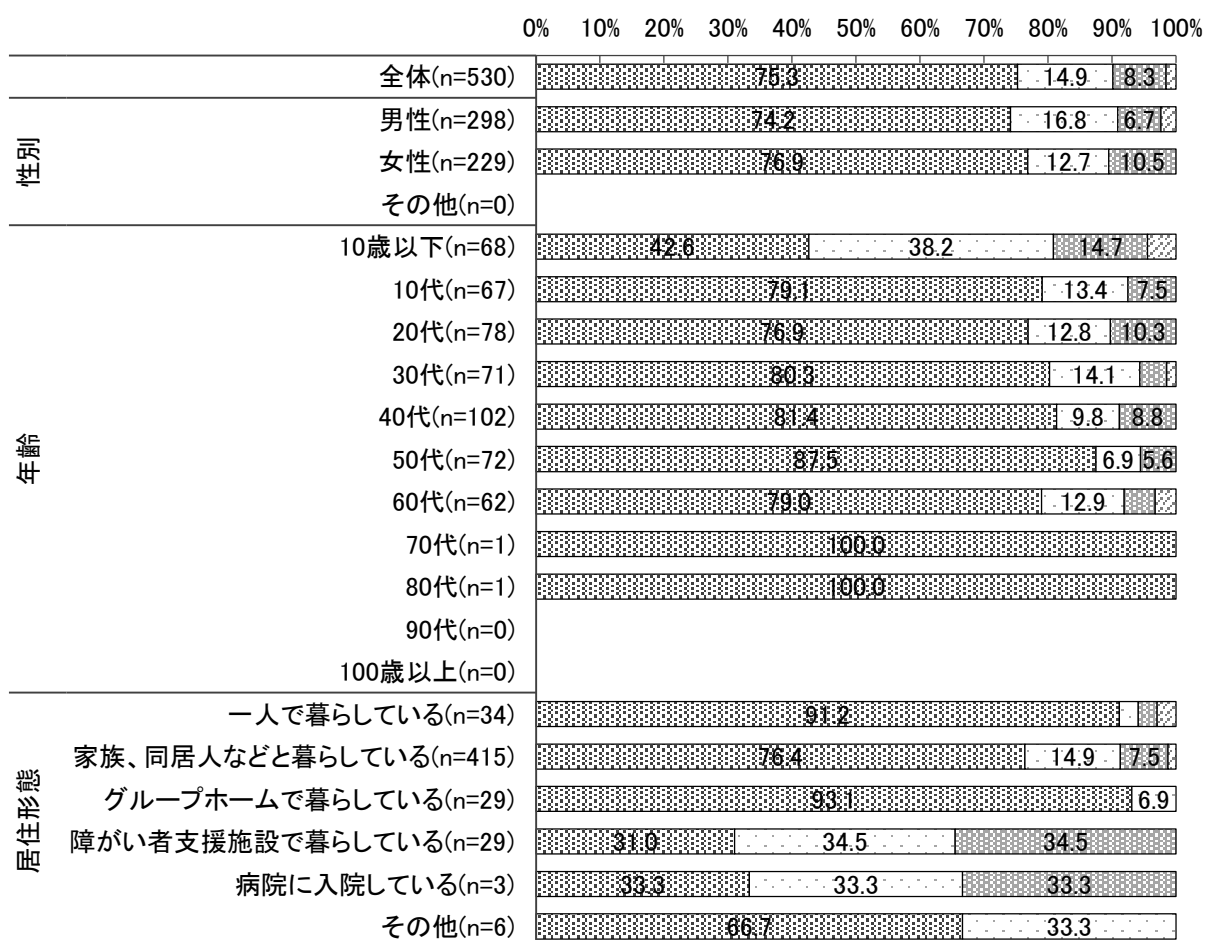
①一人で行える ②一部介助が必要 ③全部介助が必要 ④無回答

問6-②トイレの介助の必要性

トイレの介助の必要性は、全体で見ると「一人でできる」が75.3%と最も高く、次いで「一部介助が必要」が14.9%、「全部介助が必要」が8.3%となっています。

属性別における「一人でできる」の割合をみると、10歳以下が42.6%で最も低くなっています。居住形態別では「障がい者支援施設で暮らしている」が31.0%、「病院に入院している」の33.3%と全体よりも41ポイント以上低くなっています。

【トイレの介助の必要性】



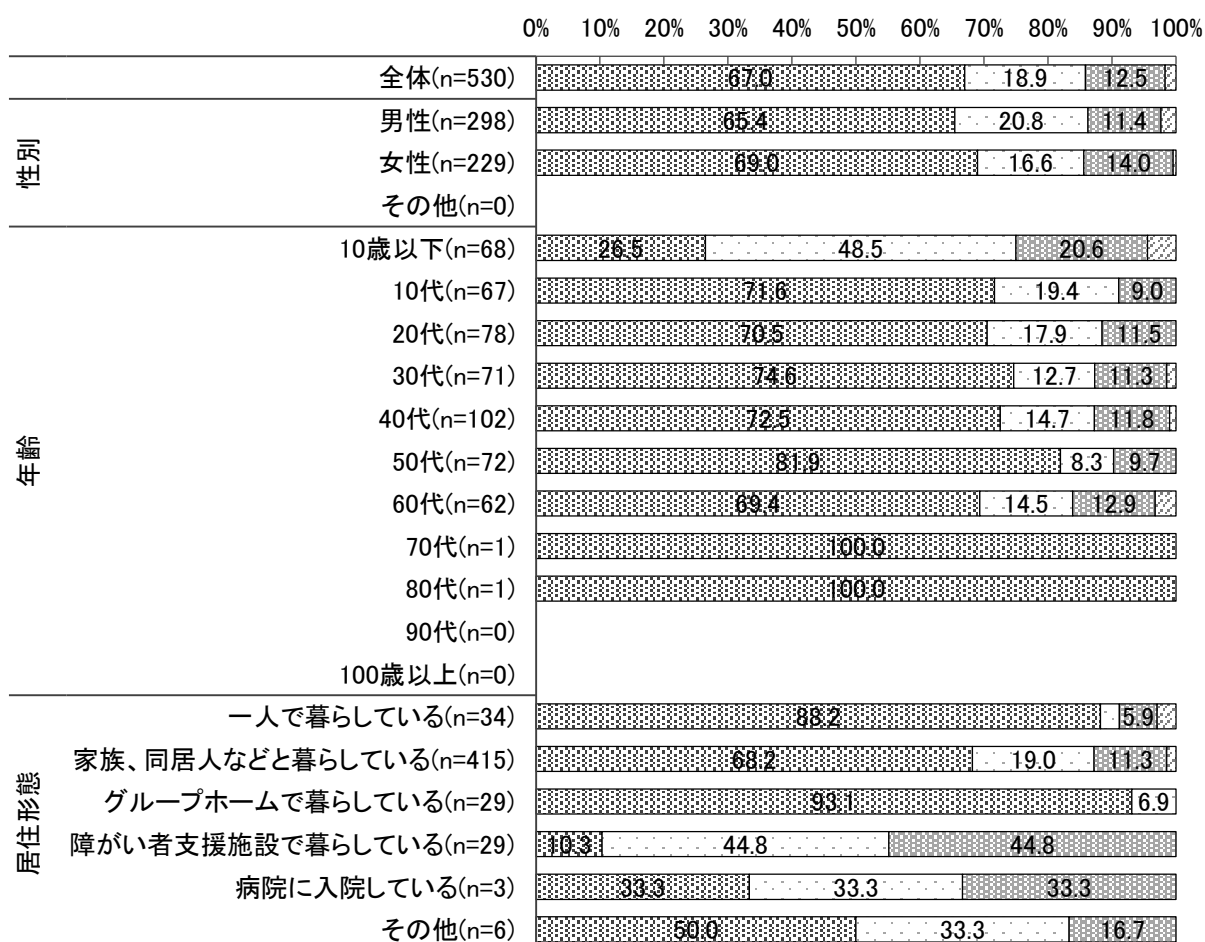
☑ 一人でできる   □ 一部介助が必要   ■ 全部介助が必要   □ 無回答

問 6-③入浴の介助の必要性

入浴の介助の必要性は、全体で見ると「一人のできる」が 67.0%と最も高く、次いで「一部介助が必要」が 18.9%、「全部介助が必要」が 12.5%となっています。

属性別における「一人のできる」の割合をみると、年齢階級別では 10 歳以下が 26.5%で最も低くなっています。居住形態別では「障がい者支援施設で暮らしている」が 10.3%、「病院に入院している」の 33.3%と全体よりも 33 ポイント以上低くなっています。

【入浴の介助の必要性】



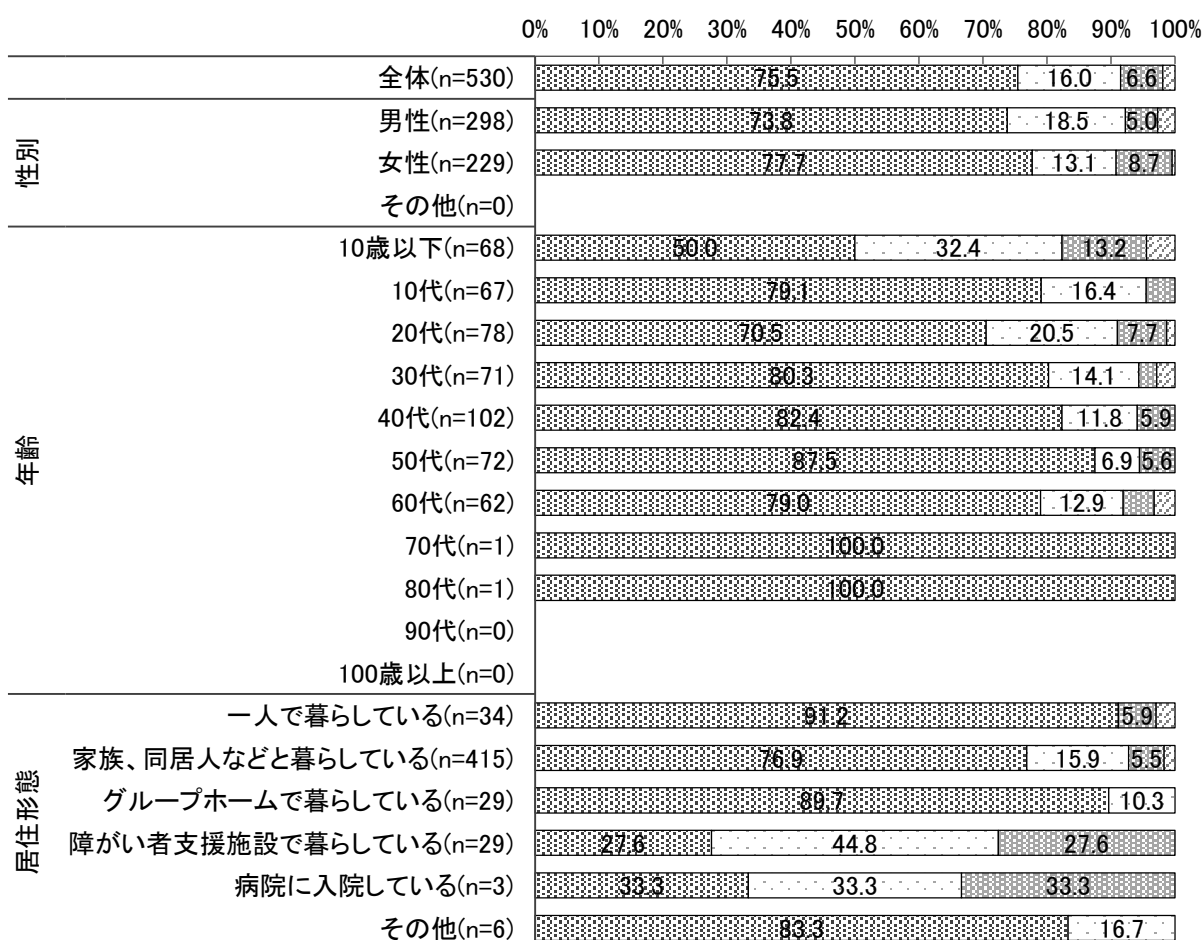
一人のできる
 一部介助が必要
 全部介助が必要
 無回答

問 6-④衣服の着脱の介助の必要性

衣服の着脱の介助の必要性は、全体で見ると「一人で行える」が75.5%と最も高く、次いで「一部介助が必要」が16.0%、「全部介助が必要」が6.6%となっています。

属性別における「一人で行える」の割合をみると、年齢階級別では10歳以下が50.0%で最も低くなっています。居住形態別では「障がい者支援施設で暮らしている」が27.6%、「病院に入院している」の33.3%と全体よりも42ポイント以上低くなっています。

【衣服の着脱の介助の必要性】



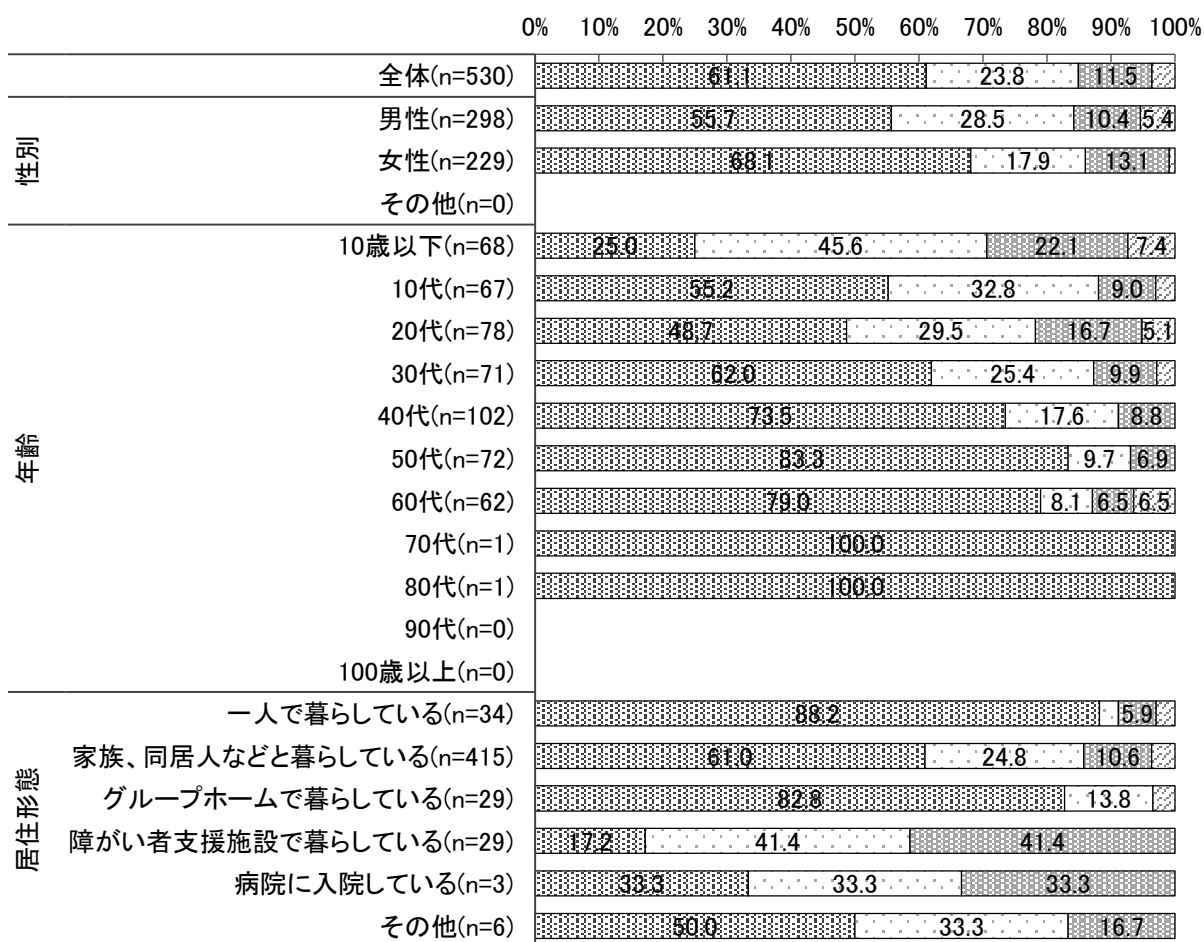
一人で行える
  一部介助が必要
  全部介助が必要
  無回答

問 6-⑤身だしなみの介助の必要性

身だしなみの介助の必要性は、全体で見ると「一人できる」が61.1%と最も高く、次いで「一部介助が必要」が23.8%、「全部介助が必要」が11.5%となっています。

属性別における「一人できる」の割合をみると、性別では男性が55.7%であるのに対して、女性が68.1%で12.4ポイント高くなっています。年齢階級別では10歳以下が25.0%で最も低くなっています。居住形態別では「障がい者支援施設で暮らしている」が17.2%、「病院に入院している」の33.3%と全体よりも27ポイント以上低くなっています。

【身だしなみの介助の必要性】



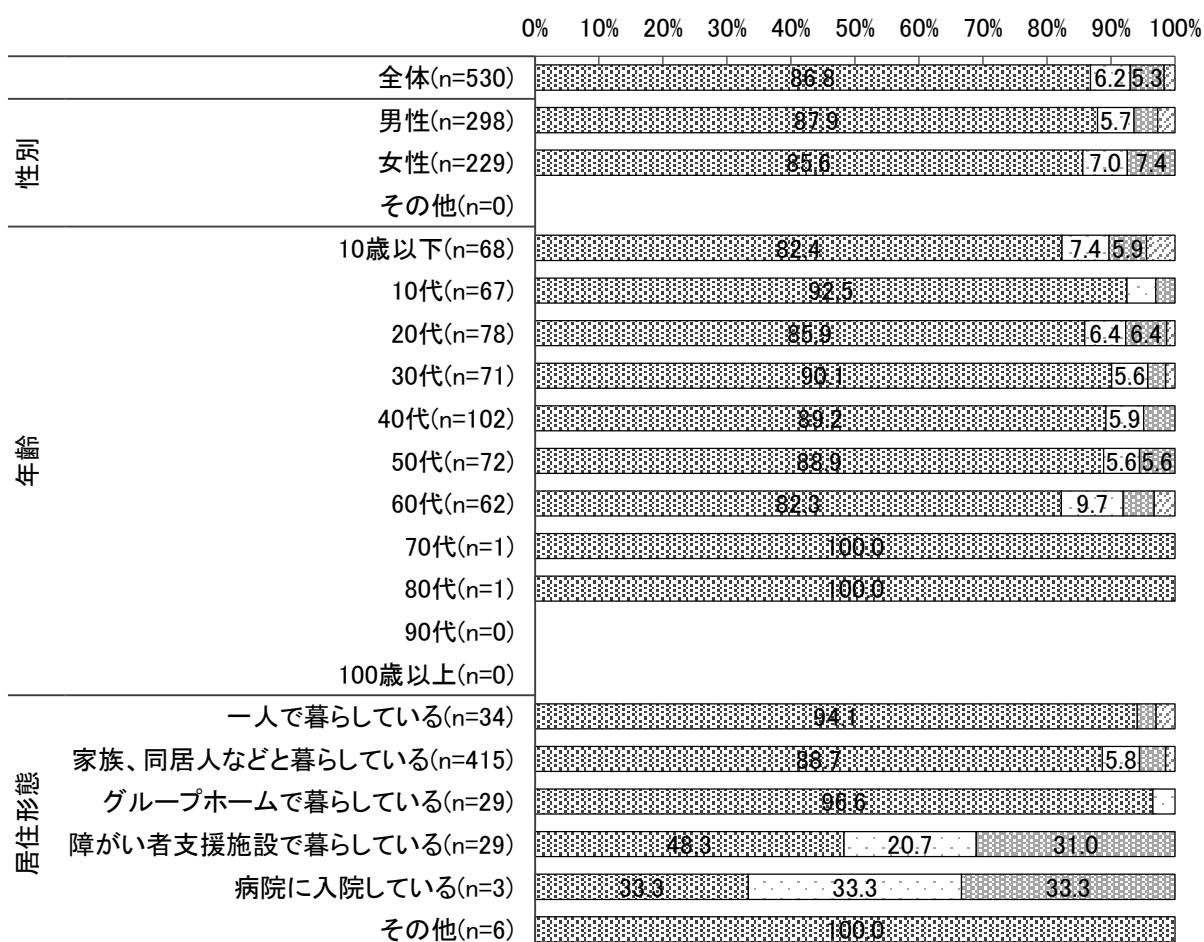
■一人できる □一部介助が必要 ■全部介助が必要 □無回答

問 6-⑥家の中の移動の介助の必要性

家の中の移動の介助の必要性は、全体で見ると「一人で行ける」が86.8%と最も高く、次いで「一部介助が必要」が6.2%、「全部介助が必要」が5.3%となっています。

属性別における「一人で行ける」の割合をみると、年齢階級別では60代が82.3%で最も低くなっています。居住形態別では「障がい者支援施設で暮らしている」が48.3%、「病院に入院している」の33.3%と全体よりも38ポイント以上低くなっています。

【家の中の移動の介助の必要性】



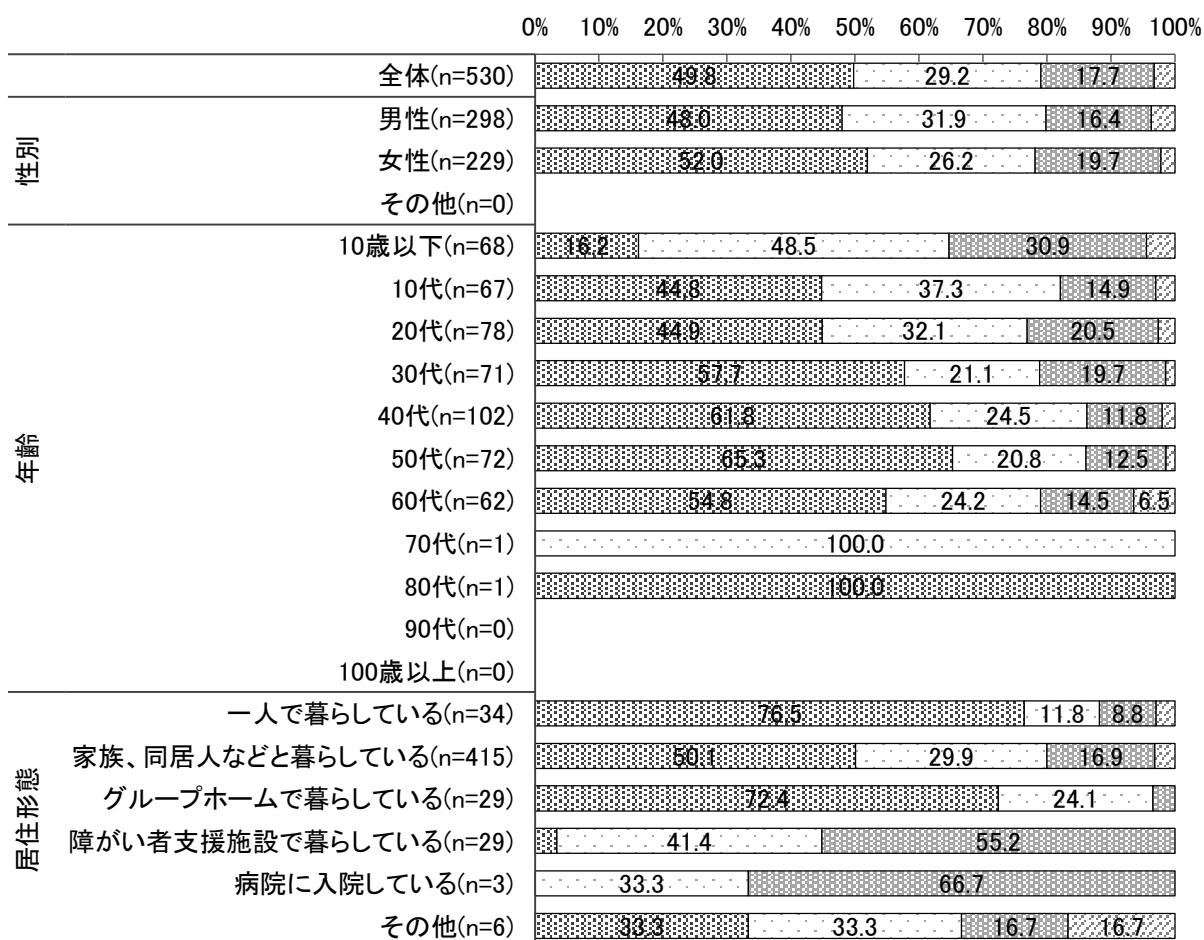
■一人で行ける □一部介助が必要 ■全部介助が必要 □無回答

問 6-⑦外出の介助の必要性

外出の介助の必要性は、全体で見ると「一人のできる」が 49.8%と最も高く、次いで「一部介助が必要」が 29.2%、「全部介助が必要」が 17.7%となっています。

属性別における「一人のできる」の割合をみると、年齢階級別では 10 歳以下が 16.2%で最も低くなっています。居住形態別では「家族、同居人などと暮らしている」が 50.1%で、「一人で暮らしている」の 76.5%よりも 26.4 ポイント低くなっています。

【外出の介助の必要性】



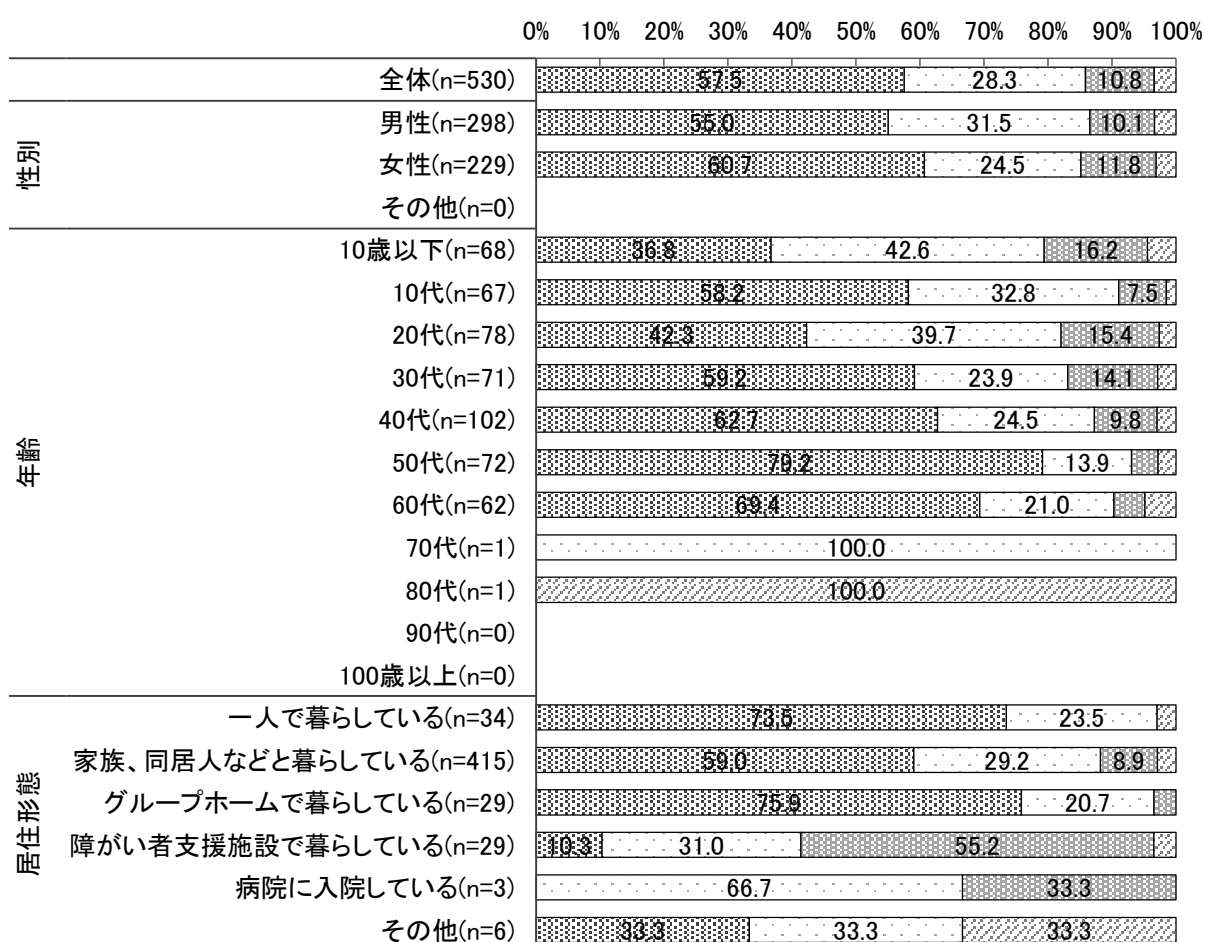
■一人のできる □一部介助が必要 ■全部介助が必要 □無回答

問 6-⑧ 家族以外の人との意思疎通の介助の必要性

家族以外の人との意思疎通の介助の必要性は、全体でみると「一人のできる」が 57.5%と最も高く、次いで「一部介助が必要」が 28.3%、「全部介助が必要」が 10.8%となっています。

属性別における「一人のできる」の割合をみると、年齢階級別では 50 代が 79.2%と最も高く、10 歳以下が 36.8%で最も低くなっています。居住形態別では「家族、同居人などと暮らしている」が 59.0%で、「一人で暮らしている」の 73.5%よりも 14.5 ポイント低くなっています。

【家族以外の人との意思疎通の介助の必要性】



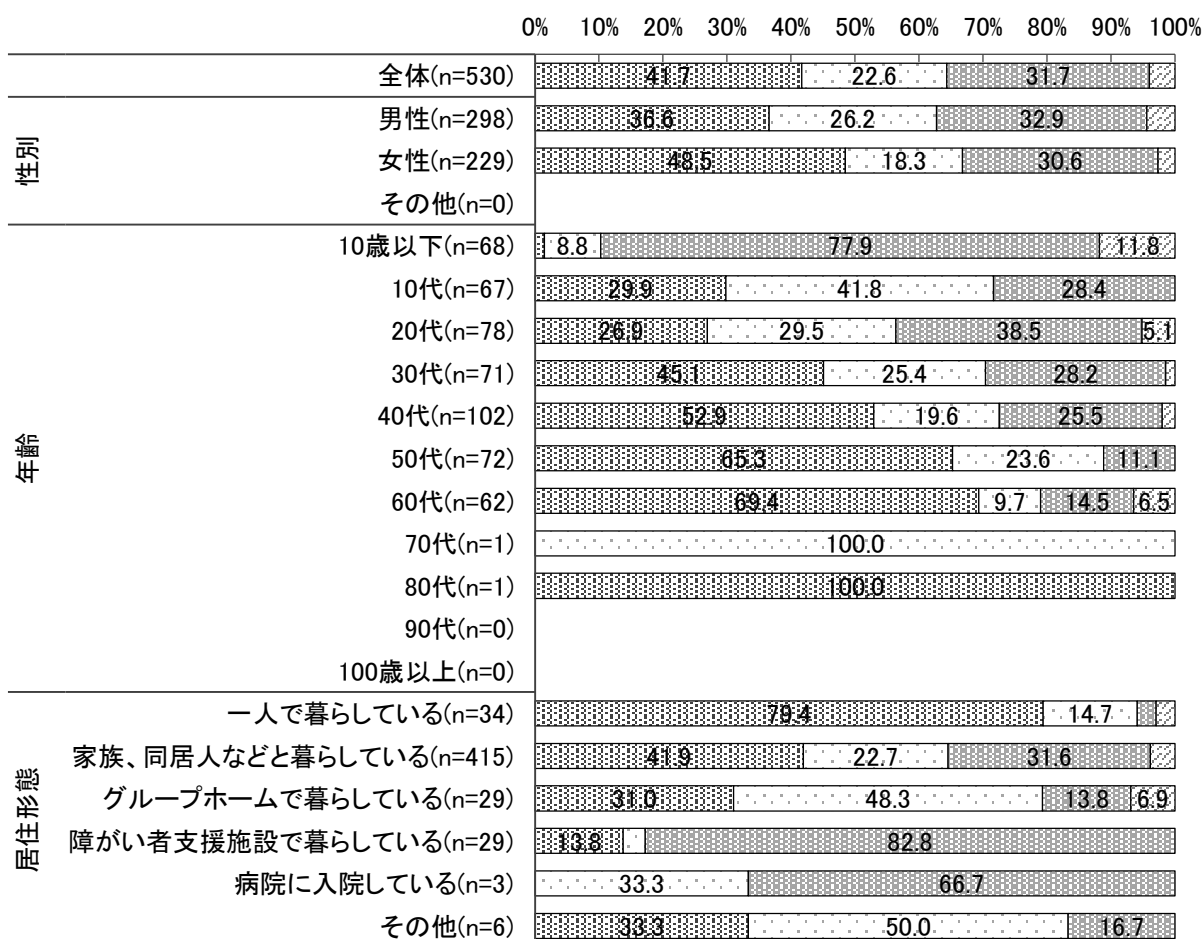
■一人のできる □一部介助が必要 ■全部介助が必要 □無回答

問 6-⑨お金の管理の介助の必要性

お金の管理の介助の必要性は、全体で見ると「一人できる」が41.7%と最も高く、次いで「一部介助が必要」が22.6%、「全部介助が必要」が31.7%となっています。

属性別における「一人できる」の割合をみると、性別では男性が36.6%であるのに対して、女性が48.5%で11.9ポイント高くなっています。年齢階級別では概ね年齢が上がるごとに割合が高くなっています。居住形態別では「家族、同居人などと暮らしている」が41.9%で、「一人で暮らしている」の79.4%よりも37.5ポイント低くなっています。

【お金の管理の介助の必要性】



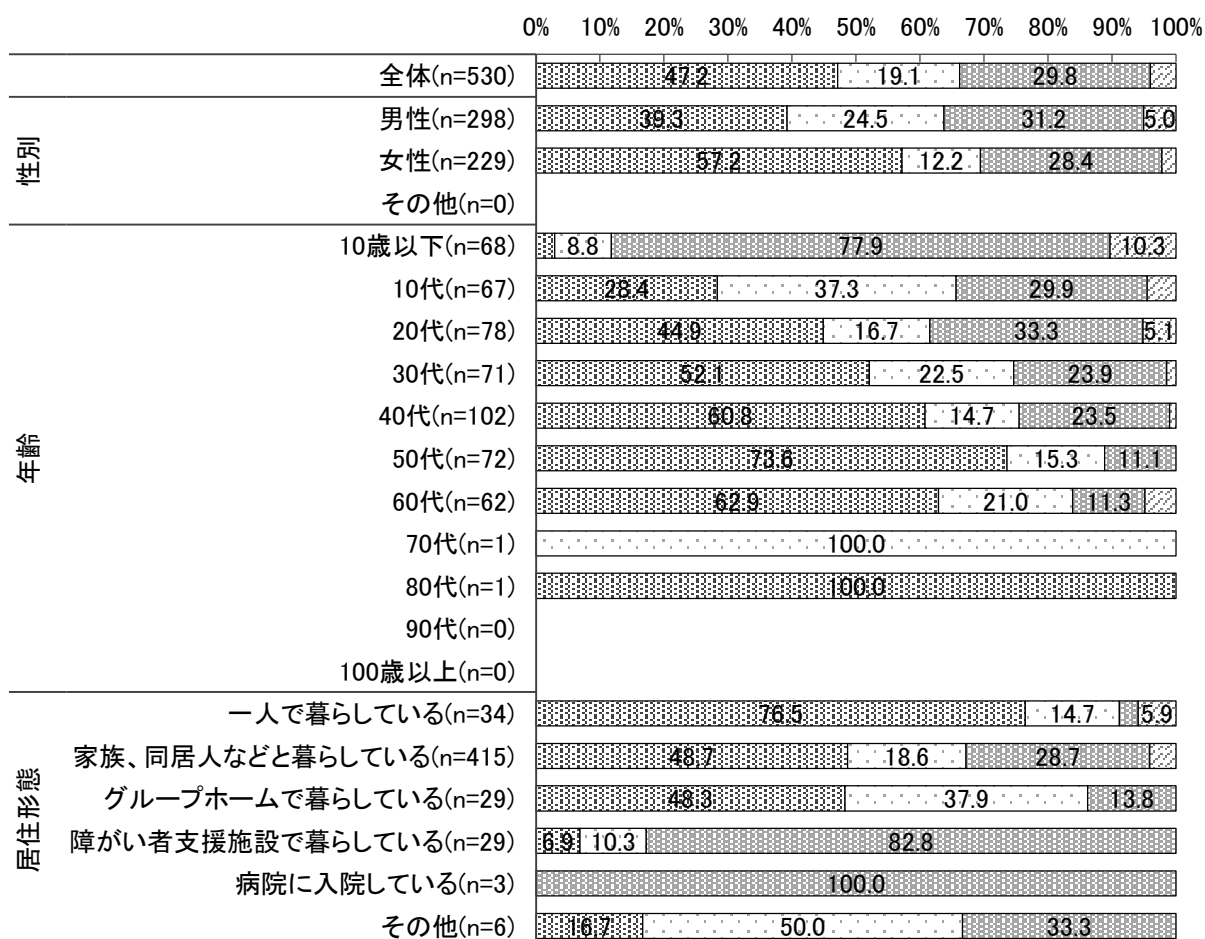
■一人できる □一部介助が必要 ■全部介助が必要 □無回答

問 6-⑩薬の管理の介助の必要性

薬の管理の介助の必要性は、全体で見ると「一人のできる」が47.2%と最も高く、次いで「一部介助が必要」が19.1%、「全部介助が必要」が29.8%となっています。

属性別における「一人のできる」の割合をみると、性別では男性が39.3%であるのに対して、女性が57.2%で17.9ポイント高くなっています。年齢階級別では、概ね年齢が上がるごとに高くなっています。居住形態別では「家族、同居人などと暮らしている」が48.7%で、「一人で暮らしている」の76.5%よりも27.8ポイント低くなっています。

【薬の管理の介助の必要性】



■一人のできる □一部介助が必要 ■全部介助が必要 □無回答

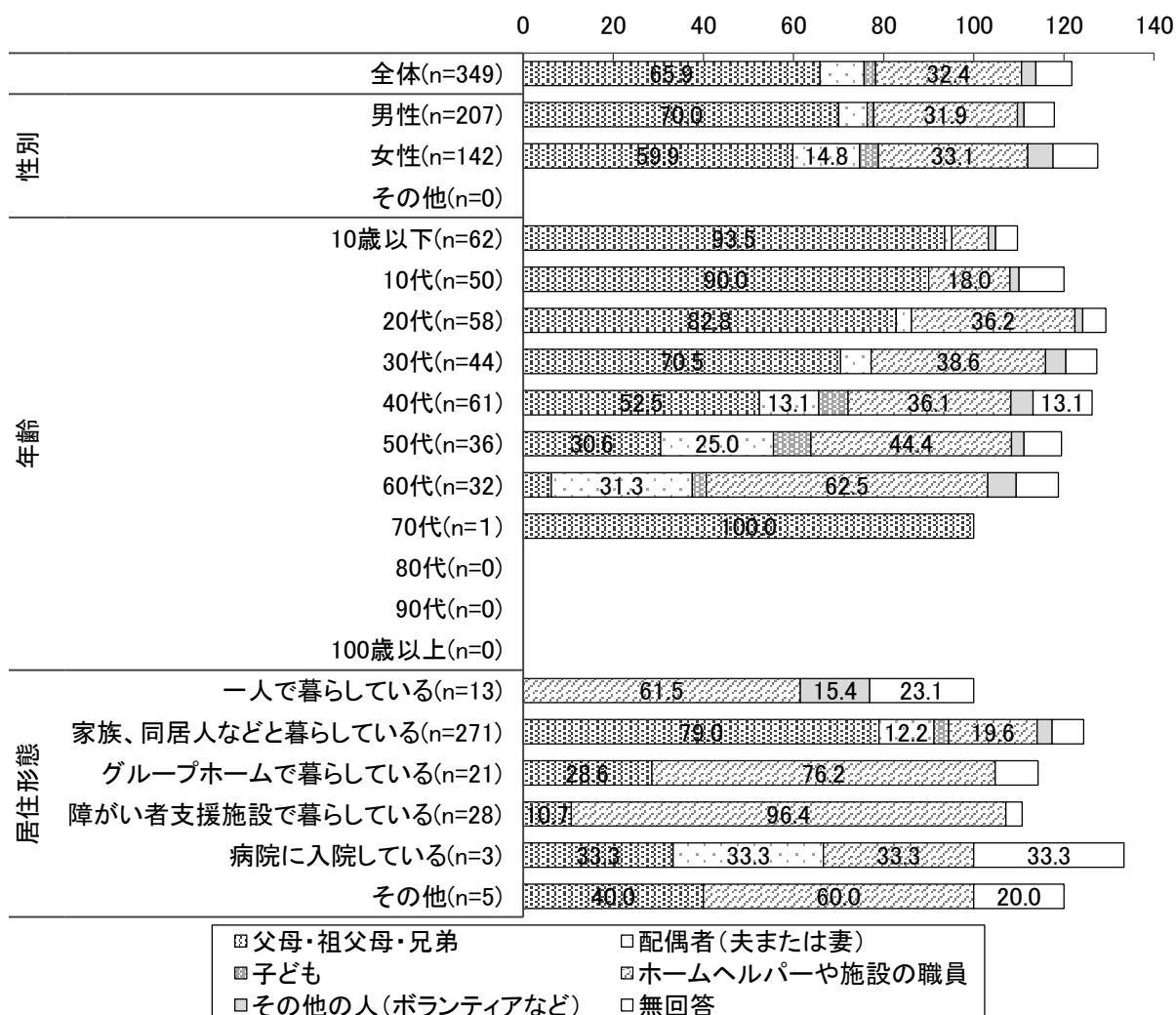
(問6で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方)

問7 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

主な介助者は、全体で見ると「父母・祖父母・兄弟」が65.9%と最も高く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」が32.4%となっています。

属性別における「父母・祖父母・兄弟」の割合をみると、性別では男性が70.0%であるのに対して、女性は59.9%と10.1ポイント低くなっています。年齢階級別では、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられます。

### 【主な介助者】



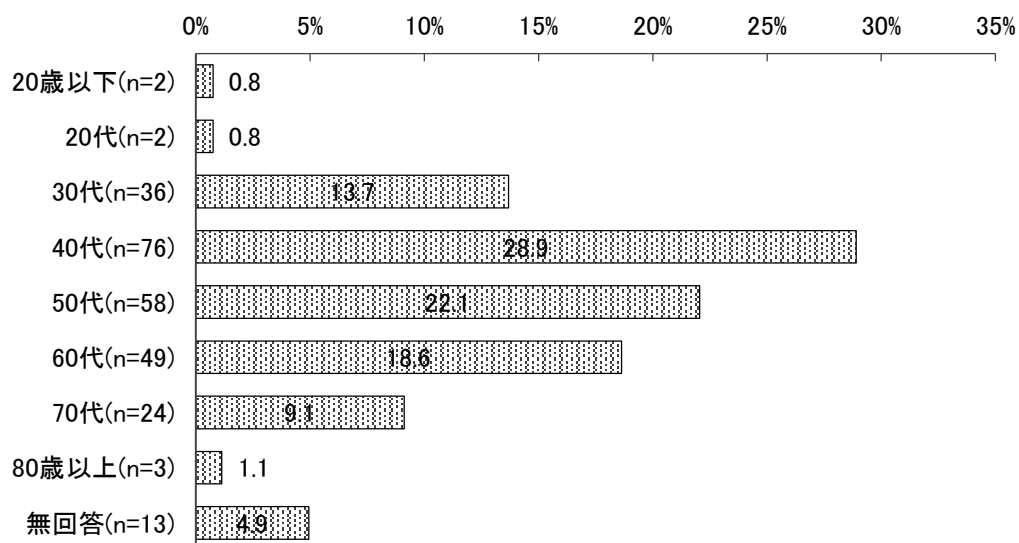
(問7で「父母・祖父母・兄弟」「配偶者(夫または妻)」「子ども」を答えた方)

問8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

問8-① 中心的な家族内介助者の年齢

中心的な家族内介助者の年齢は、全体で見ると「40代」が28.9%と最も高く、次いで「50代」が22.1%、「60代」が18.6%、「30代」が13.7%となっています。

### 【中心的な家族内介助者の年齢】

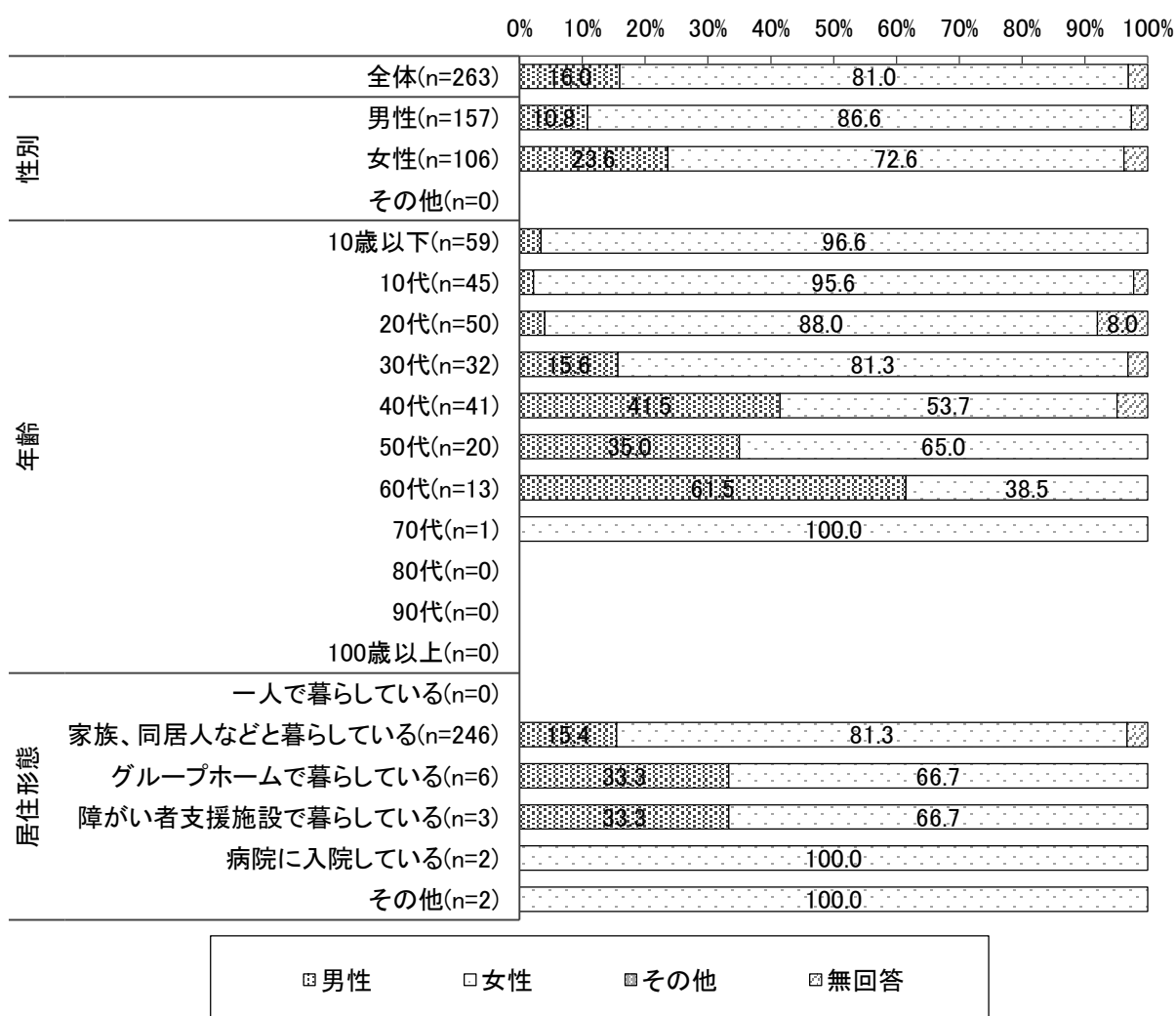


問 8-② 中心的な家族内介助者の性別

中心的な家族内介助者の性別は、全体で見ると「男性」が 16.0%、「女性」が 81.0%となっています。

属性別における「女性」の割合をみると、性別では男性が 86.6%であるのに対して、女性は 72.6%で 14.0 ポイント低くなっています。年齢階級別では、概ね年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられます。ただし、40代は 53.7%で 50代の 65.0%よりも低くなっています。

【中心的な家族内介助者の性別】

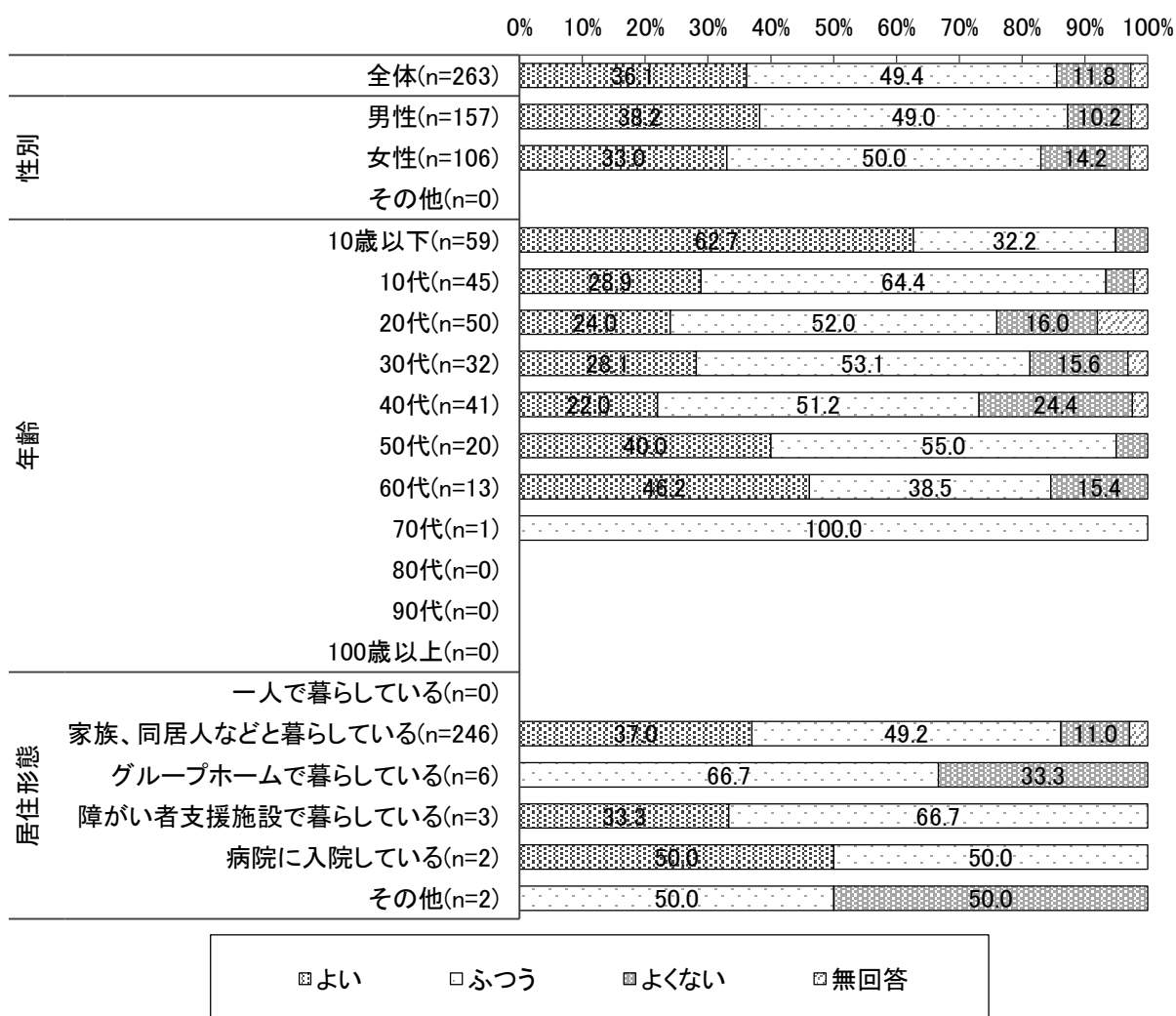


問 8-③ 中心的な家族内介助者の健康状態 (○は1つだけ)

中心的な家族内介助者の健康状態は、全体で見ると「ふつう」が 49.4%と最も高く、次いで「よい」が 36.1%、「よくない」が 11.8%となっています。

属性別における「よい」の割合をみると、年齢階級別では 10 歳以下が 62.7%で半数を超えています。

【中心的な家族内介助者の健康状態】



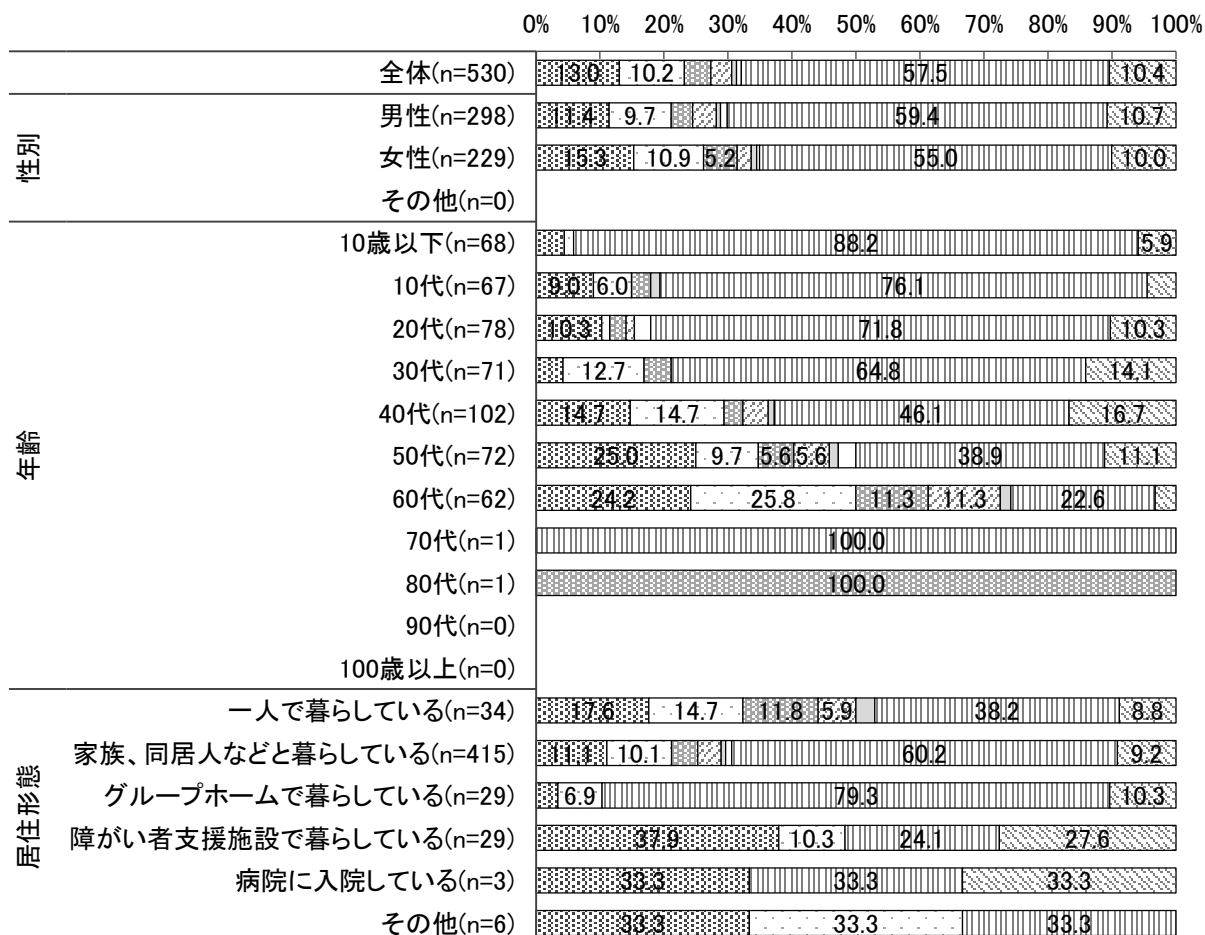
## あなたの障がいの状況について

問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

身体障害者手帳の有無は、全体で見ると「持っていない」が57.5%と最も高く、次いで「1級」が13.0%、「2級」が10.2%となっています。

属性別における「持っていない」の割合をみると、年齢階級別では、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられます。居住形態別では「一人で暮らしている」が38.2%であるのに対して、「家族、同居人などと暮らしている」が60.2%で22.0ポイント、「グループホームで暮らしている」が79.3%で41.1ポイント高くなっています。

### 【身体障害者手帳の有無】



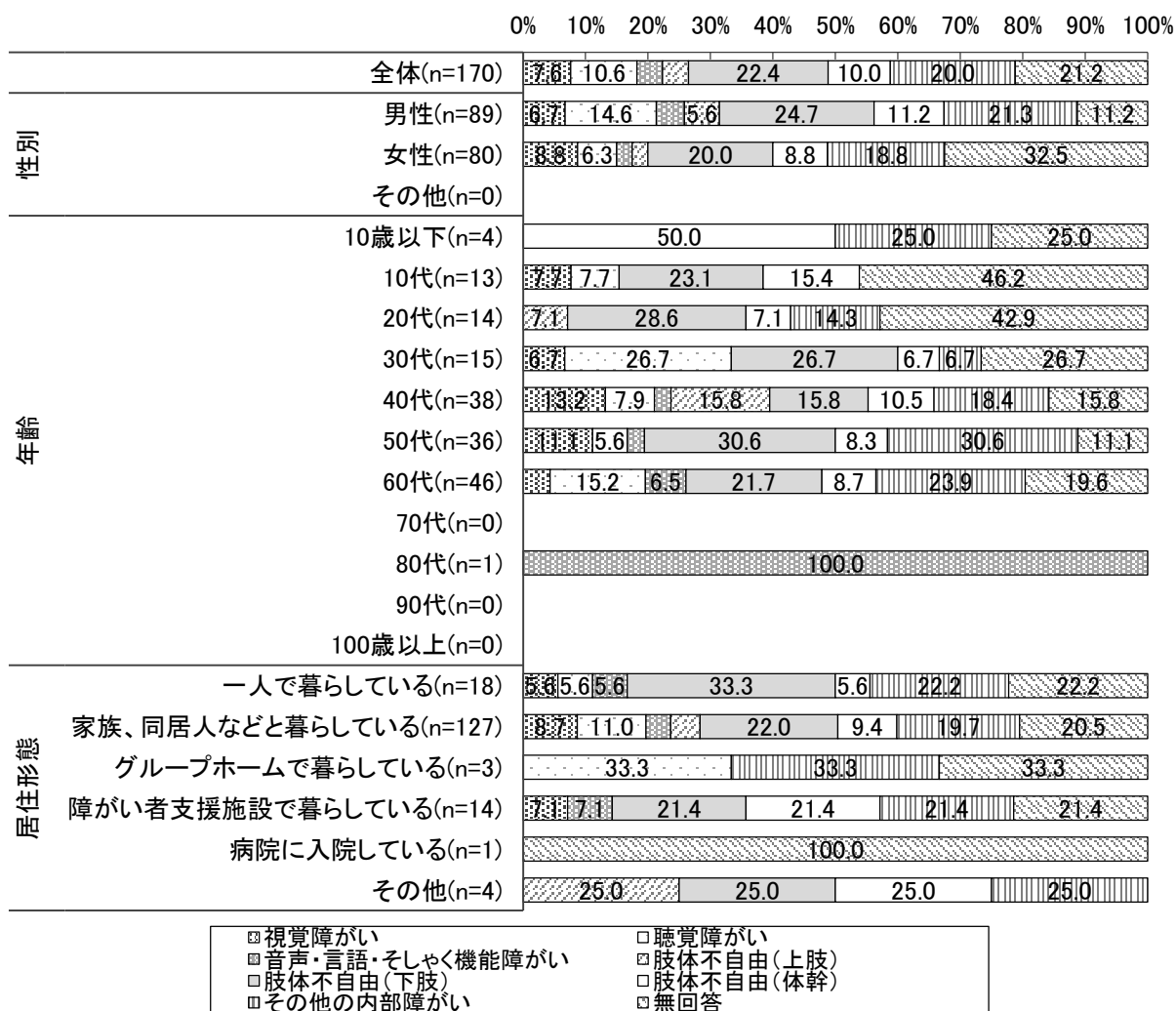
1級
  2級
  3級
  4級
  5級
  6級
  持っていない
  無回答

問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障害をお答えください。(○は1つだけ)

身体障害者手帳を持っている場合の主たる障害は、全体で見ると「肢体不自由（下肢）」が22.4%、「その他の内部障がい」が20.0%となっています。

属性別における「肢体不自由（下肢）」の割合をみると、年齢階級別では50代が30.6%と最も高く、次いで20代が28.6%となっています。

【身体障害者手帳を持っている場合の主たる障害】

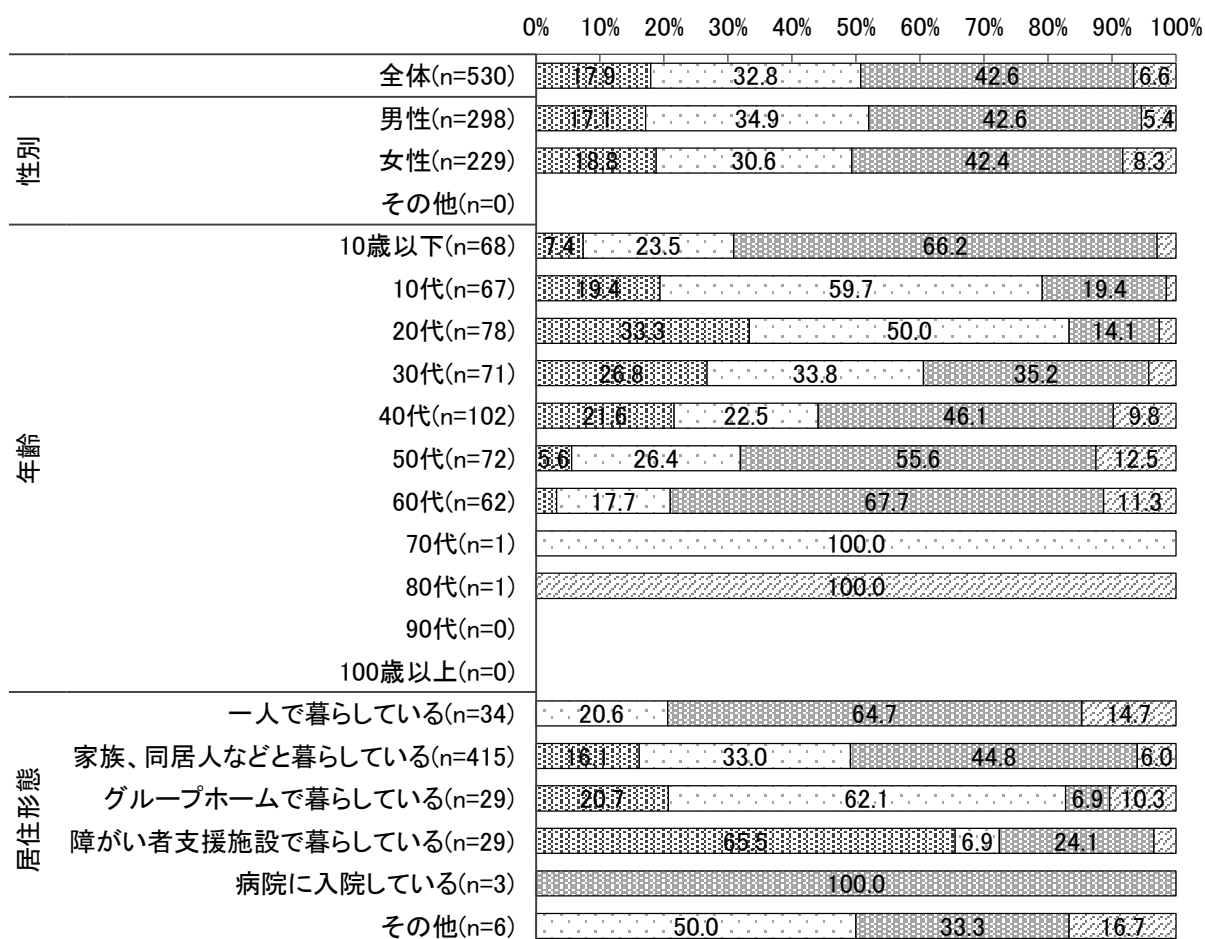


問 11 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

療育手帳の有無は、全体で見ると「持っていない」が42.6%と最も高く、次いで「B判定」が32.8%、「A判定」が17.9%となっています。

属性別における「持っていない」の割合をみると、年齢階級別では60代が67.7%で最も高く、20代が14.1%で最も低くなっています。居住形態別では「一人で暮らしている」が64.7%であるのに対して、「家族、同居人などと暮らしている」が44.8%で19.9ポイント、「グループホームで暮らしている」が6.9%で57.8ポイント低くなっています。

【療育手帳の有無】



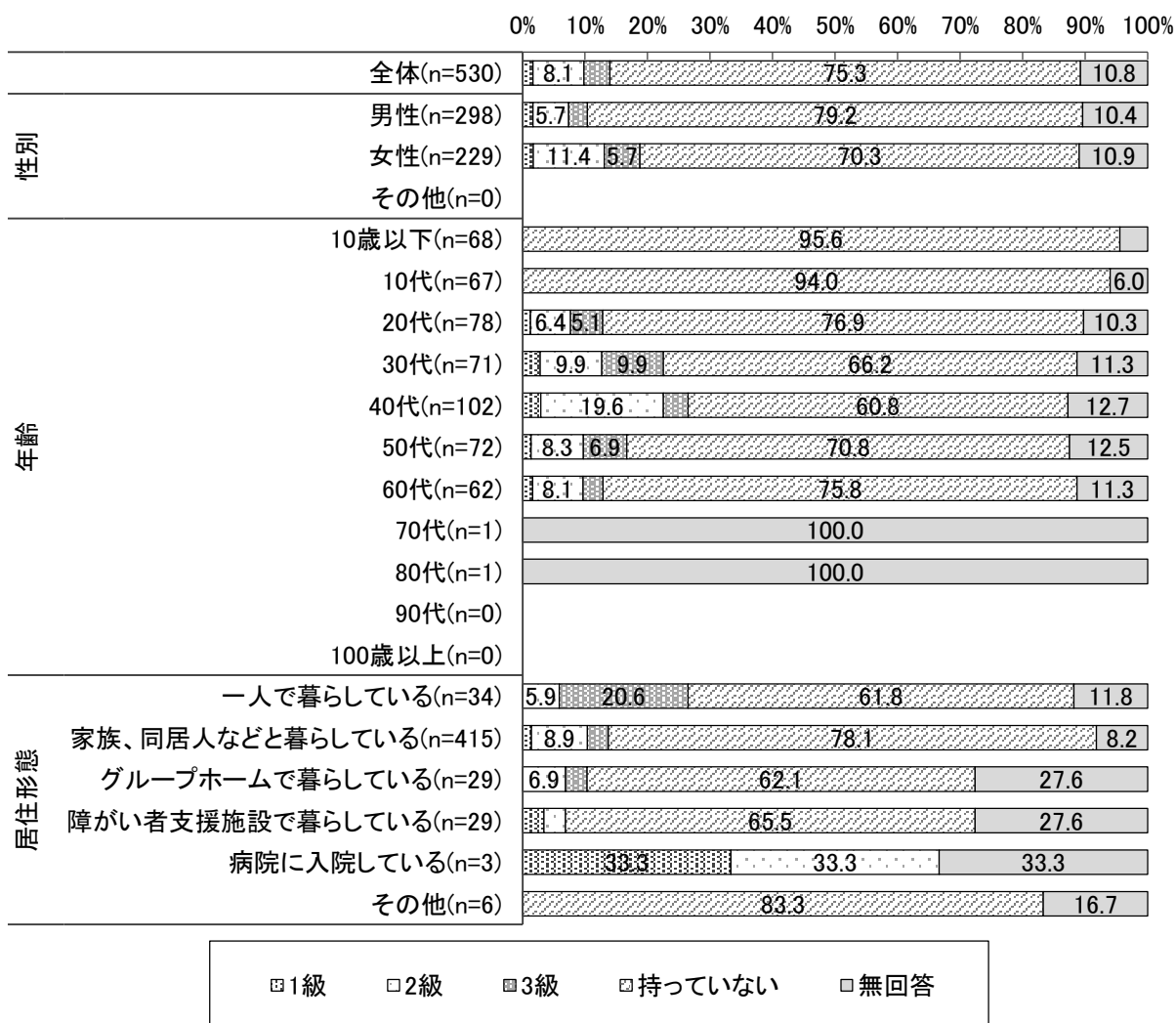
A判定
  B判定
  持っていない
  無回答

問12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

精神障害者保健福祉手帳の有無は、全体で見ると「持っていない」が75.3%、「2級」が8.1%となっています。

属性別における「持っていない」の割合をみると、性別では男性が79.2%であるのに対して、女性が70.3%で8.9ポイント低くなっています。年齢階級別では10歳以下が95.6%と最も高く、40代が60.8%で最も低くなっています。居住形態別では「一人で暮らしている」が61.8%であるのに対して、「家族、同居人などと暮らしている」が78.1%で16.3ポイント高くなっています。

【精神障害者保健福祉手帳の有無】

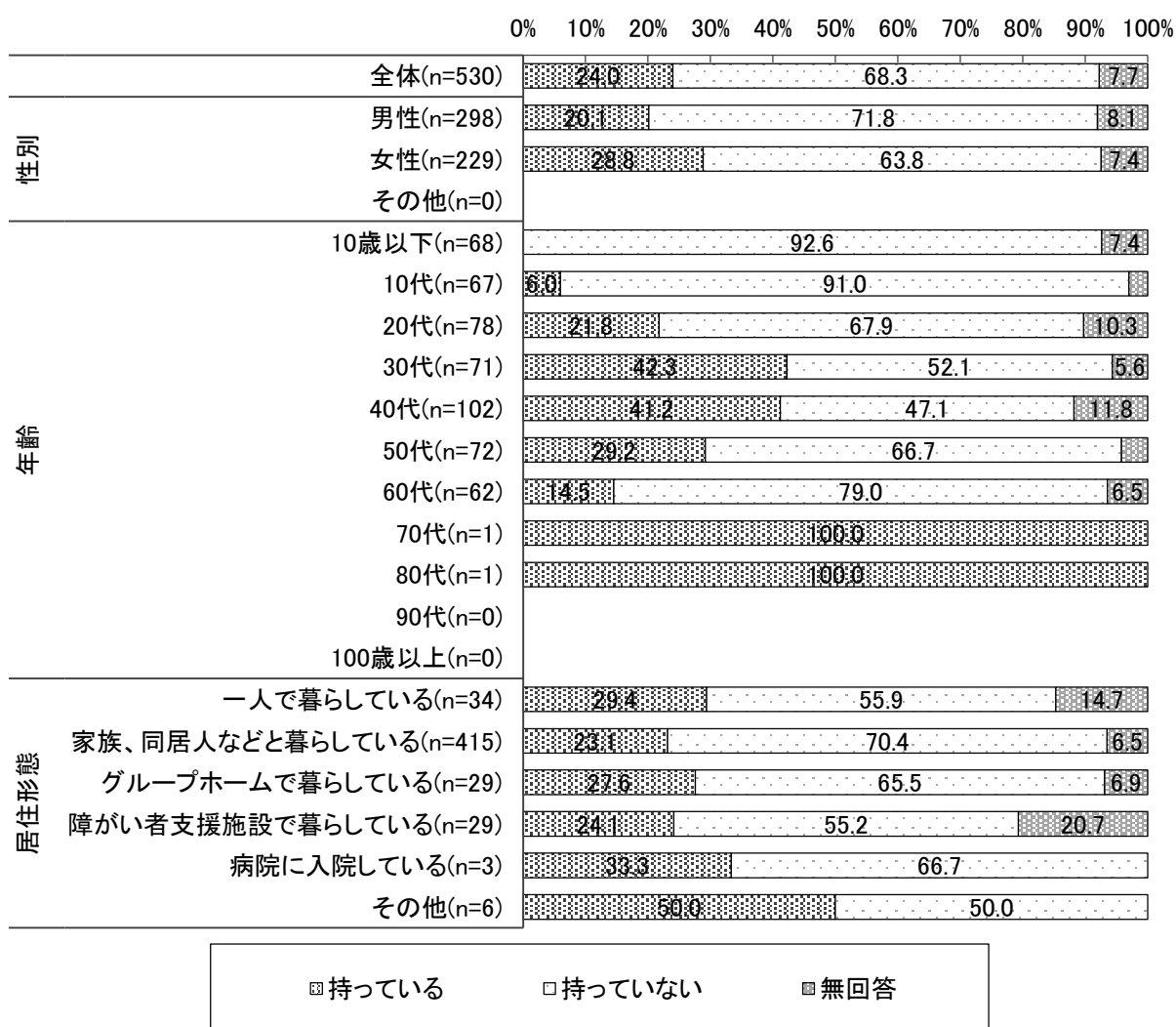


問13 あなたは自立支援医療（精神通院医療）受給者証をお持ちですか。（○は1つだけ）

自立支援医療（精神通院医療）受給者証の有無は、全体で見ると「持っている」が24.0%、「持っていない」が68.3%となっています。

属性別における「持っている」の割合をみると、性別では男性が20.1%であるのに対して、女性は28.8%で8.7ポイントとなっています。

### 【自立支援医療（精神通院医療）受給者証の有無】

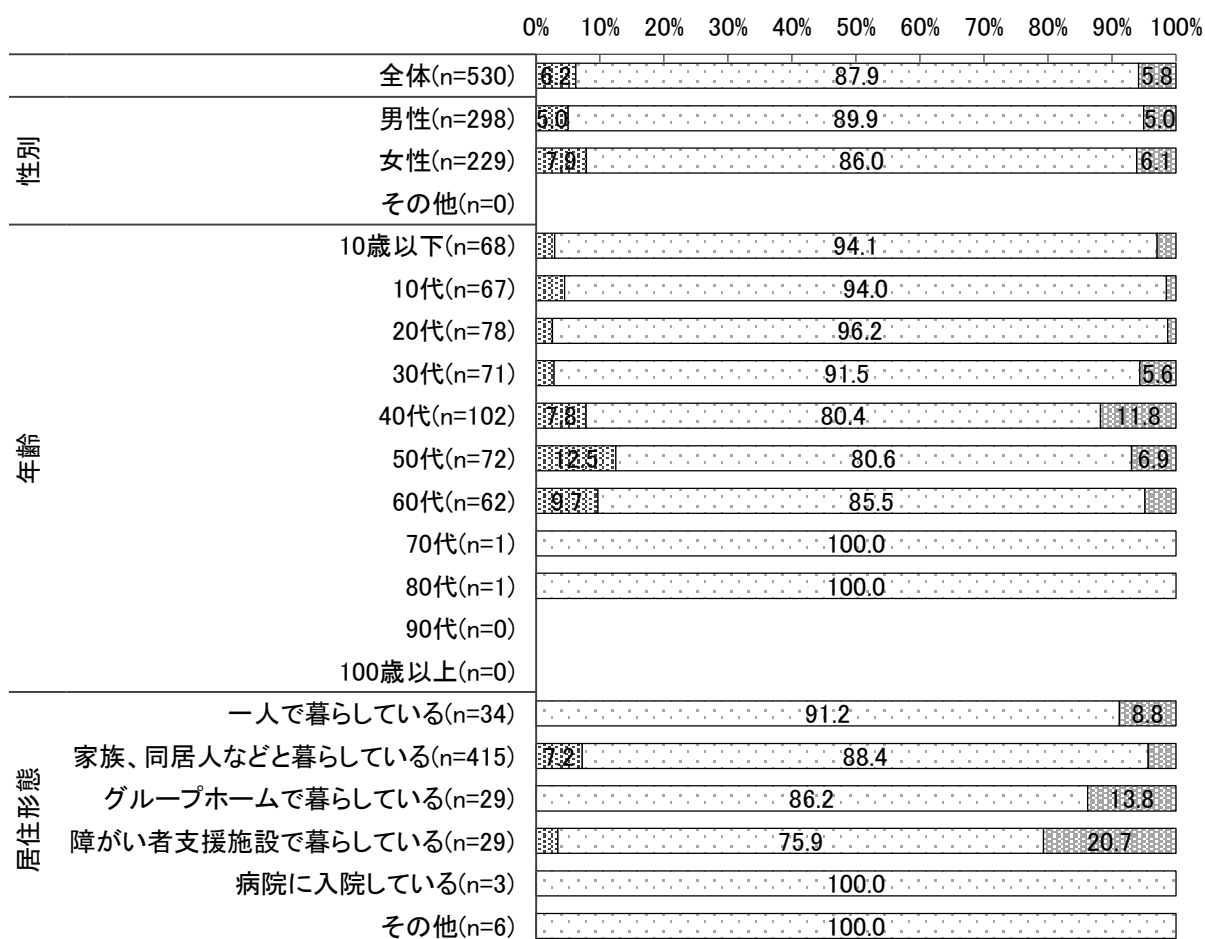


問 14 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

難病（特定疾患）の認定を受けているかは、全体で見ると「受けている」が6.2%、「受けていない」が87.9%となっています。

属性別における「受けている」の割合をみると、性別では男性が5.0%であるのに対して、女性が7.9%で2.9ポイント高くなっています。年齢階級別では50代が12.5%と最も高く、次いで60代が9.7%となっています。居住形態別では「家族、同居人などと暮らしている」が7.2%となっています。

【難病（特定疾患）の認定を受けているか】



■ 受けている

□ 受けていない

■ 無回答

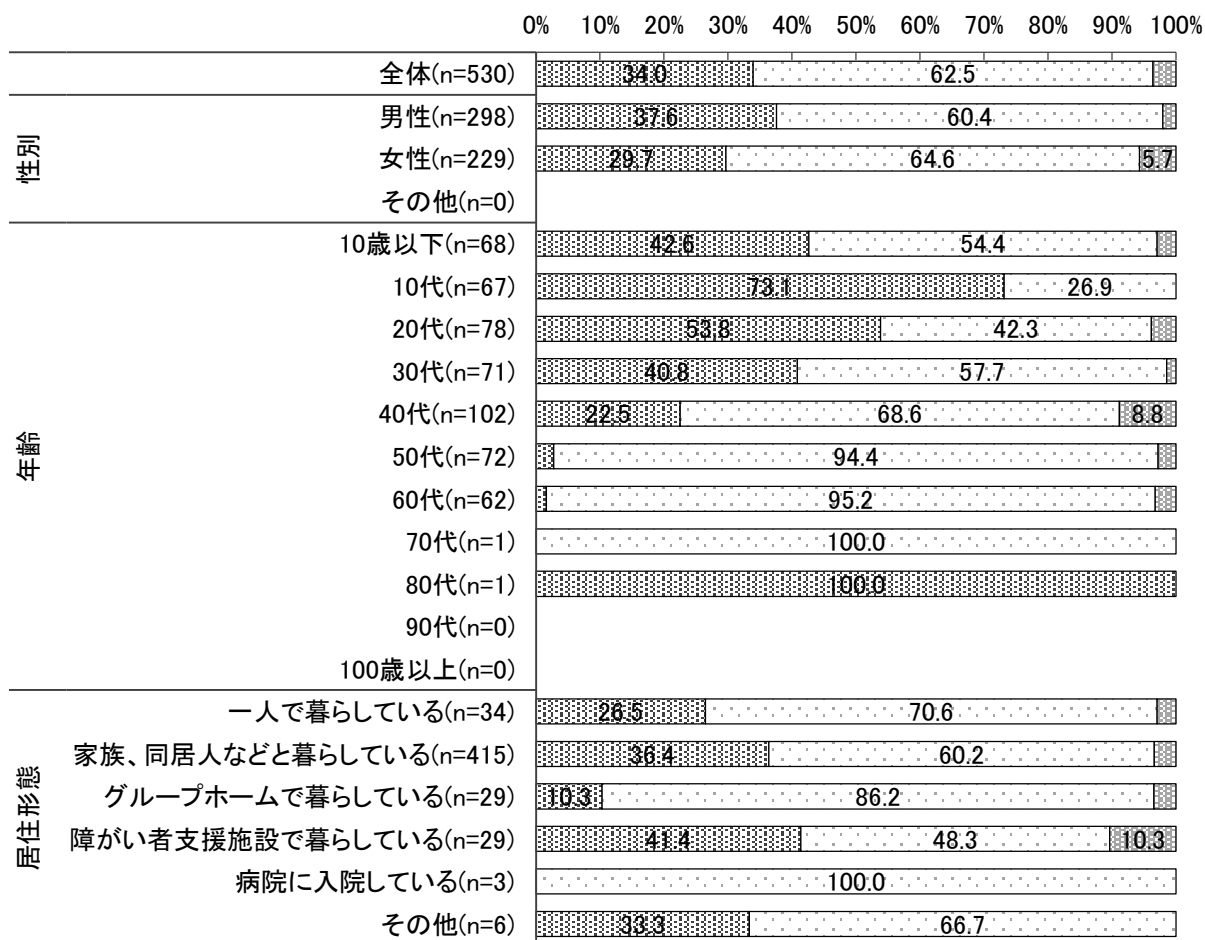
問 15 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)

※発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

発達障害として診断されたことがあるかは、全体で見ると「ある」が34.0%、「ない」が62.5%となっています。

属性別における「ある」の割合をみると、性別では男性が37.6%であるのに対して、女性が29.7%で7.9ポイント低くなっています。

### 【発達障害として診断されたことがあるか】



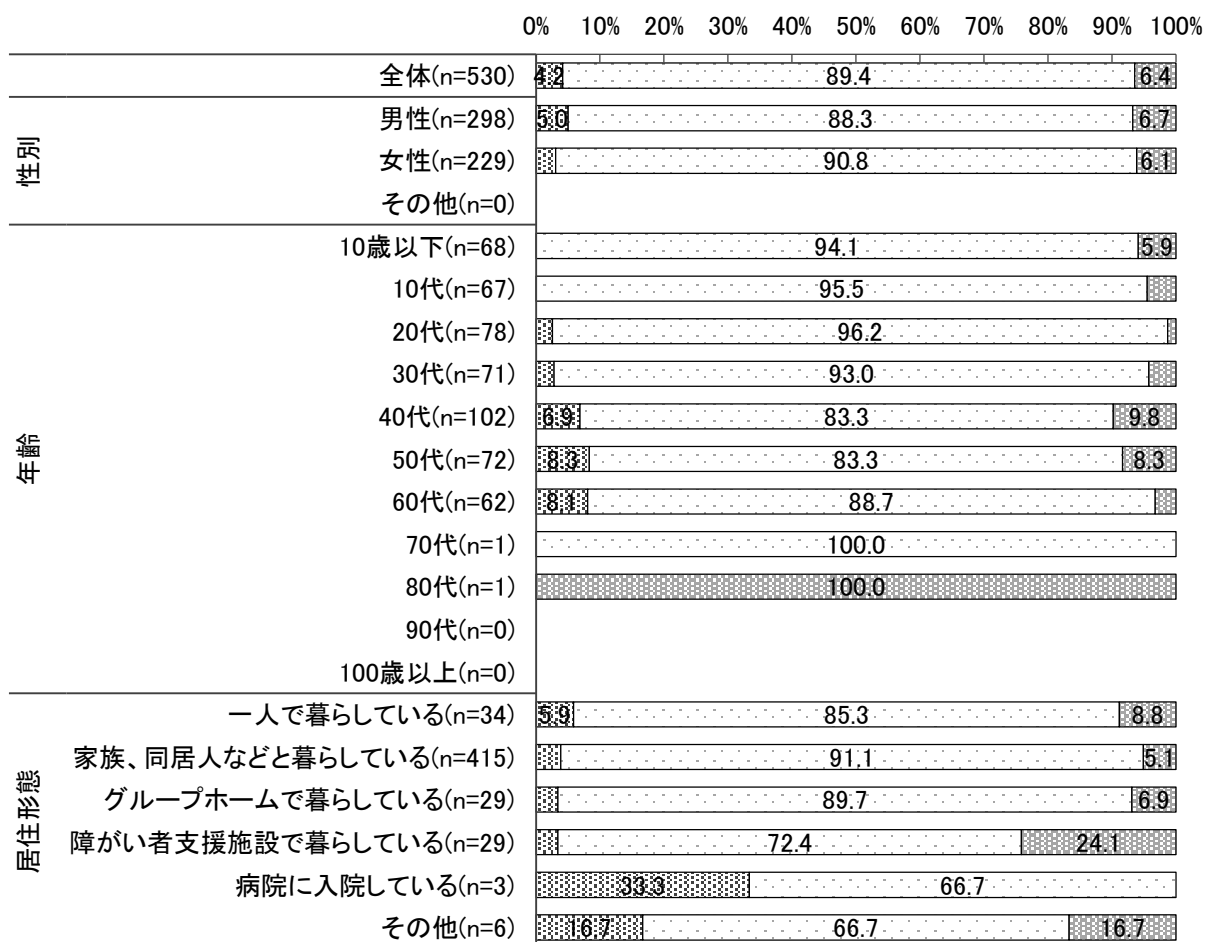
ある     
  ない     
  無回答

問16 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)  
 ※高次脳機能障害とは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受けその後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

高次脳機能障害として診断されたことがあるかは、全体でみると「ある」が4.2%、「ない」が89.4%となっています。

属性別における「ある」の割合をみると、年齢階級別では50代が8.3%で最も高く、60代が8.1%、40代が6.9%となっています。居住形態別では「病院に入院している」が33.3%で最も高くなっています。

### 【高次脳機能障害として診断されたことがあるか】



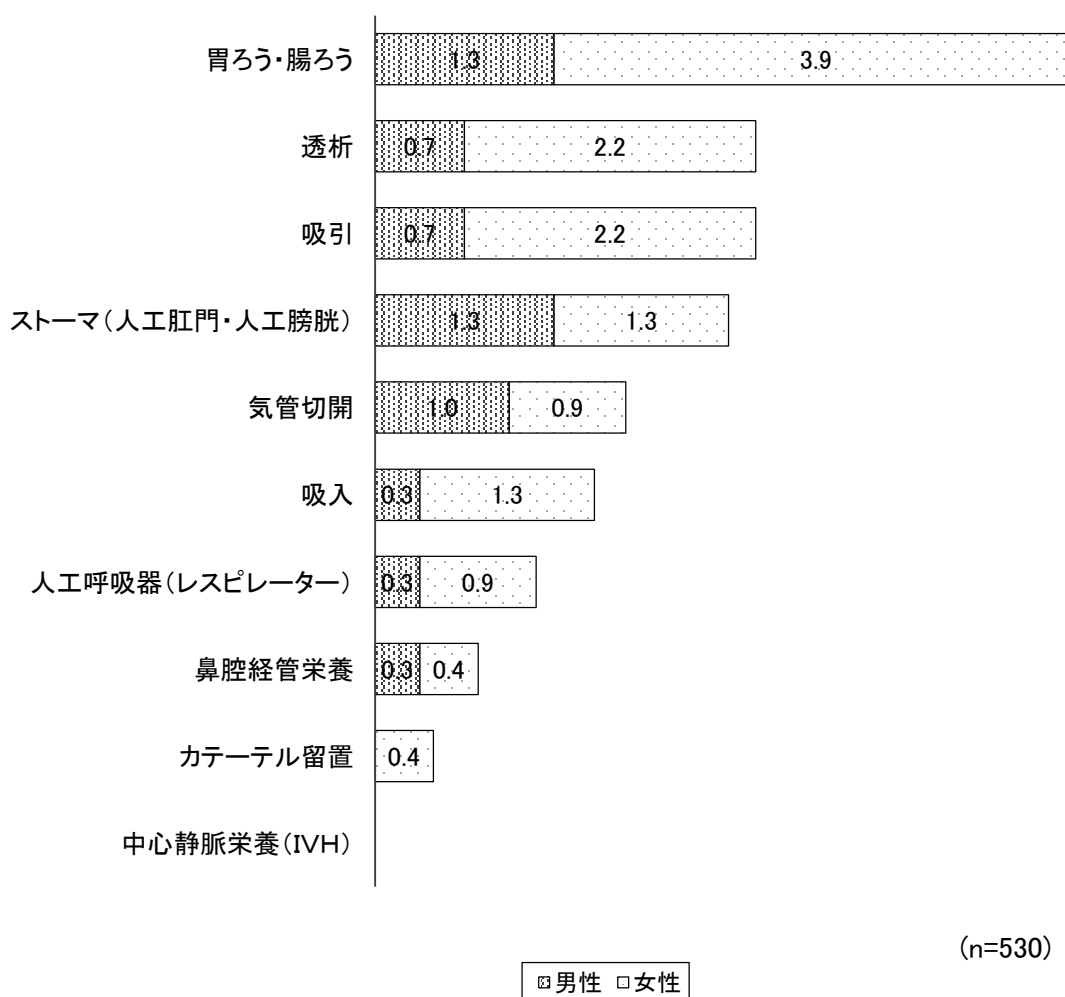
ある     
  ない     
  無回答

問 17 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。(あてはまるものすべてに)

現在受けている医療ケアは、全体で見ると「胃ろう・腸ろう」が最も高く、次いで「吸引」「透析」となっています。

属性別における「胃ろう・腸ろう」の割合をみると、性別では男性が1.3%であるのに対して、女性は3.9%で2.6ポイント高くなっています。

### 【現在受けている医療ケア】



## 障がい者手帳をお持ちのお子さんについて

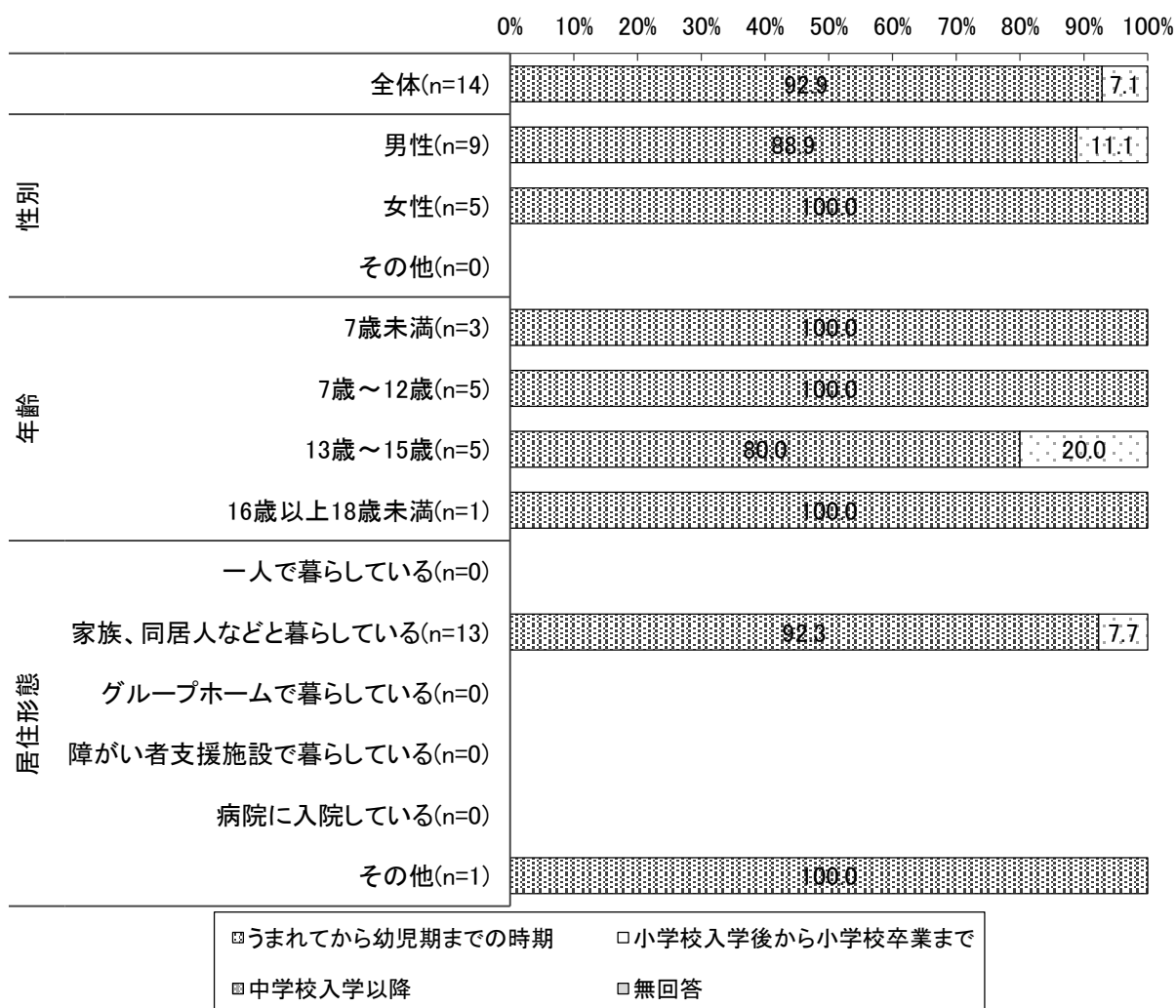
【問 18 から問 20 は、障がい者手帳をお持ちで、18 歳未満の方のみを対象にお聞きします。】

問 18 障がい者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。(○は 1 つだけ)

障がい者手帳を交付された時期は、全体で見ると「うまれてから幼児期までの時期」が 92.9% と最も高く、次いで「小学校入学後から小学校卒業まで」が 7.1% となっています。

属性別における「小学校入学後から小学校卒業まで」の割合をみると、性別では男性が 11.1%、年齢階級別では 13～15 歳が 20.0%、居住形態別では「家族、同居人などと暮らしている」が 7.7% となっており、それ以外は全て「うまれてから幼児期までの時期」となっています。

### 【障がい者手帳を交付された時期】



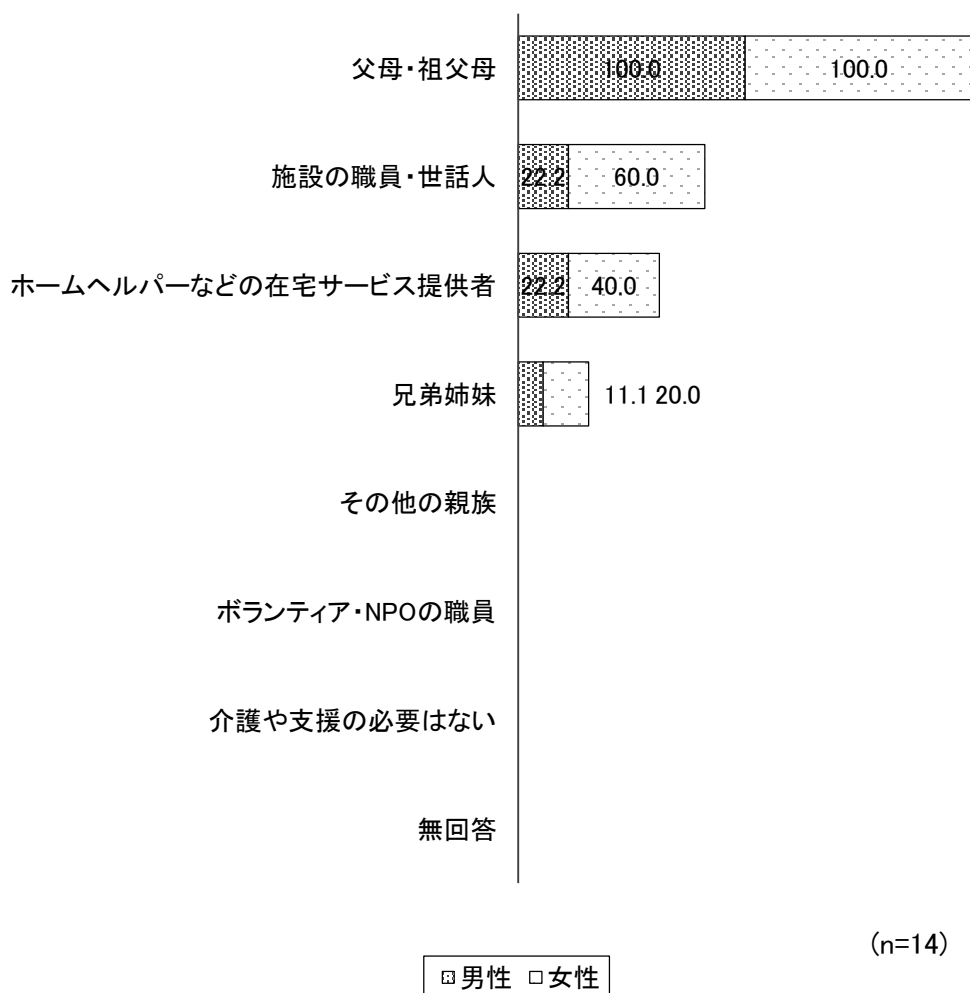
問 19 お子さんの介護や支援をしている方はどなたですか。

(あてはまるものすべてに○、そのうち主に介護や支援をしている人1つに◎)

子どもの支援者は、全体で見ると「父母・祖父母」が最も高く、次いで「施設の職員・世話人」「ホームヘルパーなどの在宅サービス提供者」となっています。

属性別における「施設の職員・世話人」の割合をみると、性別では男性が22.2%であるのに対して、女性は60.0%と高くなっています。

### 【子どもの介護者】

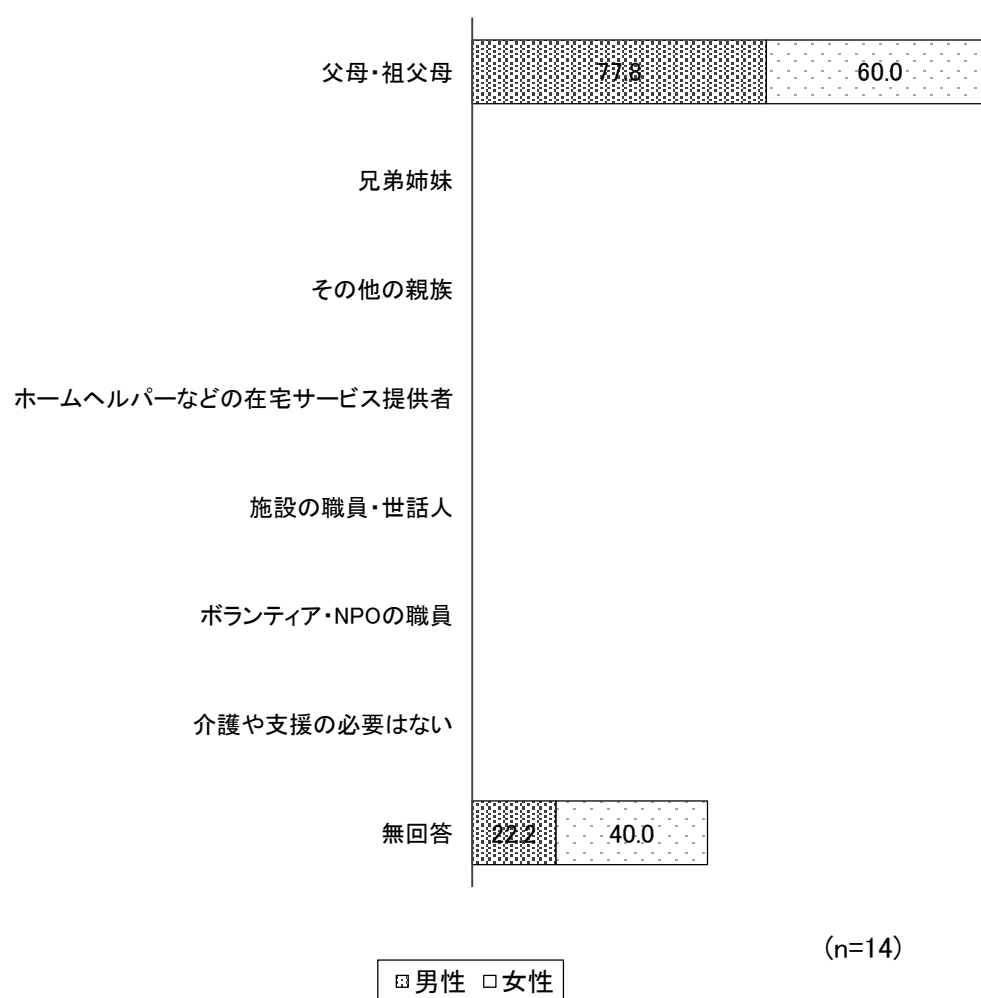


問 19-① 主にお子さんの介護や支援をしている方はどなたですか。

子どもの主な介護者は、「父母・祖父母」のみとなっています。

属性別における「父母・祖父母」の割合をみると、性別では男性が77.8%であるのに対して、女性は60.0%となっています。

### 【子どもの主な介護者】



問 20 お子さんの発達の不安や障がいに気づいたきっかけは何ですか。

(○は1つだけ、年齢についてはご記入ください)

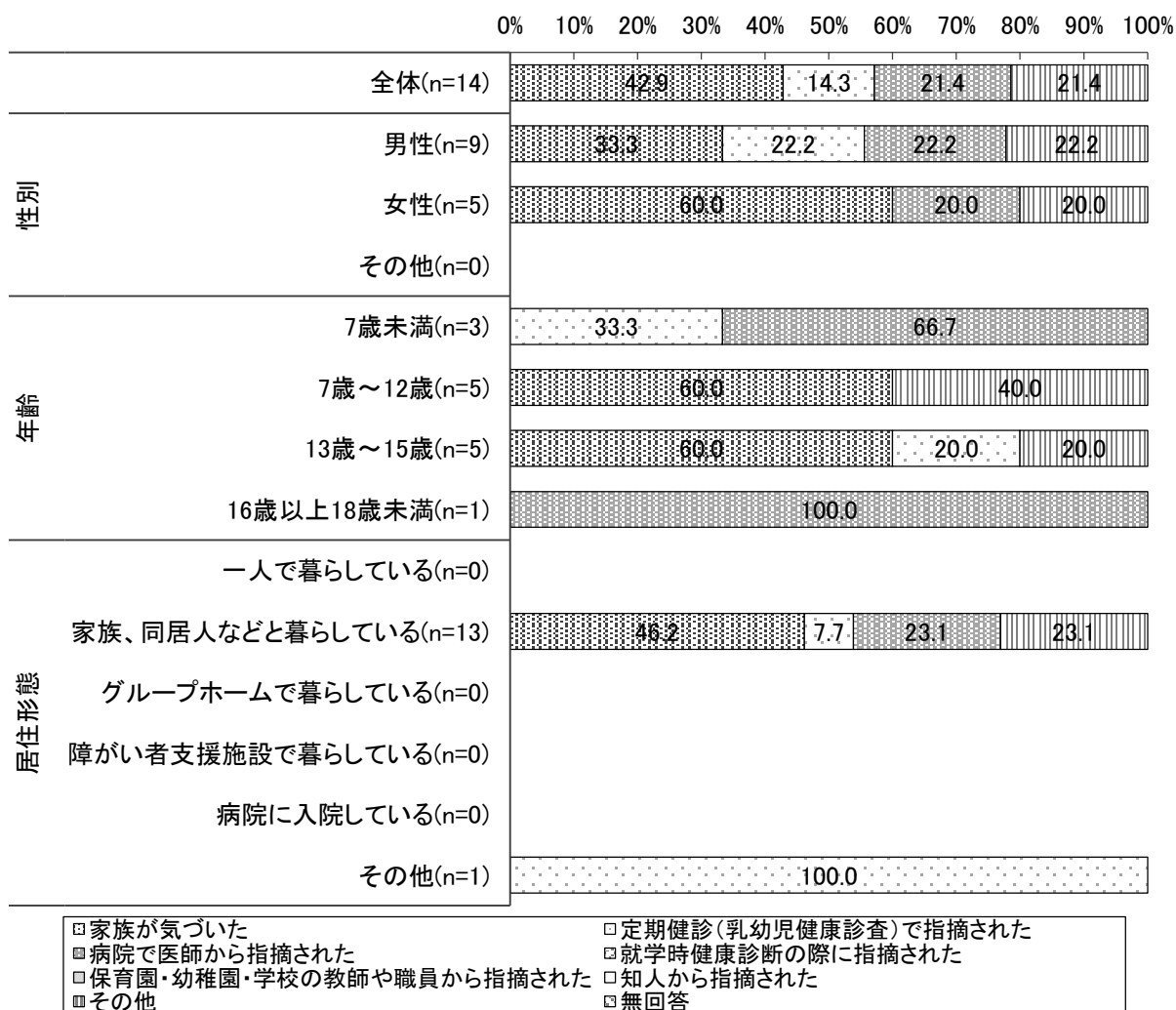
発達の不安や障がいに気づいたきっかけは、全体で見ると「家族が気づいた」が42.9%と最も高く、次いで「病院で医師から指摘された」「その他」が21.4%、「定期健診（乳幼児健康診査）で指摘された」が14.3%となっています。

【その他】

病気による後遺症/先天性/保健センターで気に掛けられた など

属性別における「家族が気づいた」の割合をみると、性別では男性が33.3%であるのに対して、女性は60.0%と26.7ポイント高くなっています。年齢階級別では7歳～12歳、13～15歳が60.0%であるのに対して、7歳未満、16歳以上18歳未満は0%となっています。

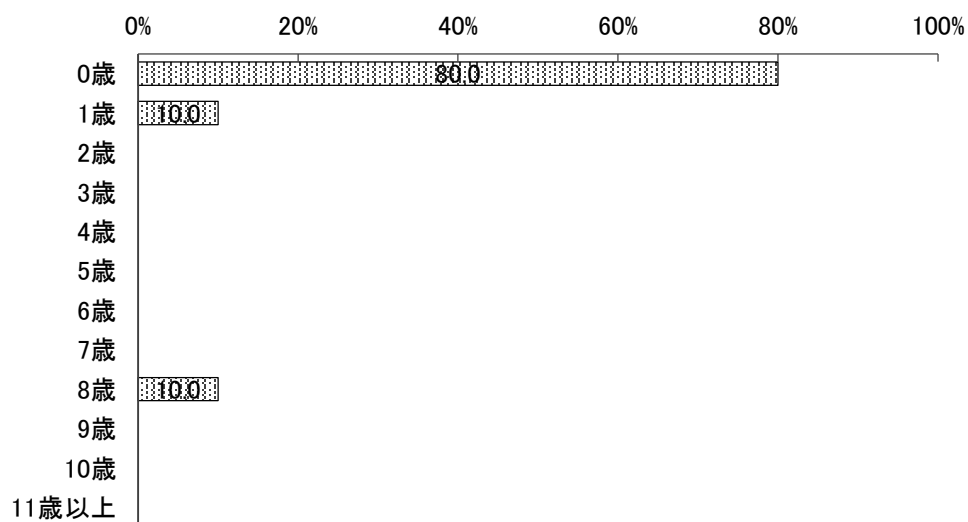
【子どもの発達の不安や障がいに気づいたきっかけ】



問 20-① お子さんの発達の不安や障がいに気づいた年齢

発達の不安や障がいに気づいた年齢をみると「0歳」が80.0%と最も高く、「1歳」「8歳」がともに10.0%となっています。

【子どもの発達の不安や障がいに気づいた年齢】



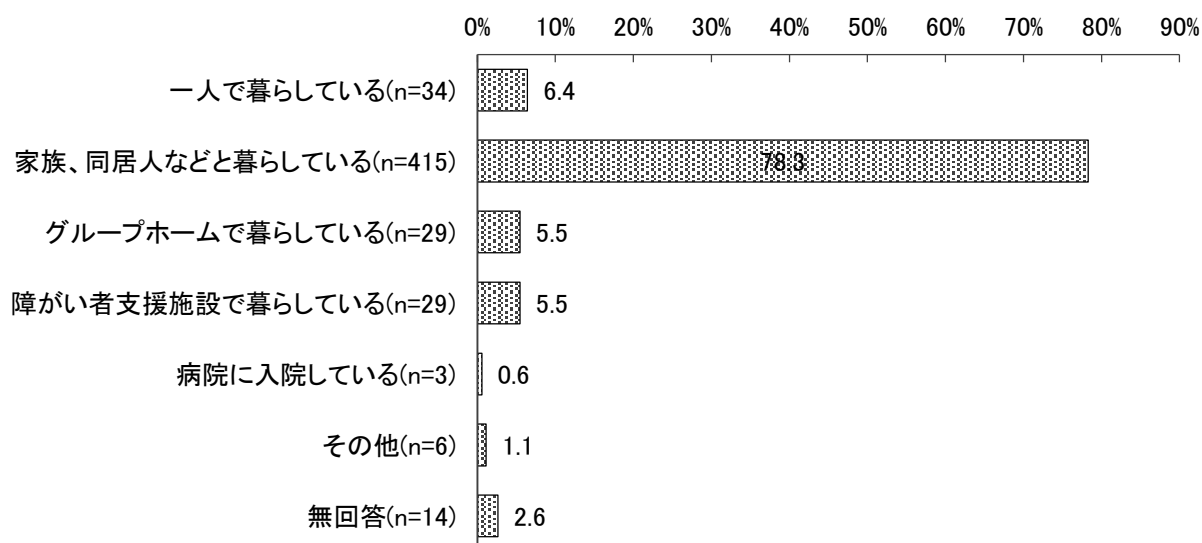
(n=10)

## 住まいや暮らしについて

問 21 あなたは現在どのように暮らしていますか。(○は1つだけ)

居住形態は、全体で見ると「家族、同居人などと暮らしている」が78.3%と最も高く、次いで「一人で暮らしている」が6.4%、「グループホームで暮らしている」「障がい者支援施設で暮らしている」が5.5%となっています。

### 【居住形態】



【問 22 は、問 21 で「2. 家族、同居人などと暮らしている」を選択した場合にお答えください。】

問 22 今後同居している方が高齢、病気などで、一緒に暮らせなくなった場合、どうしたいと思いますか。(○は1つだけ)

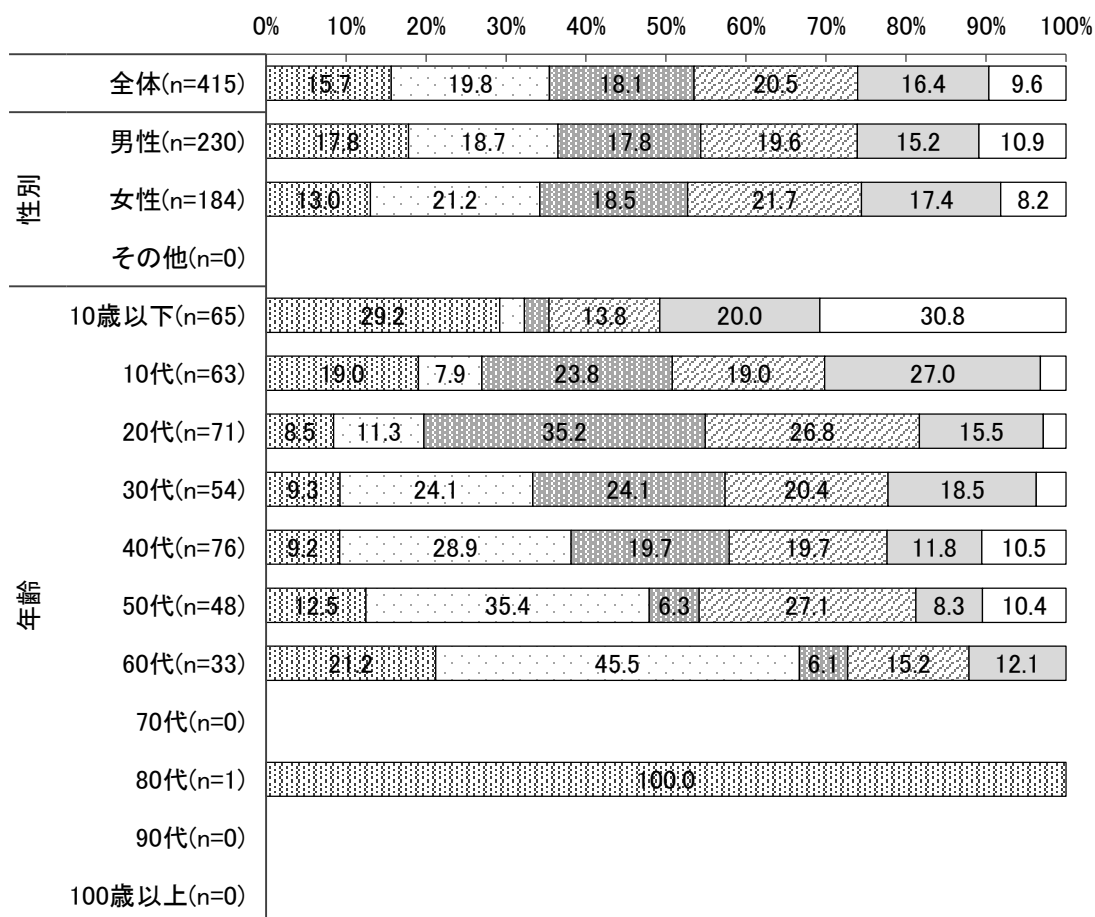
同居人が一緒に暮らせなくなった場合の意向は、全体で見ると「施設に入所したい」が 20.5%と最も高く、次いで「ヘルパーなどの支援により、自宅で暮らしたい」が 19.8%、「グループホームで暮らしたい」が 18.1%、「その他」が 16.4%となっています。

【その他】

わからない/考えていない/一人暮らし/その時に考える など

属性別における「ヘルパーなどの支援により、自宅で暮らしたい」の割合をみると、年齢階級別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向がみられます。

【同居人が高齢・病気等で一緒に暮らせなくなった場合の意向】



- 現在同居していない家族と一緒に暮らしたい
- ヘルパーなどの支援により、自宅で暮らしたい
- グループホームで暮らしたい
- 施設に入所したい
- その他
- 無回答

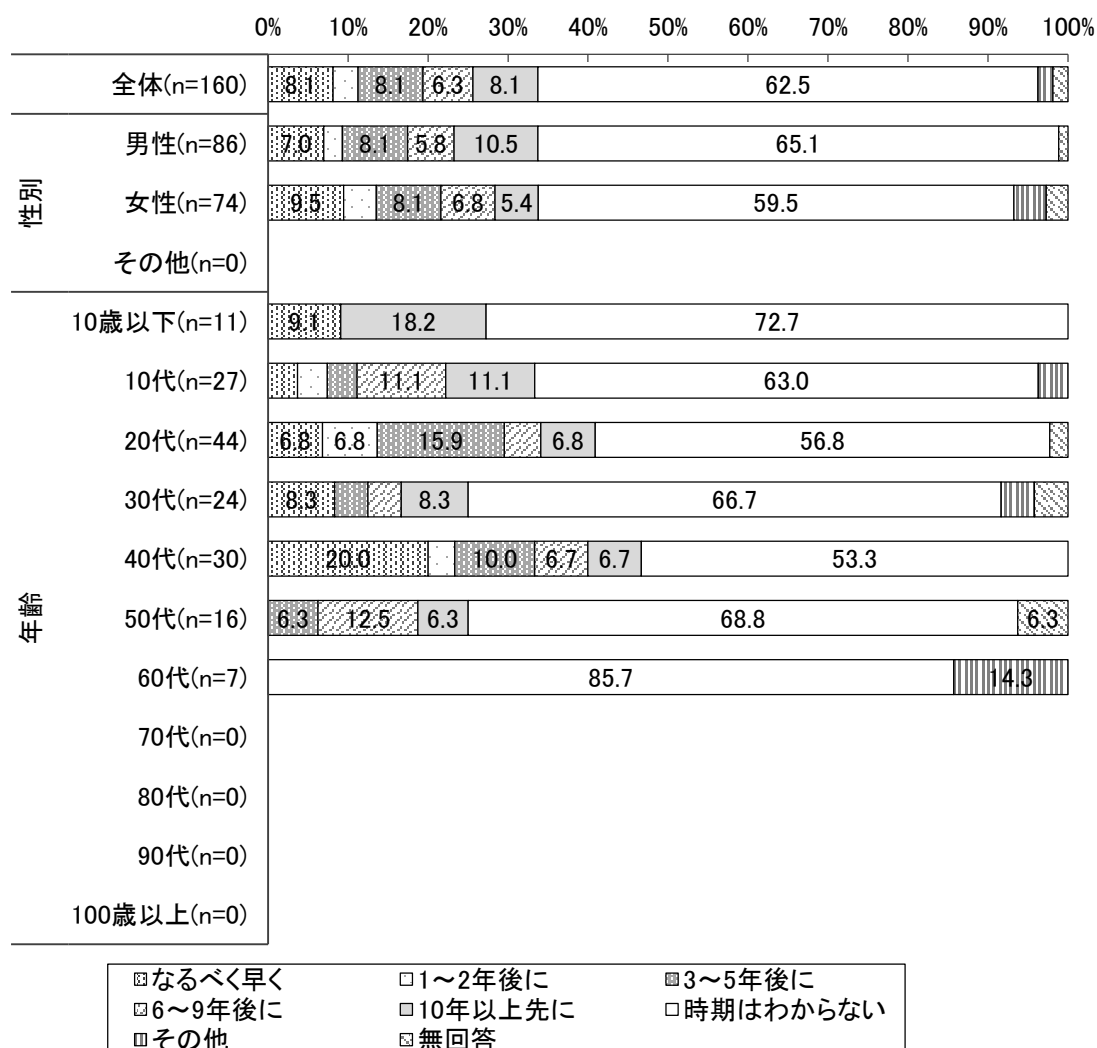
【問 23 は、問 22 で「3. グループホームで暮らしたい」または「4. 施設に入所したい」を選択した場合にお答えください。】

問 23 あなたが施設などに入所する場合、いつ頃の入所を希望しますか。(○は1つだ

将来、グループホームや施設で生活したいと思うかは、全体でみると「時期はわからない」が 62.5%と最も高く、次いで「なるべく早く」「3～5年後に」「10年以上先に」が 8.1%となっています。

属性別における「なるべく早く」の割合をみると、年齢階級別では 40代が 20.0%で最も高くなっています。

### 【施設に入所する場合、いつ頃の入所を希望するか】



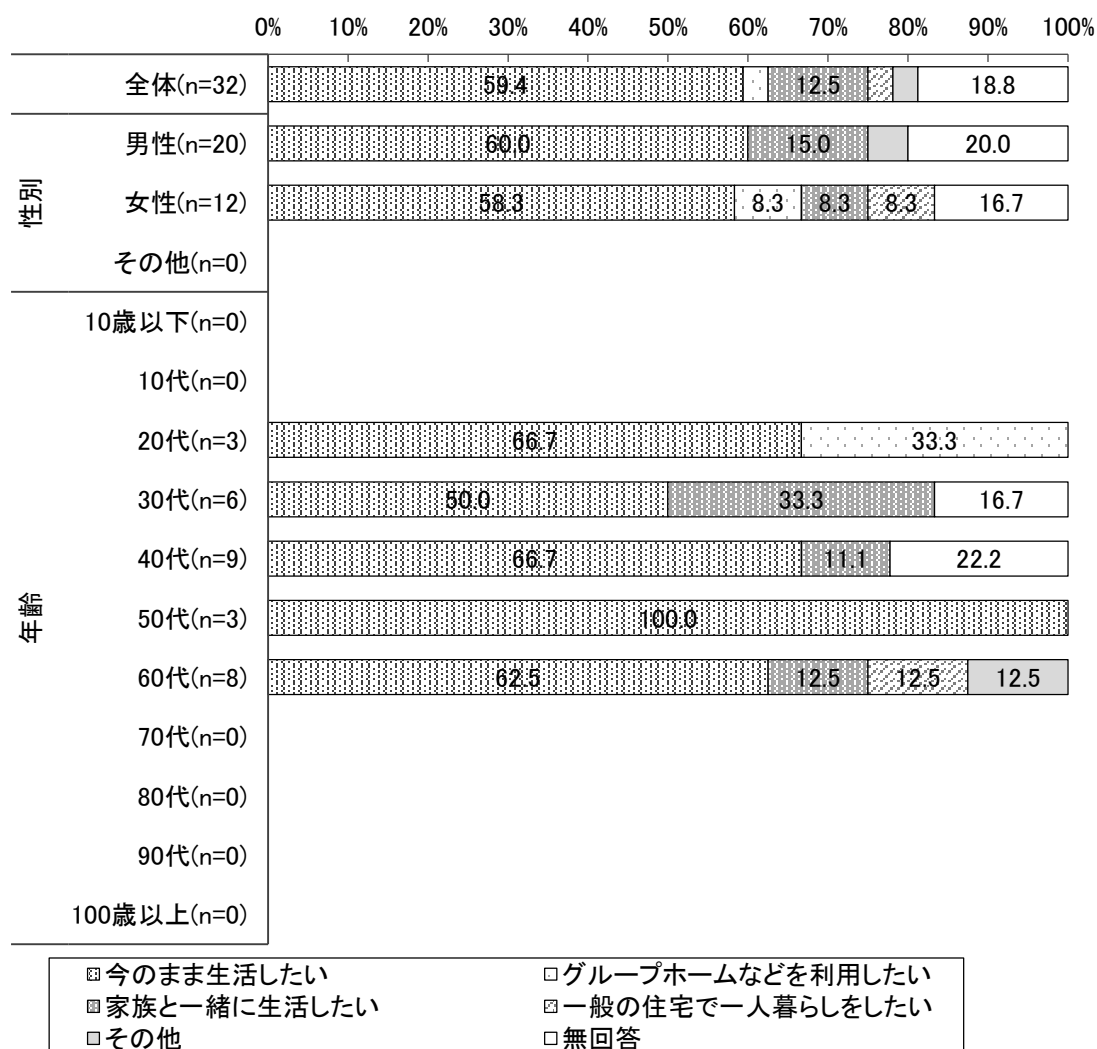
【問 24 および問 26 は、問 21 で「4. 障がい者施設で暮らしている」または「5. 病院に入院している」を選択した場合にお答えください。】

問 24 あなたは将来、どのように地域で生活したいと思いますか。(○は1つだけ)

将来、どのように地域で生活したいと思うかは、全体で見ると「今のまま生活したい」が 59.4%と最も高く、次いで「家族と一緒に生活したい」が 12.5%となっています。

属性別における「今のまま生活したい」の割合をみると、年齢階級別では 30 代が 50.0%で最も低く、50 代が 100%で最も高くなっています。

### 【将来どのように地域で暮らしたいか】



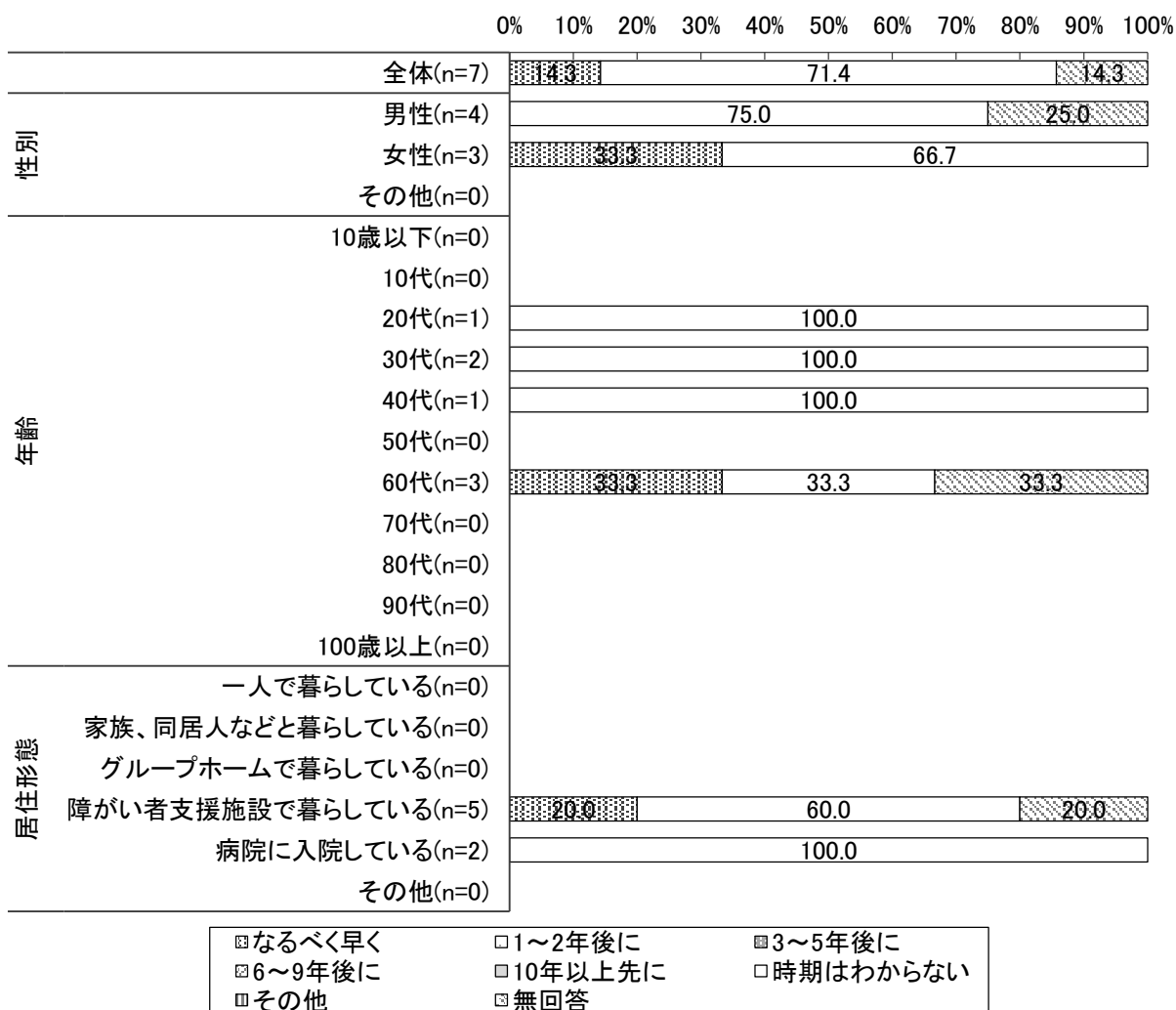
【問 25 は、問 24 で「2. グループホームなどを利用したい」から「5. その他」を選択した場合にお答えください。】

問 25 あなたは、いつ頃までに地域での生活を始めたいですか。(○は1つだけ)

将来、地域で生活したいと思うかは、全体で見ると「時期はわからない」が71.4%と最も高く、次いで「なるべく早く」が14.3%となっています。

属性別における「なるべく早く」の割合をみると、性別では男性が0%であるのに対して、女性が33.3%となっています。年齢階級別では20代、30代、40代がいずれも0%であるのに対して、60代が33.3%となっています。

### 【いつ頃までに地域での生活を始めたいか】

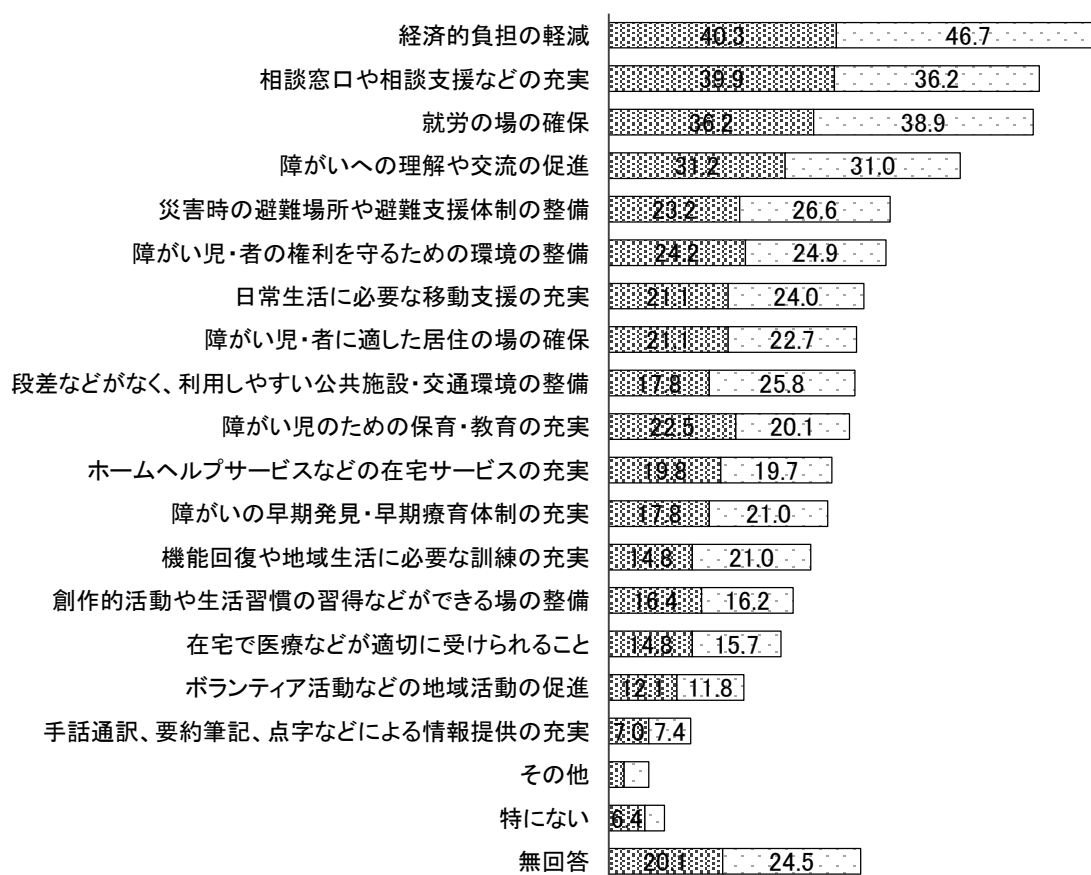


問 26 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

地域で生活するために必要な支援は、全体で見ると「経済的負担の軽減」が最も高く、次いで「相談窓口や相談支援などの充実」「就労の場の確保」「障がいへの理解や交流の促進」となっています。

### 【地域で生活するために必要な支援】



☐男性 ☐女性

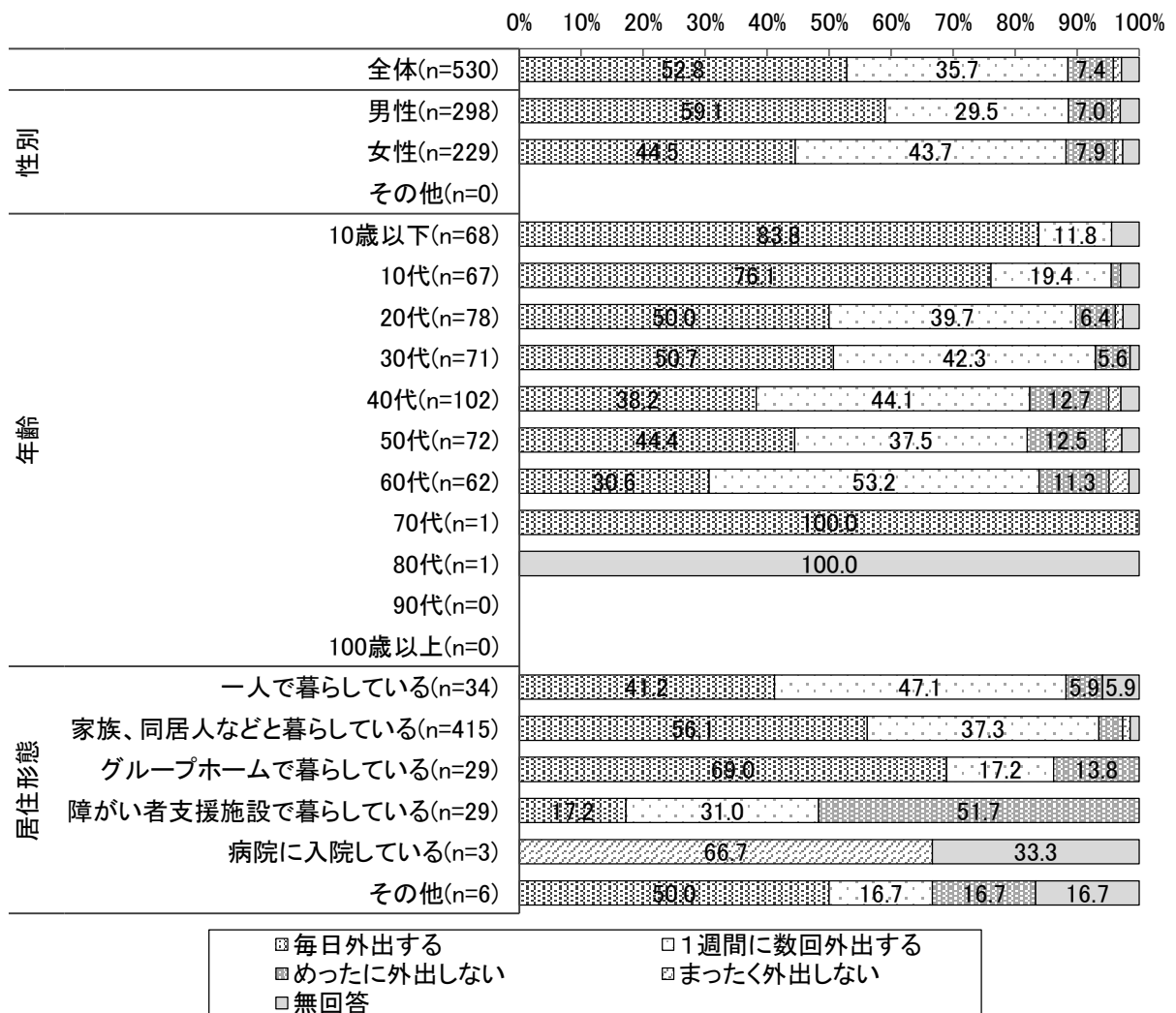
## 日中活動や就労について

問 27 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

1週間にどの程度外出するかは、全体で見ると「毎日外出する」が52.8%と最も高く、次いで「1週間に数回外出する」が35.7%、「めったに外出しない」が7.4%となっています。

属性別における「毎日外出する」の割合をみると、性別では男性が59.1%であるのに対して、女性は44.5%で14.6ポイント低くなっています。年齢階級別では、10歳以下が83.8%で最も高く、概ね年齢が上がるごとに高くなる傾向が見られます。居住形態別では「グループホームで暮らしている」が69.0%で最も高く、「障がい者支援施設で暮らしている」が17.2%で最も低くなっています。

### 【1週間にどの程度外出するか】



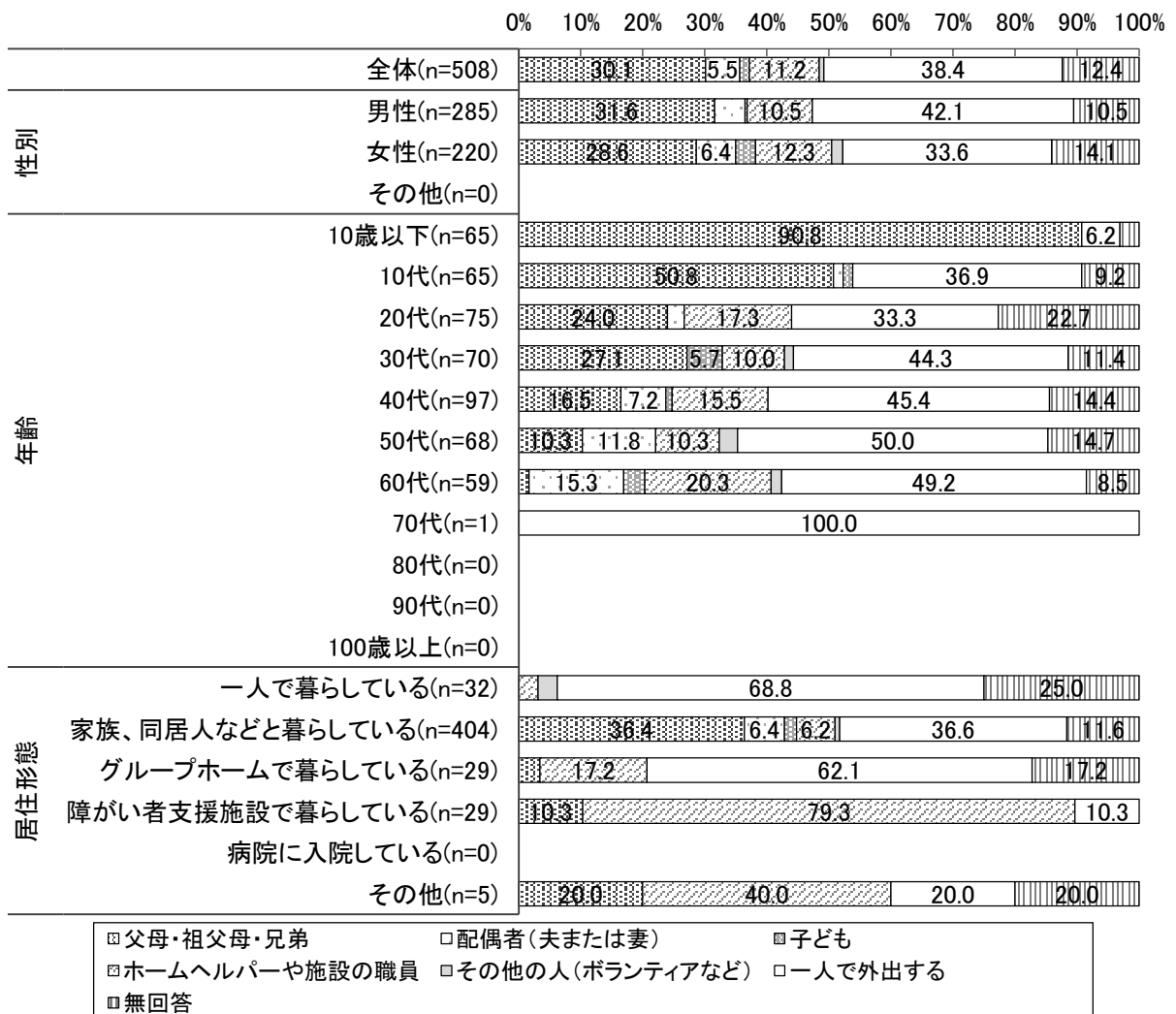
【問 28 から問 30 は、問 27 で、「まったく外出しない」以外を選択した場合にお答えください。】

問 28 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

外出する際の主な同伴者は、全体で見ると「一人で外出する」が 38.4%と最も高く、次いで「父母・祖父母・兄弟」が 30.1%、「ホームヘルパーや施設の職員」が 11.2%、「配偶者（夫または妻）」が 5.5%となっています。

属性別における「一人で外出する」の割合をみると、性別では男性が 42.1%であるのに対して、女性は 33.6%で 8.5 ポイント低くなっています。年齢階級別では 50 代が 50.0%と最も高くなっています。

### 【外出する際の主な同伴者】



問 29 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。

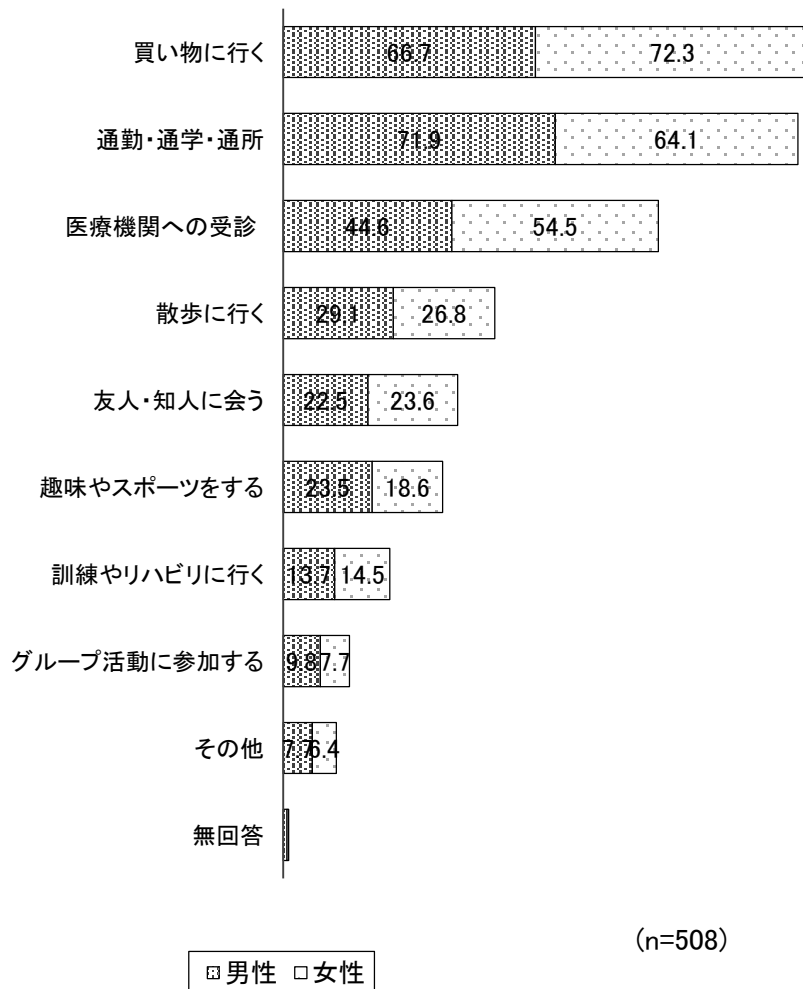
(あてはまるものすべてに○)

外出の目的は、「買い物に行く」が最も高く、次いで「通勤・通学・通所」「医療機関への受診」「散歩に行く」となっています。

【その他】

講習会/旅行/イベント/送り迎え など

【どのような目的で外出することが多いか】



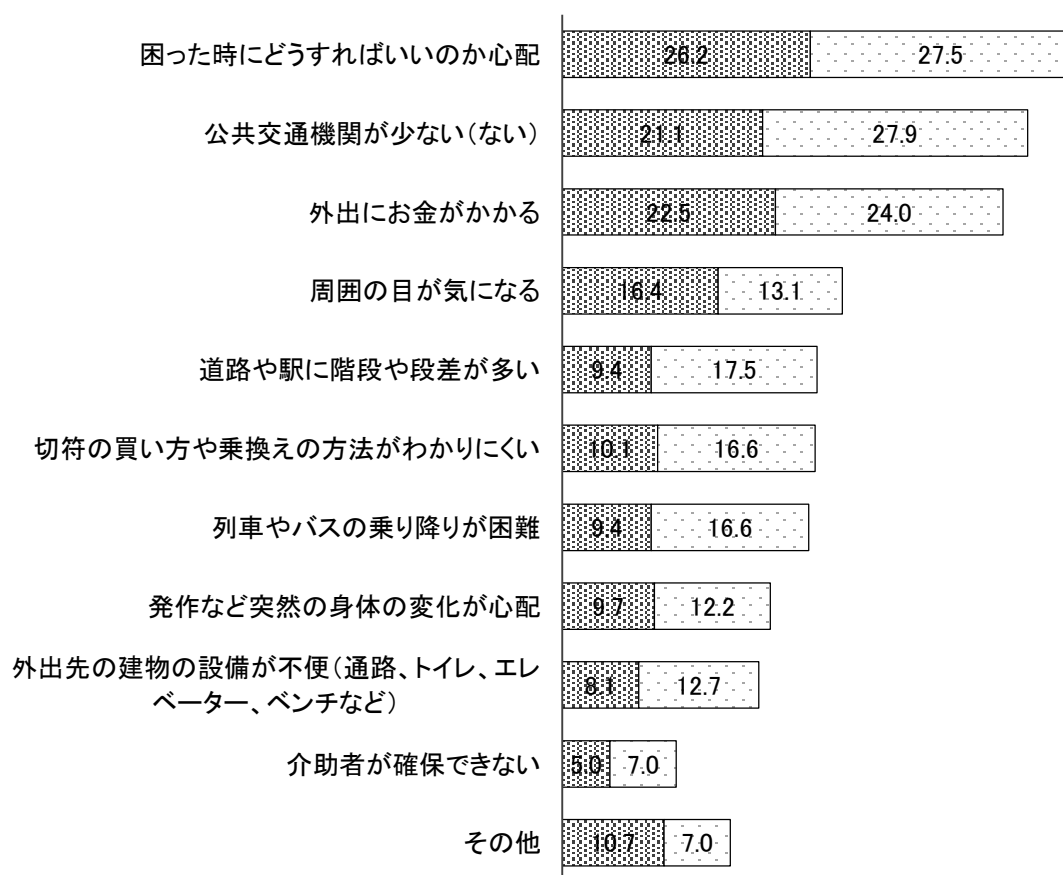
問 30 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出する時に困ることは、「困った時にどうすればいいのか心配」が最も高く、次いで「公共交通機関が少ない(ない)」「外出にお金がかかる」となっています。

【その他】

なし/目で見てわかる情報がない時/症状による影響/安心していける場所がない など

【外出する時に困ること】



(n=530)

☐男性 ☐女性

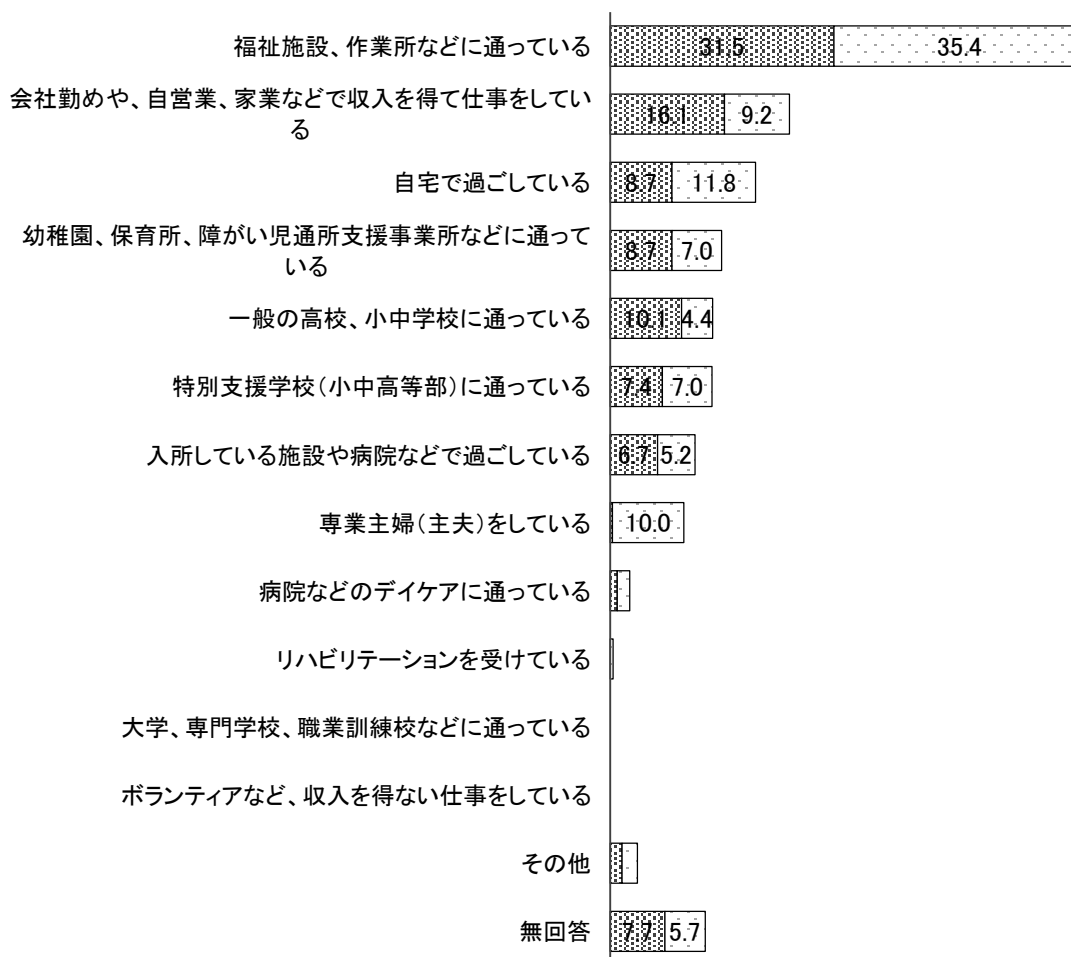
問 31 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

平日の日中の主な過ごし方は、「福祉施設、作業所などに通っている」が最も高く、次いで「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」「自宅で過ごしている」となっています。

【その他】

訪問教育/デイサービス など

### 【平日の日中の主な過ごし方】



(n=530)

■男性 □女性

【問 31 で、「1, 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」を選択した場合にお答えください。】

問 32 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

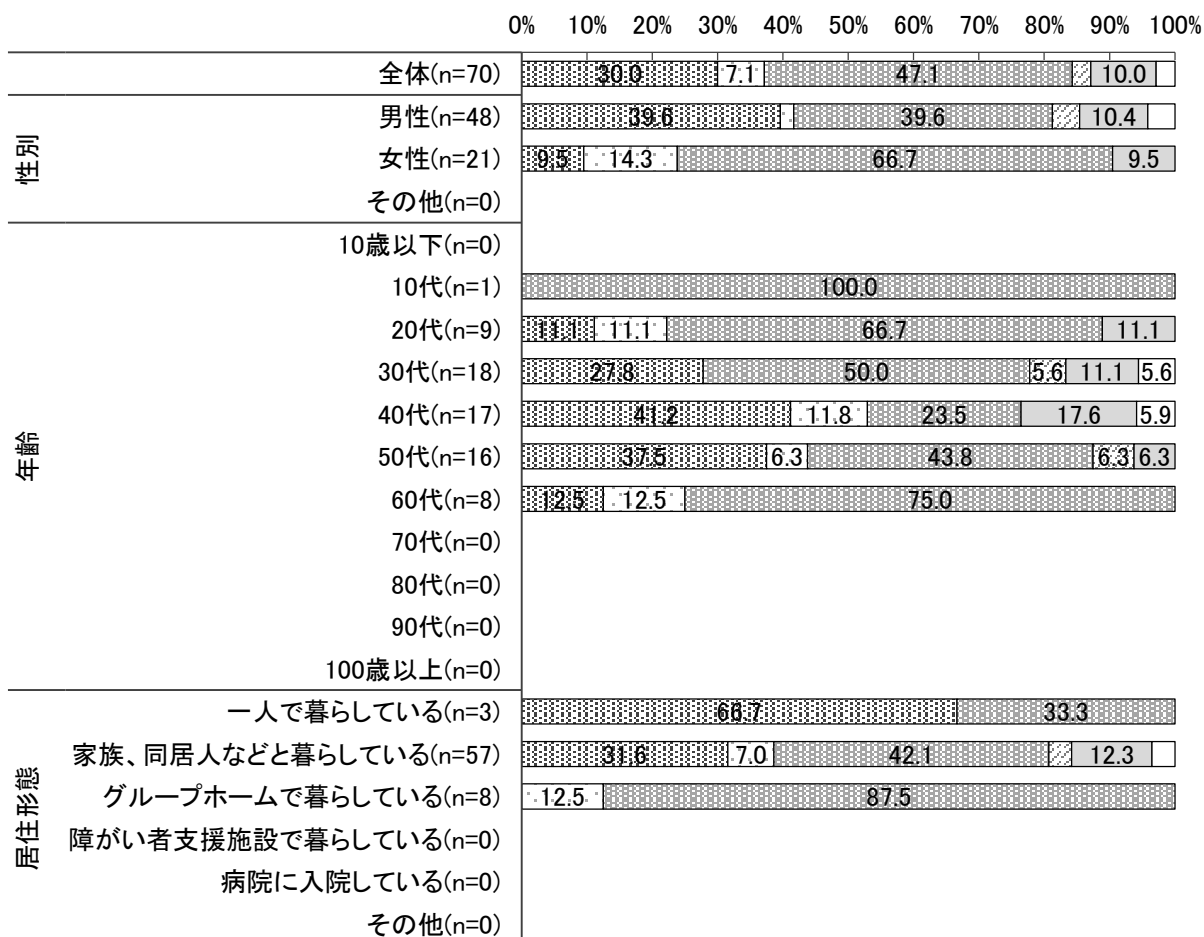
勤務形態は、全体でみると「パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員」が 47.1%と最も高く、次いで「正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない」が 30.0%、「その他」が 10.0%、「正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある」が 7.1%となっています。

【その他】

手伝い/在宅/障害福祉訓練 など

属性別における「パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員」の割合をみると、性別では男性が 39.6%であるのに対して、女性は 66.7%で 27.1 ポイント高くなっています。年齢階級別の 20 代以上では 60 代が 75.0%と最も高くなっています。

【勤務形態】



- 正職員で他の職員と勤務条件などに違いはない
- 正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある
- パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員
- 自営業、農林水産業など
- その他
- 無回答

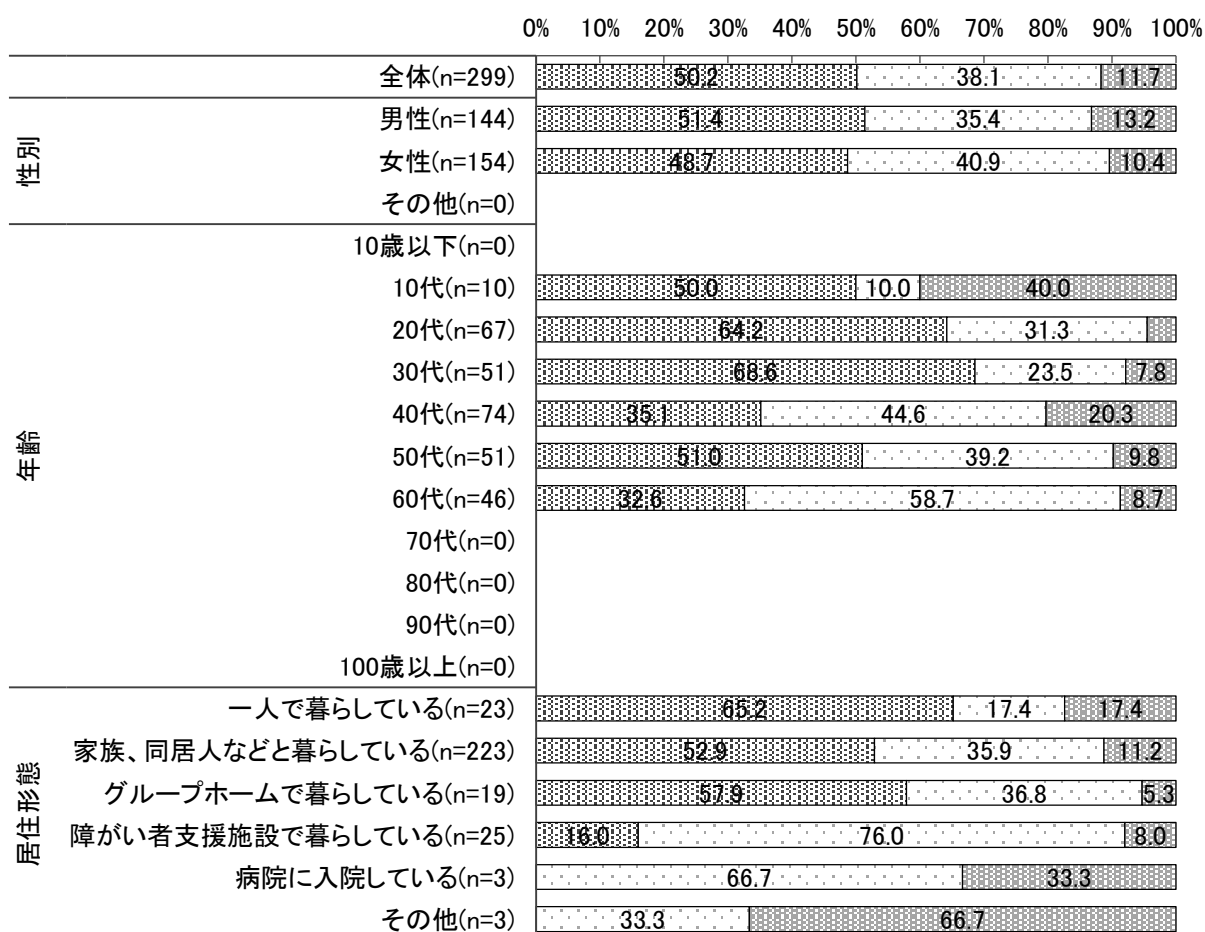
【問 31 で、「1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」以外を選択した 18～64 歳の方にお聞きします。】

問 33 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

今後、収入を得る仕事をしたいかは、全体でみると「仕事をしたい」が 50.2%、「仕事はしたくない、できない」が 38.1%となっています。

属性別における「仕事をしたい」の割合をみると、年齢階級別では 30 代が 68.6%で最も高く、60 代が 32.6%で最も低くなっています。居住形態別では、「一人で暮らしている」が 65.2%と最も高く、「障がい者支援施設で暮らしている」が 16.0%で最も低くなっています。

### 【今後、収入を得る仕事をしたいか】



■ 仕事をしたい    □ 仕事はしたくない、できない    ■ 無回答

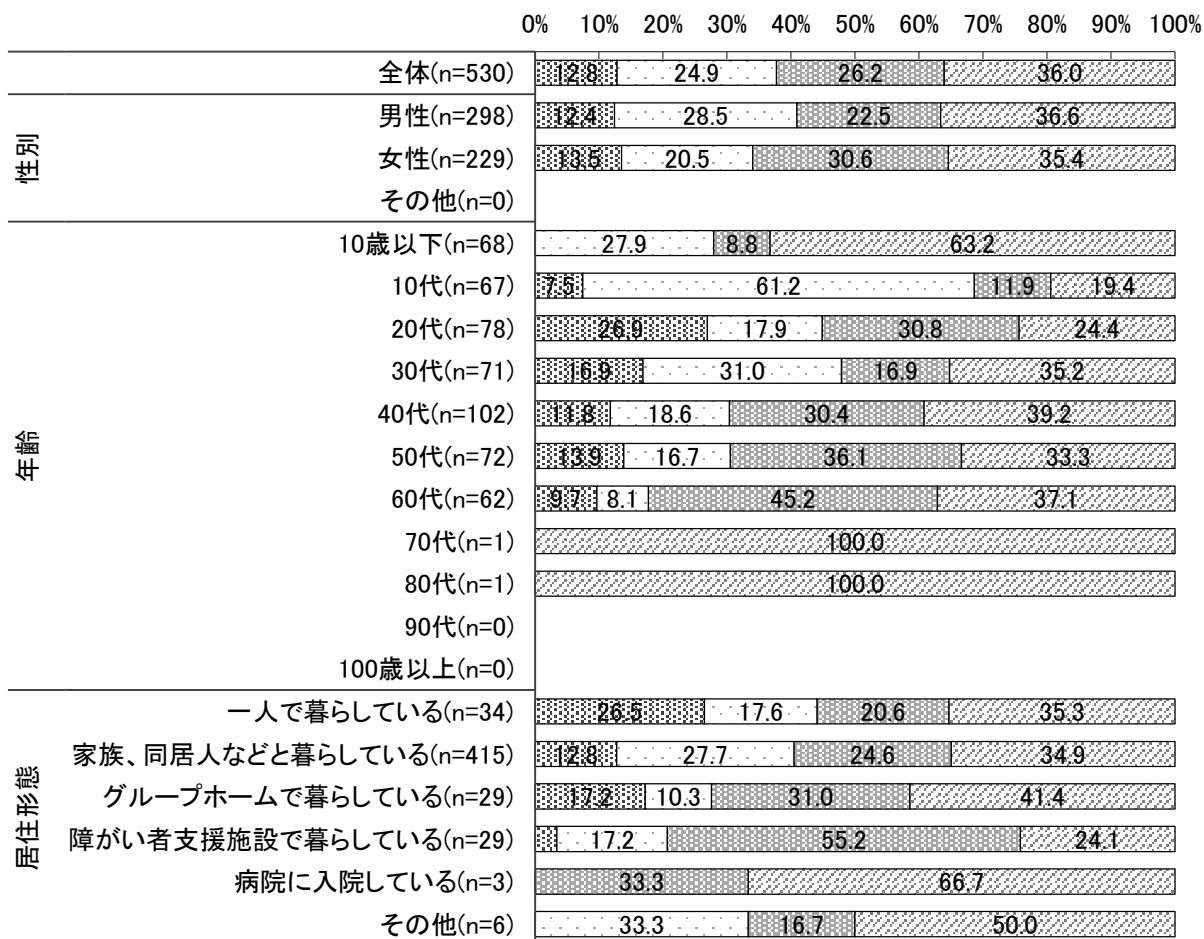
問 34 収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか。

(○は1つだけ)

収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいかは、全体でみると「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が26.2%と最も高く、次いで「職業訓練を受けたい」が24.9%、「すでに職業訓練を受けている」が12.8%となっています。

属性別における「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」の割合をみると、性別では男性が22.5%であるのに対して、女性は30.6%と8.1ポイント高くなっています。年齢階級別の10代～60代では、10代が11.9%で最も低く、60代が45.2%で最も高くなっています。居住形態別では「障がい者支援施設で暮らしている」が55.2%と最も高く半数を超えています。

【収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいか】



すでに職業訓練を受けている
 職業訓練を受けたい  
職業訓練を受けたくない、受ける必要はない
 無回答

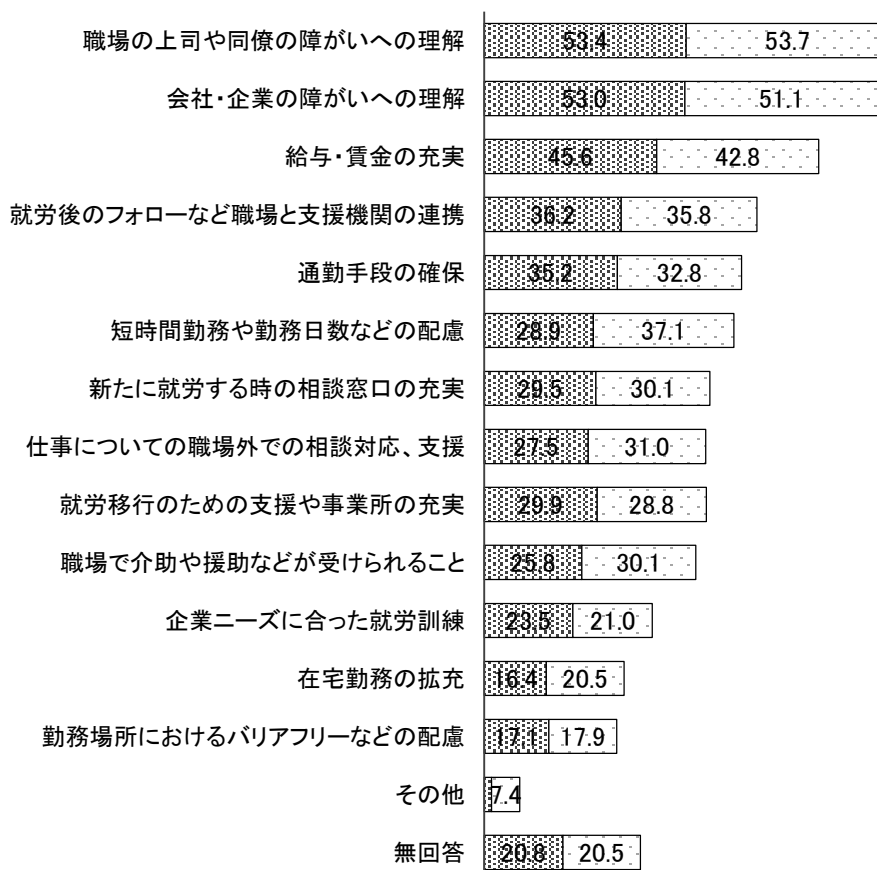
問 35 あなたは、障がい児・者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

必要だと思う障害者の就労支援としては、「職場の上司や同僚の障がいへの理解」が最も高く、次いで「会社・企業の障がいへの理解」「給与・賃金の充実」となっています。

【その他】

なし/就業体験の拡充/わからない/電話リレーサービス など

### 【必要だと思う障害児・者の就労支援】



(n=530)

☐男性 ☐女性

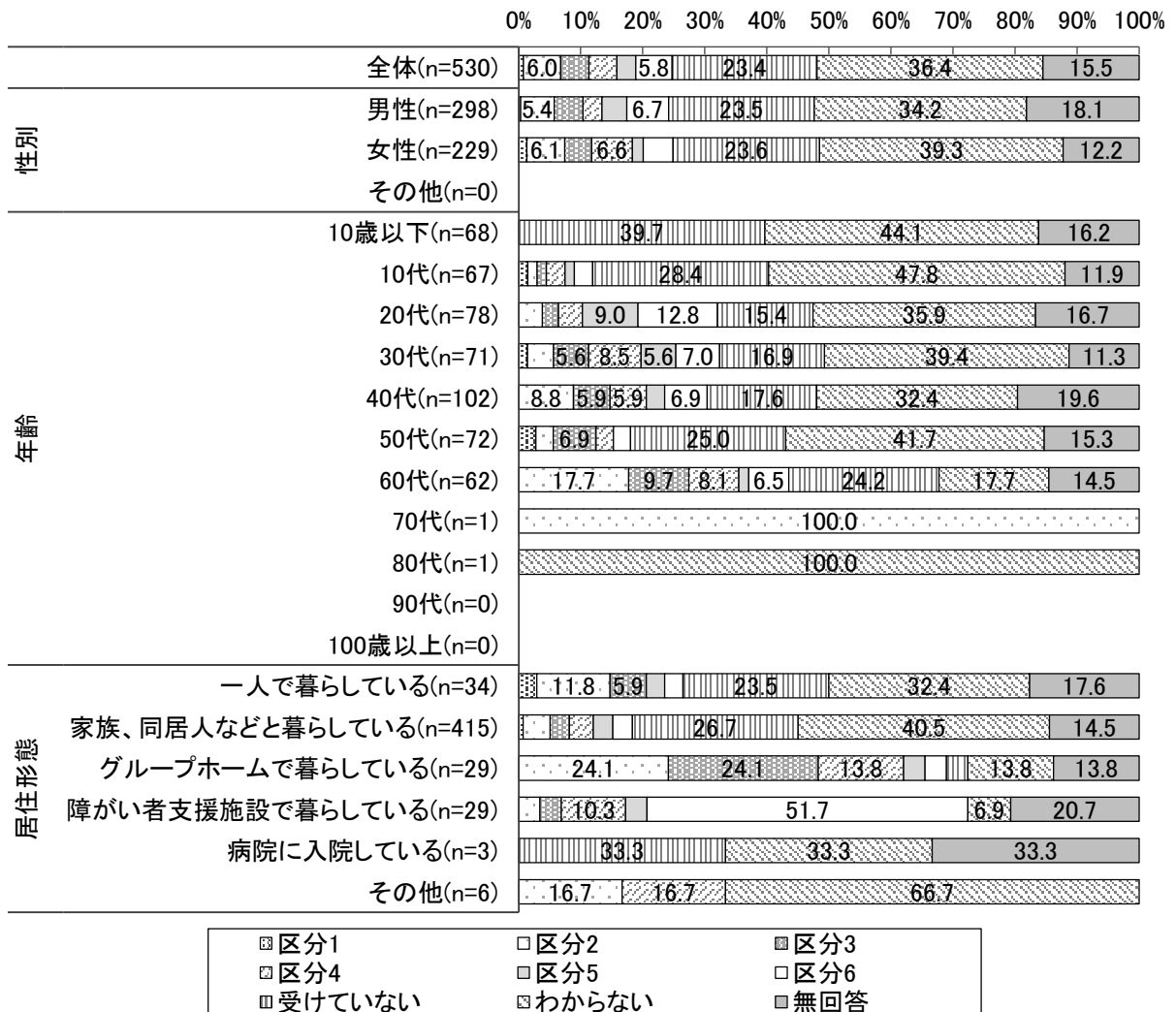
## 障がい福祉サービスなどの利用について

問 36 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

障害支援区分の認定は、全体で見ると「わからない」が36.4%と最も高く、次いで「受けていない」が23.4%、「区分2」が6.0%、「区分6」が5.8%となっています。

属性別において、『「区分1」～「区分6」』を合わせた「認定を受けている」の割合をみると、性別では男性が24.2%、女性が24.9%で大きな差はみられません。年齢階級別では10歳以下が0%と最も低く、60代が43.6%で最も高くなっています。

### 【障害支援区分の認定】



問 37 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。

(①から⑳のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に○)してください)

問 37-① 現在利用している障がい福祉サービス

現在利用している障がい福祉サービスは、「①障がい者相談事業」が最も高く、次いで「⑩就労継続支援(A型、B型)」「⑦生活介護」「⑯放課後等デイサービス」となっています。

**【現在利用している障がい福祉サービス】**



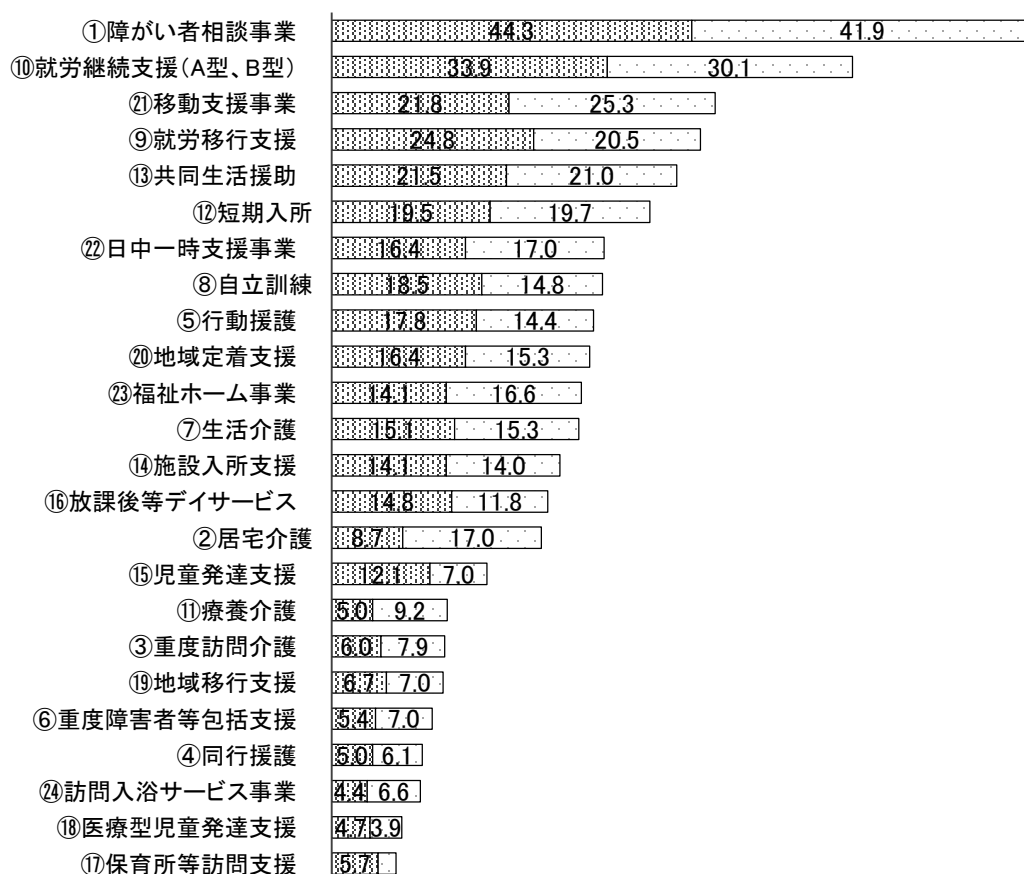
(n=530)

▨ 男性 □ 女性

問 37-② 今後、利用したいと思う障がい福祉サービス

今後、利用したいと思う障がい福祉サービスについては、「①障がい者相談支援」が最も高く、次いで「⑩就労継続支援（A型、B型）」「⑪移動支援事業」「⑨就労移行支援」となっています。

【今後、利用したいと思う障がい福祉サービス】



(n=530)

□男性 □女性

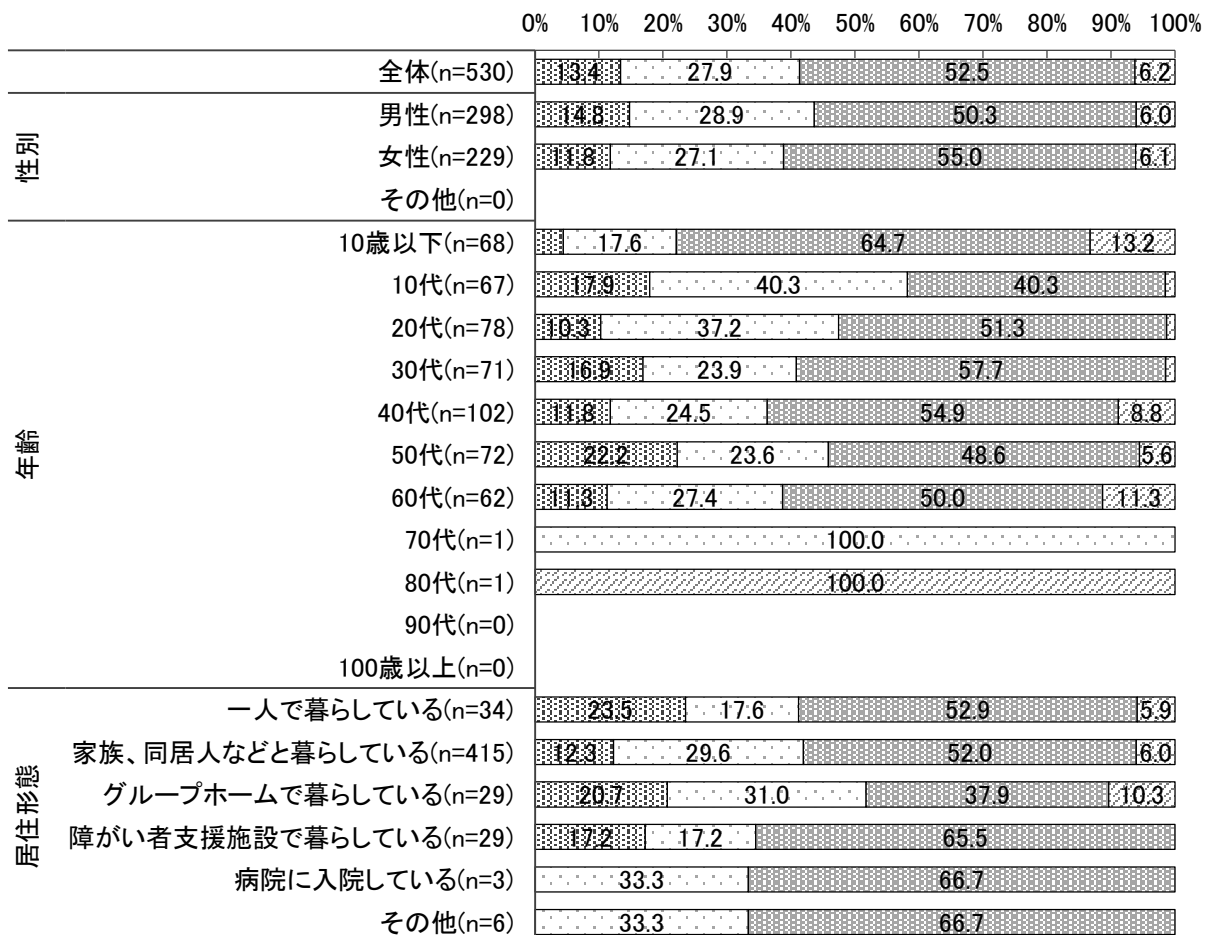
## 権利擁護について

問 39 あなたは、平成 28 年 4 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が施行されたことをご存知ですか。（○は 1 つだけ）

障害者差別解消法を知っているかについては、全体で見ると「名前も内容も知らない」が 52.5%で最も高く、「名前を聞いたことがある」が 27.9%、「名前も内容も知っている」が 13.4%となっています。

属性別における「名前も内容も知っている」の割合をみると、年齢階級別では 50 代が 22.2%で最も高く、次いで 10 代が 17.9%、30 代が 16.9%となっています。居住形態別では「一人で暮らしている」が 23.5%で最も高く、次いで「グループホームで暮らしている」が 20.7%、「障がい者支援施設で暮らしている」が 17.2%、「家族、同居人などと暮らしている」が 12.3%となっています。

### 【障害者差別解消法の施行を知っているか】



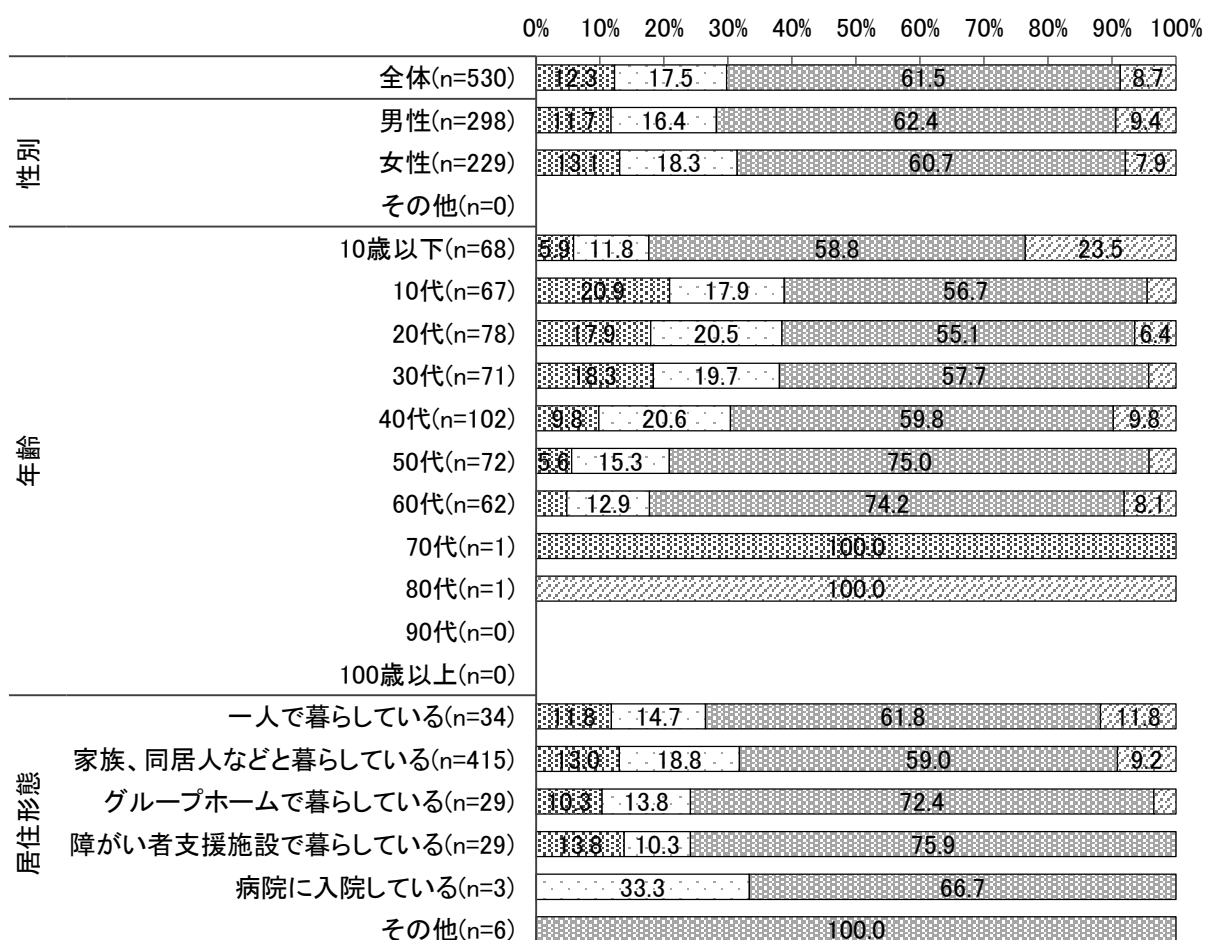
名前も内容も知っている       名前を聞いたことがあるが、内容は知らない  
 名前も内容も知らない       無回答

問 40 あなたは、平成 28 年 4 月から現在までの間に、障がいがあることで差別や嫌な  
 思いをする（した）ことがありますか。（○は 1 つだけ）

障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことの有無は、全体で見ると「ない」が 61.5%  
 と最も高く、次いで「少しある」が 17.5%、「ある」が 12.3%となっています。

属性別における「ある」の割合をみると、年齢階級別では概ね年齢が上がるごとに低くなる傾  
 向が見られます。

### 【障害があることで差別や嫌な思いをする（した）ことの有無】



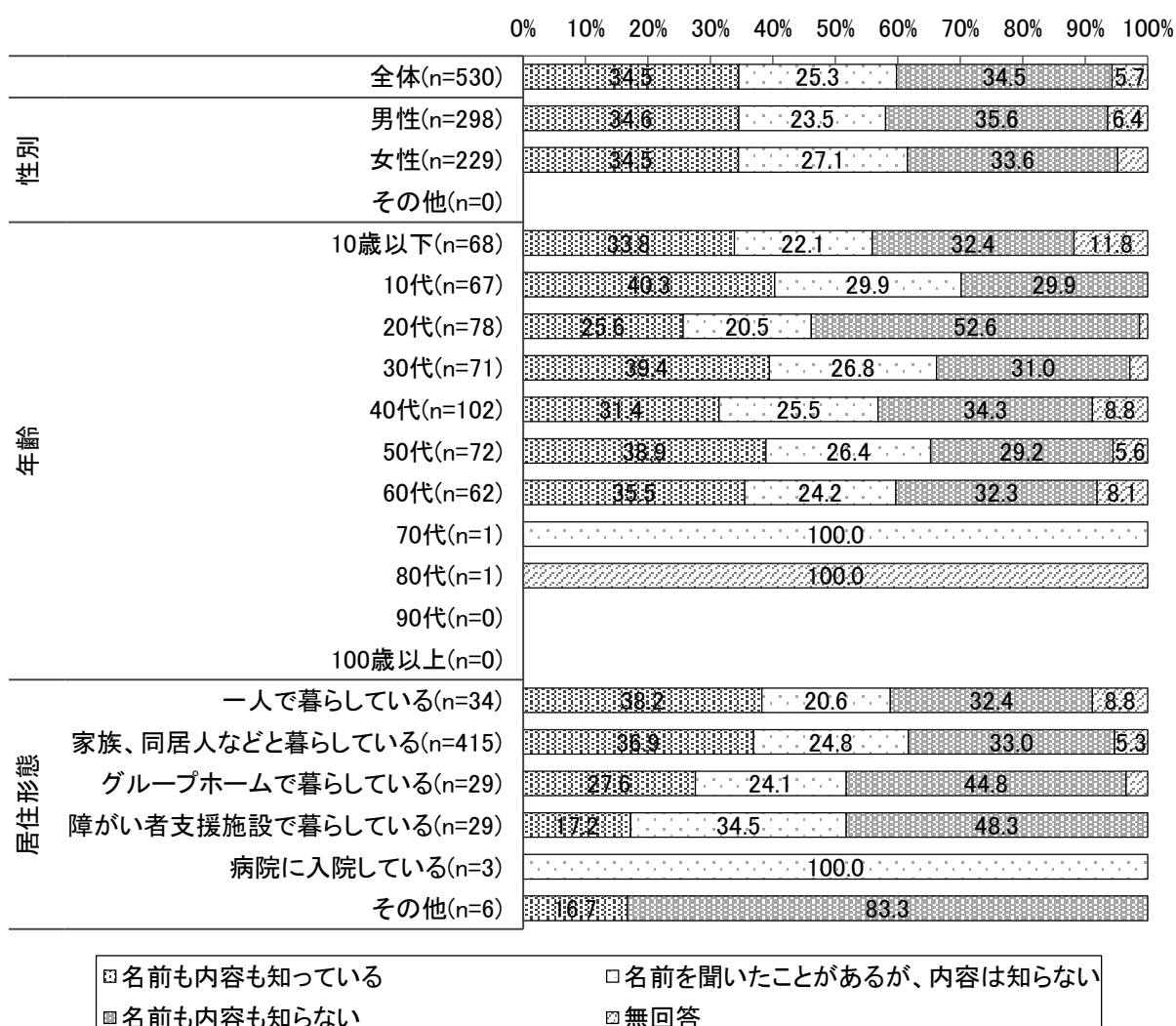
ある
 少しある
 ない
 無回答

問 42 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

成年後見制度について知っているかは、全体で見ると「名前も内容も知っている」「名前も内容も知らない」が 34.5%、「名前を聞いたことがあるが、内容は知らない」が 25.3%となっています。

属性別における「名前も内容も知っている」の割合をみると、年齢階級別では10代が40.3%と最も高く、次いで30代が39.4%、50代が38.9%となっており、20代が25.6%で最も低くなっています。居住形態別では「一人で暮らしている」が38.2%と最も高く、次いで「家族、同居人などと暮らしている」が36.9%となっています。

【成年後見制度について知っているか】





## 相談相手について

問 44 あなたは、普段悩みや困ったことをどなたに相談しますか。

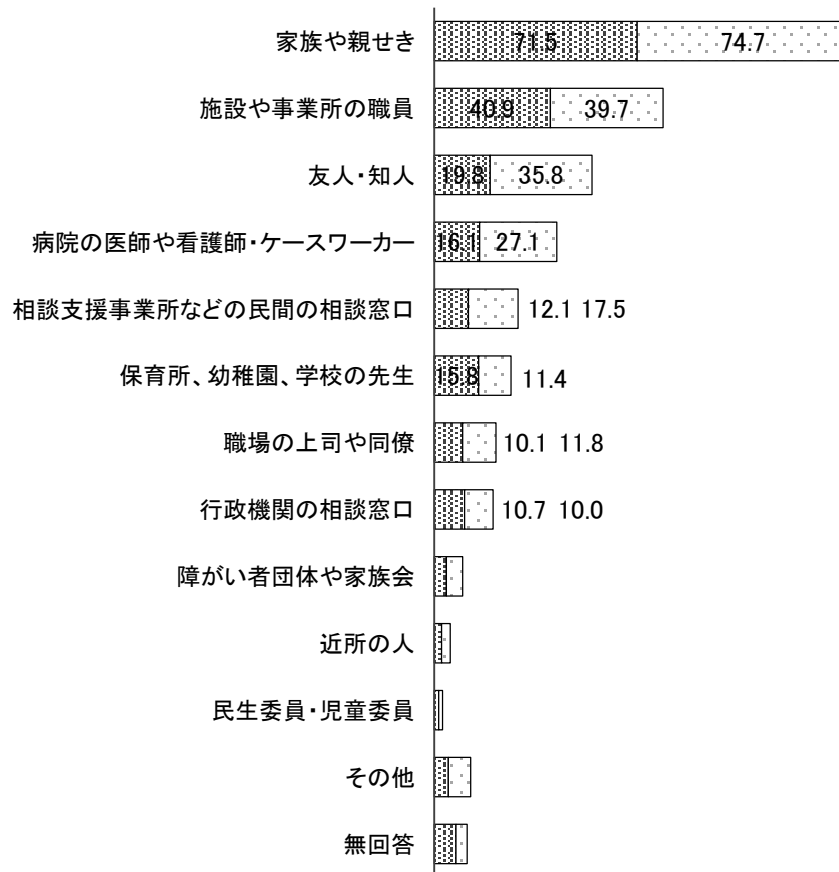
(あてはまるものすべてに○)

悩みや困ったことの相談相手は、「家族や親せき」が最も高く、次いで「施設や事業所の職員」「友人・知人」「病院の医師や看護師・ケースワーカー」となっています。

【その他】

相談しない/自分で解消する/相談相手はいない など

### 【悩みや困ったことの相談相手】



(n=530)

▨ 男性 □ 女性

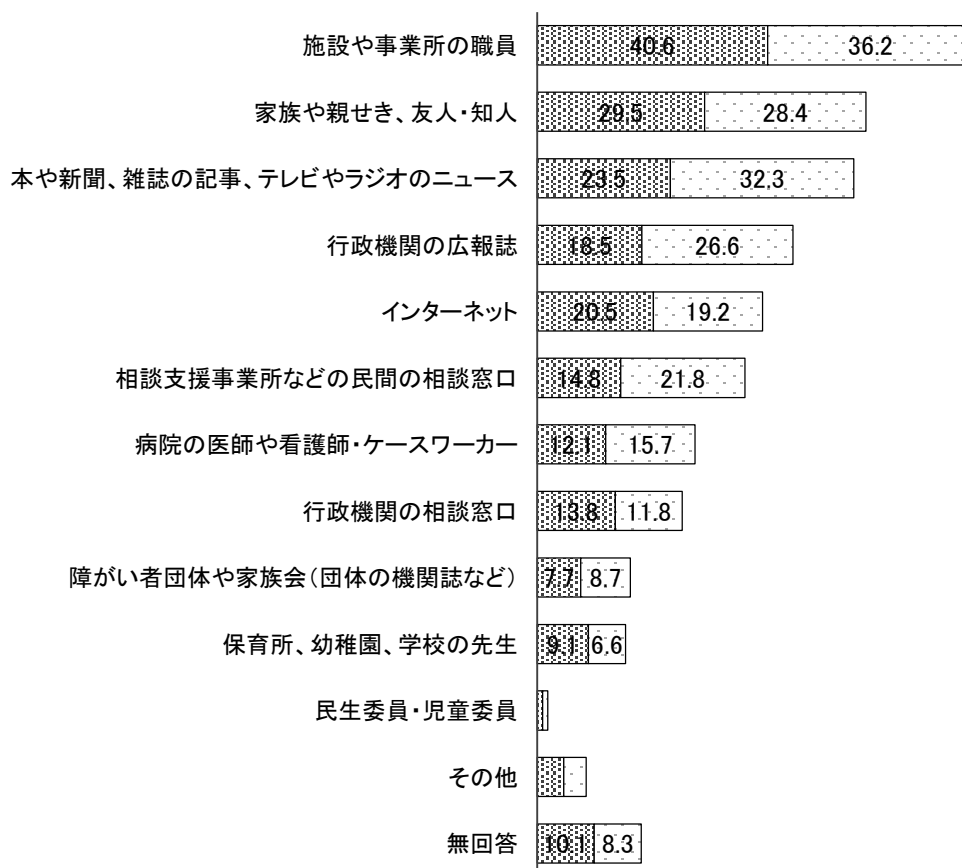
問 45 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障害のことや福祉サービスなどに関する情報の取得先は、「施設や事業所の職員」が最も高く、次いで「家族や親せき、友人・知人」「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」となっています。

【その他】

なし/わからない/療育手帳 など

### 【障害のことや福祉サービスなどに関する情報の取得先】



(n=530)

■ 男性 □ 女性

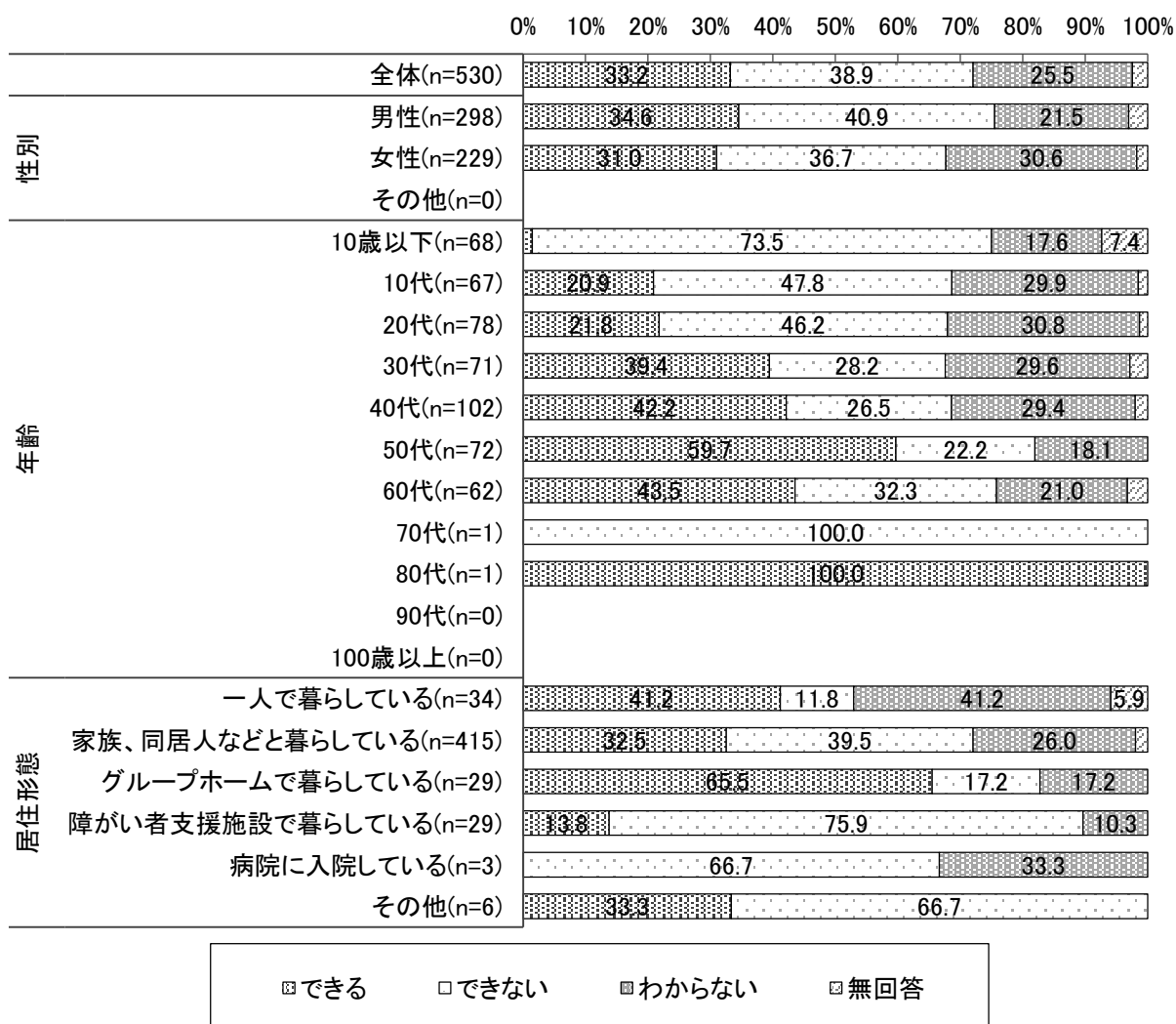
## 災害時の避難などについて

問 46 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

火事や地震等の災害時に一人で避難できるかは、全体で見ると「できない」が38.9%と最も高く、次いで「できる」が33.2%、「わからない」が25.5%となっています。

属性別における「できない」の割合をみると、性別では男性が40.9%であるのに対して、女性は36.7%と4.2ポイント低くなっています。年齢階級別では、概ね年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられます。ただし、60代は32.3%で、50代の22.2%よりも高くなっています。

### 【火事や地震等の災害時に一人で避難できるか】

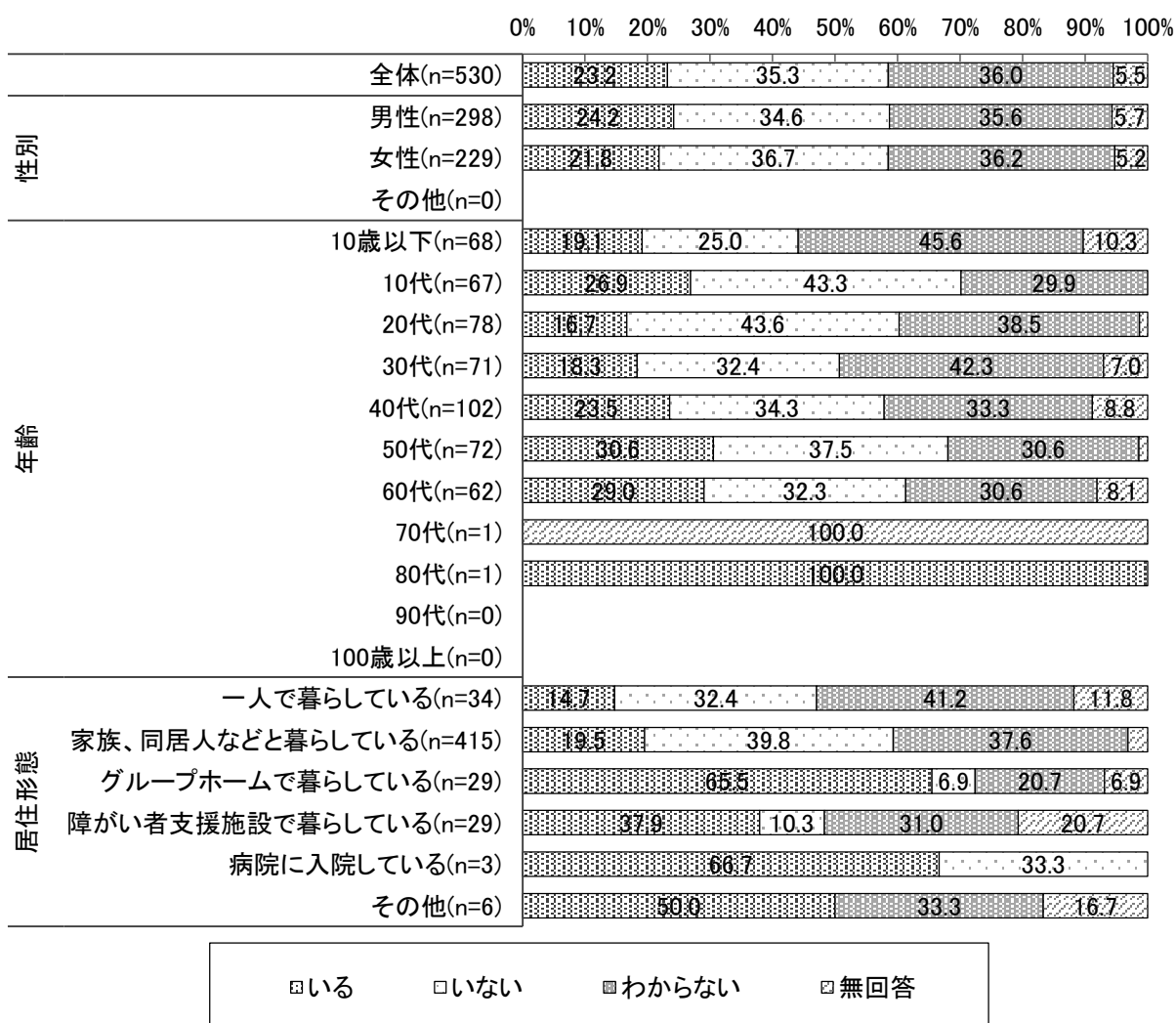


問 47 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)

助けてくれる近隣の人の有無は、全体で見ると「わからない」が36.0%と最も高く、次いで「いない」が35.3%、「いる」が23.2%となっています。

属性別における「わからない」の割合をみると、年齢階級別では10歳以下が45.6%と最も高く、次いで30代が42.3%、20代が38.5%となっています。居住形態別では「一人で暮らしている」が41.2%と最も高く、次いで「家族、同居人などと暮らしている」が37.6%となっています。

### 【助けてくれる近隣の人の有無】



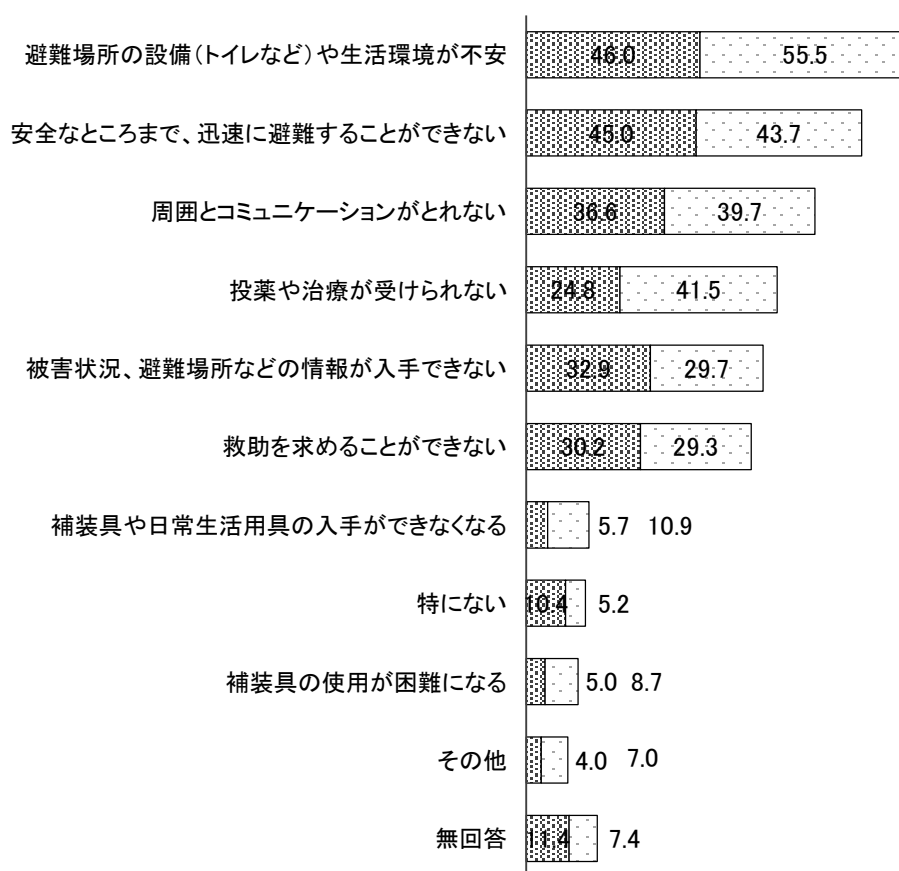
問 48 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

火事や地震等の災害時に困ることは、「避難場所の設備（トイレなど）や生活環境が不安」が最も高く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」「周囲とコミュニケーションがとれない」「投薬や治療が受けられない」となっています。

【その他】

他の人に迷惑をかけてしまう/食事の内容/一人きりになれない/わからない など

【火事や地震等の災害時に困ること】



(n=530)

☐男性 ☐女性

## 自由記入設問 記述（全文）

自由意見は記入された方の意図がそのまま伝わるよう、可能な限り原文を尊重して掲載していますが、明らかな誤字・脱字と思われる字句は修正しています。また、本アンケートの趣旨と異なるものや、個人(団体)が特定できる記述、誹謗・中傷等は削除しています。

問 38 あなたが、上記の(障がい福祉)サービスを利用していない理由は何ですか。(自由にご記入ください)

- 「聴覚」障害のみの障害者です。
- 必要性を感じていないから。
- 親対応でまかなえているので。
- いまのところ必要がないと思う。
- お金がかかりそうだから
- お父さんがいるから
- サービスその物が理解できない、わからなかった。相談する所もわからなかった。
- サービスを受けなくても配偶者、子供により生活が出来る為
- それほど重い障害ではない為
- できるだけほかの人とコミュニケーションをとりたくない。医者とデイケアメンバーとの交流はよい
- どこで行われているのか場所がわからない。あきてしまうし続けられないからです
- まだ、自分の事は出来ているので
- まだ1歳で必要ないため。
- まだサービスを利用しなければ生活できないほどではないため
- まだ学生だからです。
- まだ必要がない
- まだ必要性があるとは思わないので。
- めんどくさい
- 一部介助が必要な場合において、配偶者に介助いただいている
- 家族の支援で生活しており、現在は利用しなくてもよい！
- 家族の手で足りているのと自分で出来るため
- 家庭での生活を楽しんでいる。
- 過去にあまり知られていなかったことや、周りにもこういうものがあると知らなかったのだと思います。後からわかったことが多いです。

- 興味はあるが今のところ利用しなくても済んでいるため。他市に居住していた時（幼少期）に利用していた事があります。
- 健康良好の為です。
- 健常者と同じ日常生活ができています。不便を感じていない。
- 現在、何とか自身で外出、買物、通院が出来るので利用していない
- 現在、家族がいるので利用していない。
- 現在、高等支援学校に入学、寮生活で支援していただいています。夏休み、冬休みの過ごし方は課題ですが、高校生向きの休み中に行っていただける支援があれば経験させたいです。（現在、小中学生が楽しいランチ&プール…ありますが）
- 現在、治療中で安定している（体調が）ので必要としていない
- 現在、地域の小学校に通学していて、学校側の配慮で問題なく学校生活を送ることができているため、利用していません。（今後、進学や就職などで状況が変わった場合、利用することがあるかもしれません）
- 現在は自分で動けて歩けるので介護は必要ない。今後病気が重くなり寝たきりになったら考えたい
- 現在は特に必要としていないので。
- 現在は必要ない。親の介護。一人ぼっちになった時利用したい
- 現在は必要性を感じていなく、これから年齢をかさねたら利用する事はあると思います
- 現在中学生で両親がそろっており、サポートができるから
- 現在必要と感じないので利用していない
- 現在利用する事がないから。また何かあれば今の段階では家族がいるので、今後もまだ利用する予定がない
- 現時点ではサービスなど利用する必要はない為
- 言語発達の向上のため日常生活、集団行動の向上のため
- 高齢者となればまた突然病気などで障害者となれば利用したいが。その時の状況を考え（身体、精神の）
- 今、施設入所しているため、利用してません。
- 今のところサービスを利用する必要がない。本人が望まない
- 今のところ必要としていないから。必要となったら利用したいものもある。
- 今の所、自分で出来るのでサービスを必要としていない。（同居している家族の手助けもあるので）
- 今の所家族が出来るから。今後の事はその時にならないとわからない。
- 今の所自宅で何とかやれています
- 今の所必要ない。
- 今の所必要なし。妻の手助けで十分生活出来る。

- 今の生活で、いっぱい、そこまで考えていない。
- 今は家族が一緒だから今後は利用するかも知れません
- 今現在は自分で自分の事はできるので受けておりません。
- 在職中の中途障害の為、継続勤務が何とかできている。ADLもすべて自立しているので不安だった。しかし勤務先が障害者雇用促進法の合理的配慮をしてくれない為、身体的に負担多く、退職を検討している。退職後は⑩を利用したいと思っている
- 仕事の家から行く事が出来る。今の所、母が見てくれます。
- 仕事で忙しいのもあるが、福祉サービスが充実していない。利用しても効果が出ていない。疑問があり、利用するのをちゅうちょしてしまう。
- 子供がまだ小さいため、何を利用できるのか分からないのと、子供を一人に出来ないのでは利用できない。
- 施設に入所していると入所内でのサービスしか受ける事ができないので他市に自宅（親）があるとき利用できる事業所と契約していないと利用できない。この事が理解していないと、すぐ利用するという事は無理ですね。施設、病院に戻れず自宅に在宅しているときには、なかなか外出できないので、気持ちが沈みがちになります。すこしでも利用できるように手続きが簡単になるといいですね。むかし利用していたからすぐ利用できるといいですね。
- 耳が聞えないですが、ふつうに行動出来ますし、ふつうに仕事していますので今の所困っている事は全くないです
- 自分が出来る事が増えてきたのと、重度と見た目が一般人と変わらないので。
- 自分ですべて一人で生活しているので利用していない。買物、食事の事など一人でやっている。
- 自分で身の回りが出来るから
- 自分には当てはまらないと思ったので
- 自立して生活してゆける
- 障がい支援区分の意味がわからなかった。サービスの提供場所も利用方法もわからなかった。
- 障害があるのはうすうすわかっていたが、きちんと判定等行っていなかった為、どの様に利用するのか理解していなかった
- 色々なサービスがあることを知らなかった。自分で体は動かせる。人の目がこわいだけだから。
- 親と同居しているので
- 身体能力があるていどあり必要としないから
- 成人でありサービス希望はその時叶わなかった旨諦めたり、サービスの提供できる施設が少なすぎたりして、使えませんでした。老人とさほど程度が変わらなくても、障がい者にはあまりにも利用出来る場所が少なすぎると思います。施設側の情報収集や

その中身は10年程前となんら変わってません。柔軟性が不可欠だと介護者として切に思っています。

- 生活が出来る
- 精神障害者における就労訓練に集中している状態であるため
- 全身まひで入院中の為
- 体調が悪いため自宅療養している
- 知っている人がいない。
- 知らなかったから
- 聴覚障がい者は一般同様に生活しています。聴覚障害であっても、頭、身体、心身の障害者支障が無く、コミュニケーション、情報環境以外、自立生活がほとんど心配ないようです。「音」といった情報の代用し、自分ではっきりと伝わる事ができる情報（例、文字放送、字幕、手話通訳者、スマートフォンなど）があれば、一般生活に近づくことができるかも知れません。
- 定年60才まで頑張ります
- 透析も長期となり、多くの合併症を持っているが、できるだけ自分でできる事はしている。状況としては現在はサービスの必要はほとんどない。しかし、過去の脊椎の手術、両股関節、肩関節の手術等では回復するまでの数ヶ月、短期でもすぐにサービスが受けられるしくみが欲しい。特に通院や身の周りの事、過去のその時は民間の介護タクシーで透析に通院していた
- 日常生活の中で使うことがない。手話通訳のみ。
- 年令が7才で親の管理下にあるため必要としていなかった。精神障害のため医療型の福祉は使えない。日中一時などやショートステイは空きがなく入れない。
- 配偶者と同居し就労できているから。どちらかが欠ければ状況は激変する
- 買いたい物がない。行きたいところがきまらない
- 必要としていないから
- 病院に入院しています。
- 夫が家族の支援により、何とか生活出来ているから
- 利用しなくても生活が成り立っている。又は、何かあれば家族が今のところ対応している
- 利用するほどひどくないから。サービスがこんなに有るとは思っていなかったから
- 両親に助けてもらって今のところ生活出来ているから
- 療育手帳B判定のため利用したいと思っても、受けられないことが多く、家族で支えるしかないと思って今までやってきているし、親ができるうちは自立に向けての補助をやって行こうと思うけど限界があります

問 41 どのような場所や状況で差別や嫌な思いをしましたか。(自由にご記入ください)

- “あいつは病気だから”と自分の実家庭で実両親に理解されず、“病気で障害者だから相手にするな。信用するな。”とロクセの様に言われて育って来たこと。差別というか無理解だったため。それを親族にも言っていたり、“入院させてしまえ”等々言われていた。
- スーパー等のレジ待ちで、大きな声を出してしまった時に、いやな顔をされた。・順番をまつことができなく、動き回ってしまう子に対しての目線が冷たく感じる。
- 外出時、ジロジロ見られる。・JR特急に乘った時、車イスを置く場所がなくワゴン販売がくるたび移動しなければならなかった。・エレベーターが小さかったり混雑すると何度も乗れなかったりする。
- 職場であいさつしても無視された。・バスに乗った時、目的の場所で降りる際、前に行こうとしてすみません…と言ったのに通路を開けてくれなくて、ちょっとぶつかったら舌うちされた。
- JRの列車で100キロ以内は障害割引はないと改札のところで言われた
- あるが、本人はわかっていない。
- いじわるや嫌がらせ悪口を言われる、変な目でみられる
- いろいろな場所でジート見られたり「へん」と言われる。
- うつの診断で疾病認定で保育園に子供たちを入れている。引越して市内で保育所を変えた。17:30～用事があり、重要なものなので、延長を頼むと「就労していないと延長はできない」と。延長、主任には抗議した。「なまけている訳ではない、好きでうつになった訳ではない。「住みやすい北広島」「子育てしやすい」見極めなければいけない。
- うまくスラスラ話せないときがあったことで家族につっこまれたりする
- お風呂屋さんに行った時に、1人ではお風呂に入れないので、一緒に女性の方へ入りたいと言った時に（本人は9才）8才以上のお子様は決まりで男性の方へ入る事になっています！と言われ「今回はいいので、次回からは…」といやな顔をされた。我が家は父が仕事で単身赴任をしているので母である私しか家にいない。
- からかわれた
- からだをまひさせる薬をのまされている
- コンサートなどで字幕がない。バスの運転手とのコミュニケーションがスムーズでない。タクシーの運転手とのコミュニケーションがスムーズでない。
- コンサート会場の障がい者の席がない
- こんざつの中で白い目で見られる（こんな所に来なくてもよいではないか？とささやかれる）

- タクシーやバスに乗る時に手帳を出したら、いやなかおをされたこと。タクシーでこの手帳は割引できないっていわれて、通常のりょう金をはらった。割引できるはずなのに。それがいやでした。
- できないことを伝えると、「じゃあ何ができるの？」と言われた。給与報酬が見合っているのか考えないといけないと言われた。(どちらも勤務先で)。障害者枠2%で登録されているが、肉体労働、支援職に配置され過剰な負担になっている。辞めさせようと思っているとしか思えない、合理的配慮はエレベーター使用のみ。
- どうしても、場にあわない時に声を出してしまい、病院などは、理解のあり所を選ばないといけない。子供が小さい時、断られたこともある。
- バカにされた
- ハローワークの職業訓練のカリキュラムに希望したが申し込みを断られた
- まだ子供達同士なので障害に関する知識や理解が難しく、誤解をされて少しかわいそうだと思っています
- ライブハウスなどまだまだトイレがない所が多く外出に2人分の費用がかかったり、バリアフリールームに泊まる際、アップグレード料金を取られる。(そこじゃなきゃ泊まれないのに) イベントなどで対応に困惑されて、申し訳ない気分になる。いろんなイベントで車イスで参加が想定されていないものが多い。
- 移動支援利用をサービス事業所に申し込んだが、利用可能かどうかの返事がおくれ、こちらから又さいそくしたが担当者がいないとかで、気の無い返事であった。サービス事業所も人手不足なのか良い職員が少ないと思った
- 医療機関内やスーパーなどで、容姿をじっと見られたりわざわざ通り過ぎてから戻ってきてまた容姿を見られたりして嫌な思いをしています。
- 一般企業に勤めた時、勤めている人にバカにされ指摘された
- 一般企業に就労していたが、障害を理由に退職になった。企業に障害者を雇用する体力はないと判断し、生活苦になる事は判っていたが自主退任した。これが現実です。
- 横断歩道など手を取って渡る時など、体が大きく目立つのでじっと見られる。「変な顔」とか…
- 家で父、妹に言葉でいじめる、たたかれる
- 会社
- 外出で歩いている時、屋内で顔をじろじろ見られる。
- 外出をした時に騒いでしまい、うるさいと思った年配の男性に「うるさい」「親の教育がなってない」と言われたこと。(発達障がいがあり多動であるが、他の知的障がいや身体障がいのように外見でわかりづらく、見た目は普通の子どもなので周囲の理解が得られにくい。)
- 外出先で声の大きさの調節があまり上手でない為、ジロジロ見られた。
- 外出先で白い目で見られた

- 学校での友人関係で
- 学校で学年があがるにつれて、幼稚さがある彼はなにかと傷つく言葉を言われてしまう事がある。
- 学校で存在をめんどくさがられたり、小さいじめをされた
- 学校で同級生から障害があることをからかわれたりした（担任に相談した）
- 給与及び手当で差別を感じていた
- 金銭関係
- 研修先でのきつい言葉
- 見た目には解らない障害である為、身体的につらい状況の時に理解してもらえない
- 現在の状況で生活する前、一般企業に在籍時、現在の病名に治る時期が判らないので再雇用契約出来ないと言われた
- 公園とかお店で大きい声をだすとまわりの目が気になった。一般の子が話したりあそんだりできるのに自分ではできない
- 公共の場所で特別な目で見られる。言語が不自由で話言葉を奇異の目で見ると
- 差別的な目線で見られることが多々ある。
- 作業所でカバン入れに吸いながら入れられて嫌がらせをうけた。相談員にあいさつを無視された。
- 作業中にうるさい人がいるから作業中に集中できない。
- 子供110番のステッカーの貼られた家の60～70代の人怒られた？娘も発言の良し悪しがまだ理解できないところがあるが、子供（幼児）の特性を解っていない人が子供110番というのは理解しかねる。反対の意味でとらえたら「こーゆー人もいる」と教育に活かせる
- 支援学級とのことで学校の児童から「障がい者」と言われたことがあり、いやな思いをした。
- 支援学級にいるため、通常級の子供達から差別発言を受ける。「ガイジ」と呼ばれバカにされる。
- 私は離人症と統合失調症を併発している精神障害者ですが、主に症状から人の目につくような場所や交通機関を利用することに不便さを感じています。今はB型事業所に通い、日中活動的には充実しています。
- 自分が不自由なだけ
- 自分の思いが相手に上手く伝わらない
- 自分より重度の暴力傾向のある知的障害の人にたびたびなぐられる。相手は障害が重く、責任がとれずあやまることもできないので、保護者の人が来てあやまられておわりにされる。なぐられる当人は一緒にグループでいるのが苦痛らしいが、がまんするしかない

- 車イス使用時どうしてもバリアフリーが完全じゃないところではトイレを使用できなかったり、送迎時の施設の対応がよくなかったり自分ができない事は悲しいことと思いました
- 周りの人にほかの人と違うって言われた。
- 周囲の目
- 就職する時に、差別するような面接担当者や職業安定所も法律も知らない人ばかりで、とても不満な気持ちになります。
- 初めて会う人が集まるところ（公園や市の検診など）で斜視のため「眼が変だ」などとコソコソ言ってるのが聞えた。またそういう言葉を直接聞かなくても、そう思われているのではと不安になる
- 書いたら生活できません
- 書いてもしょうがない事なので言いません。この世から差別なんてなくなるもの。
- 商業施設の人ゴミでおされた。人にぶつかった。南千歳駅にエレベーターがなくてホームに降りるのに階段を使った。
- 小学校で支援級の先生から傷付くことを言われた
- 小学生の頃、同級生からからかわれたりいじめられた
- 小学生時にいやな思いがある
- 障がい特性の無理解
- 障害があっても、自ら積極的に社会参加する、あるいはしようとする姿勢をつらぬいていけば、少しでもその「差別」が解消しつつある場合が多いと感じております。
- 障害と言うと、嫌な顔をされたり、接し方や見られ方が変わる
- 障害者なのに指導者とおなじように出来ないと「どうして！きれいにできないの！時間がかかる！」との言葉、注意をされて荒れてしまう。それと、他の人との比較いやですね。個々で見てほしい。前の施設でこのような事がありすぐ想いされます。別の施設では子にしかできない仕事を責任もたされてイキイキしていたことも想いされます。
- 場所や状況はいろいろあるのですが、こだわりが強いので、どういうことにこだわるか予測が難しく、親でも、わからない時があり、差別や嫌な思いというより、ストレスなく、せいかつすることだけで、精一杯です。（レストランで大声を出して、刺されるような視線を浴びたり、差別というより本人の行動とまわりの状況があわないことばかりです。）
- 職場
- 職場で「障害者」と悪口を言われた
- 職場での男女交際等、作業の仕方
- 職場で上司が私だけ口をきかない
- 職場で上司や同僚からの言葉使い

- 新札のけいけつセンターに友達と一緒にいき、親に薬の内容のTELがかかってきて最後に“薬の内容が分からないような子は来ないように”な事を言われた
- 親せきの中でも障がい者差別はあるようです。親せき、家族の障がい者は大丈夫、ただほかの人の障がい者において否定的な言葉を言ったりします。職場に来ている障がい者に対しても「つかえない」などと言っています。
- 人があつまる場所で、ジロジロ見たり、ヒソヒソ話をされると、本人は気にしない様子だけど、付き添う人はあまり気分がよくない
- 人とコミュニケーション取りできない
- 人の目がとても気になる。自分の事をじーっと見ている。
- 成人してからリウマチになったため、周りになかなか辛さを分からず周りの人と歩くペースとちがうため、イライラされたりしました。理解される事が難しいです。あとどうしてなったの？と聞かれるのも辛かったです。原因不明だからです。
- 精神障害で病院に通っているだけで変人や気ちがいという言葉で傷付いた経験がある
- ●●小学校、子供にあわせる授業はないと言われた。
- 大人になり身体も大きくなるが、その分、声や動きも大きく目立つ様になり、公共の乗り物などには乗りにくくなりました。自動車での移動があたり前になり親が運転できなくなった時の事を思うと不安になります。あからさまには言われませんが、人の視線が気になります。
- 大勢の場に行くと好奇心な目で見られる
- 段差のある店には入れない。普通の人が身障者の駐車スペースに止まっている
- 知的障害や発達障害の場合は、周りから外見から見て障害のあることがわかりにくいせいか、思ったことが伝わりにくいことや、誤解や不思議に思われることがあります。特に慣れないことや場所などが見通しが持てず、不安になることがあります。他人からすれば何ともないことだと思いますが、周りが理解したり配慮が必要だと思います。
- 仲間はずれ、無視、変質者扱い
- 聴覚なので聞き取れない、すぐに会話の内容を理解できない時など、面倒くさそうな顔をされたことが何度かある
- 通所しているB型作業所の職員より、ある事象で口論となり、普通は～と言うべき、～と行動をとるはず（べき）と言われたが発達障害があり、うつ病であるため、作業所で訓練中なので普通～するべきと発言はせず、利用者の言葉を良く聞いて理解してほしい。発達の特性に合わせた対応をしてほしい。（勉強会、特性を理解しあう必要有）
- 電車などでの他人の視線など
- 電車や駅などで一人笑いが症状として出たときに学生にキモイなどと言われた事が数度あった
- 特に大衆の前で

- 特別支援学級になる前に（普通学級の時）、小3～4、“おまえは病気”（生徒から）先生からも、まじめにできない、集中できない、と言われました。障害児の知識が足りないのでは。特に学校の先生（普通学級の）が早い段階でコーディネーターさんを紹介していただける環境が大事。もっと勉強してほしい
- 内部障害で外見からは障害があることがわからないので、健常者なのに身障サービスを利用していると思われて注意されたことがある
- 日常生活で
- 白杖を持っていても、JR等の優先席をゆずってもらえない。朝早いJR（6：52）に乗って中央区の学校に行くとちゅう、優先席の前に立っていて、具合悪くなり「はきそうで立てられないと」言って床にすわりこんだのに無視された。
- 発達障害があることを話したとき、習い事の見学先の年配オーナーが「まだまだ差別する人もいるので自分以外にカミングアウトする必要はないですよ。」といつつ、その方が「そういう精神障害のある人でも大丈夫！」とフォローのつもりだろうが、一番わかってなくて精神異常のようなものだと思われていた。
- 病院で薬を受け取る際、治療費免除のためなのか、健常者に対する対応と違っていると感じる時がある
- 病院に移る時にことわられた
- 病院内
- 病気のせいで、仕事をおしえてもらえなかったり、かげ口を職員に言われた。
- 普段仲良く遊んでいるお友達に「支援学級にいるのは暴力をふるうからだ」と事実と違うことを言われた
- 本人自身は知的障害者のため自覚は無いと考えます
- 無知と思う。障害と聞くだけで、かわいそうな子と思われる。世の差別、言葉ばかりでなく、目とか、表情から読みとれて何人かが、辛い思いをしたことがある。
- 良くみえなかったり、視線があわないうまわりの人に理解されにくい

障がい福祉サービスや行政の取り組みについて、何かご意見がありましたら、自由にご記入ください。

- 「イメージ」や「みようみまね」でサービスを組みたてると、実際に障がい者本人が利用すると、とんちんかなサービスになっていることがよくあるので、本人や介護者にモニターになってもらいサービスを組んだり設備を作った方が良いと思います。
- 「障害」の高齢化、重度化に対応しなければならない施設はいくらあっても足りないと思います。一番は「心」のバリアフリーと思います。「施設」化でなく「地域」化です。いかに地域住民そして学校の教育機関において「障害」が「障害」でなくなるノーマライゼーション理念を実現させる具現化が必要と感じております。
- ◎わからないことがあると市役所におたずねしていますが、とても親切にお話をしていただけます。◎交通費の割引をうけると、手帳を見せるため、バックの中から取り出して、半額を現金で払いますが、色々バックの中から出すのは大変です。ICカード（キタカ）を使えるとありがたいのですが。
- 48才の長男ですが、周りの人の理解を得て暮らしています。今迄は恵まれて過して来たと思いますが、親が高齢になって一緒に暮らせなくなった時、どうすれば良いかはまだ決めてないのが心配です。
- B判定ですが、A判定ほどの助成があってほしい
- いつも、お世話になっています。いろいろたすけてもらいながらおかげさまで元気にやれています。急なことにすすぐに動いてもらっていつもたすかっています。ありがとうございます。
- いつも市民一人一人の困りごとや要望をきいてくださり、ありがとうございます。時には難しく問題解決まではいかない事もありますが、それに変わるものを提案して下さったり一緒に考えてくださる、その気持ちだけで感謝の気持ちでいっぱいです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- いつも障がい福祉サービスに感謝しています。ありがとうございます。
- いつも大変お世話になっております。市はいつも障がい者本人や家族に対しとても親切に対応して頂いており、感謝しています。今後も障がい福祉サービスがいつそう充実したものとなりますよう、よろしくお願いいたします。
- グループホームを将来利用したいが、北広島では女性の為のグループホームが存在せず、男性のみなので改善してほしい
- ここ数年、本州を始めとする様々な地域で生活してきました。その中でとてもよく市役所を始めとする行政の対応の良さに救われてきました。正直、親、兄弟より親身になって下さり助けてくださいました。それぜひ市役所職員や行政の方に一貫してほしいと思います。本当に必要としている弱者を助ける、そして見極めてよりよい市にしてほしいと思います

- このアンケートの回答に封筒が小さくて入れるのにこまった。
- このアンケートを回答する上で、内容を要約してお伝えする必要のある項目が多数あり、合理的配慮の観点で考えるともう少し分かり易い解説が必要と考えます。私達の事業所は言葉を発したり、意思表示も難しい方も居るので場合によってアンケートを取る側が実際に訪問し聞き取り、実態を確認する取り組みも必要と考えます。支援者の回答ありきになると偏りが考えられます。
- これからも色々よろしくお願いします
- サービスや取り組みは本当に助かっていますし、それに対応できない本人、家族もいるようで、守ってあげる事も大切ですが自分たちで前を向く支援が必要なようです。何度も病院や相談窓口等にことわられ、たらいまわしにされ外に出る事も人と話すことも嫌いになった人も多々います。経験上だまって最後迄話を聞いてくれる人が必要だと思いました。
- サービスや取り組みも人間が行う事なので、人間性の豊かな人が行政や福祉の仕事をする人の中に、たくさんいる事を祈っています。
- ショートステイをもっと気軽に頼めるようになってほしい。医療行為があると頼めるところが少ない。災害時が一番不安です。床に寝る事もできず、オムツ交換もとなったら周りが気になって結局、車中にいた方が良いのか？と。一時的なら皆と一緒に避難所に居れるかもしれませんが、泊まるとなると難しいのかなと思ったり、どうしたら良いのか心配です。
- ストレス、高齢化など福祉への対策やより充実した細やかな障害者や一般健常者との和をつくる事。経済面も下方へ向かうのではなく
- トイレの不自由はいつもかんじます。もし避難になった時に障害用にちょっと広いトイレがほしいです。
- マイナンバーがあっても色々な手続きが簡単にならないのはなぜでしょう。提出書類が多すぎる。
- もう少し行政の簡素化希望です。同じ様な書類が多い気がします。親が亡くなり、みる人が居なくなった場合の対応がどうなるのか、たとえ身内が居てもその人が対応出来ない場合に行政としてどの様に対処するのか、してもらえるのかが心配です。
- もっと柔軟に一人ひとりに合わせてサービスを組み合わせられるようにしてほしい。年金をもう少し上げてください。(今の額じゃひきこもらなきゃ生活できない!) 問41の記入欄が狭すぎて思いを伝えきれません!(ここの記入欄もたりないくらい!)
- ルビにより行間が狭くなり、読みづらいです。ルビを付けたうえで行間を空けていただけたら良かった。フォントも明朝 e t c 細かいものは見づらいです。申請書も見やすく改定頂けると良い。節電時、薄暗い中で書類を記入した事がありました。福祉課でのその対応は残念でした。ボールパークが誘致できたら、UD-C a s tなどを利

用した情報のバリアフリーも盛り込んで頂きたいです。視覚障害なので手元で情報が欲しいです。

- 一見普通に見える、軽度発達障害の子どもたちへの理解と支援がもう少し充実すればいいと思っています。特に、「理解」される事。知らない方達（保護者、子ども）が多すぎるように思います。
- 一番心配なのは妻、子供が急に倒れた場合、救急車を連絡できるかどうか不安です。僕は耳が聞けないのでTEL出来ません。すぐ連絡とれる方法があれば助かります
- 家族が介護できなくなった時、細かいサービスが受けられず、活動の範囲が制限されるのではないかと心配。社会生活の場に少しでも参加する機会を持たせ続けられるのか不安。家族以外の方が障がい者の権利や生活を守ってくれるのか確信が持てない。
- 現在、3級障害年金を受けているが、基礎年金でないので国の手当が少ない事がある。例えば基礎年金の人は3万円で、基礎年金でない為、少ない額しか受けられない。平等にして欲しい。
- 現在は家族と生活していますが、入所しなければならなくなった時、希望の施設への入所がスムーズに出来るのか？心配です。福祉の仕事をする人達にとって職場が輝いている事を願っています。
- 現在入院している病院が遠く、将来北広島市内の病院に入所したいと考えており、病院のあつせん業務が出来ればありがたい。
- 公共交通機関、特にバスの本数が少なく料金が高い。JR上野幌駅一大曲地区の運行がない。JR利用が新札幌まで行かないといけない。時間がかかり料金の負担が大きい。コミュニティバスがあると良いと思います。
- 行政の取り組みはよくなっていると思いますが、事業所が行政と同じ方向をむいているとは思えません。学校教育現場は説明会などへの参加はしますが何も変わらない。序章がよかったのできたいして読み続けていたが結果もややしか残らなかった。ダメ小説みたいです。
- 行動援護での支援を受けたいが、行動援護を行っている事業所が少なく「行動援護」の名称はあってもヘルパーの高齢化などで、移動支援より質の高い支援が難しい現状もあります。市で行動援護従業者を増やす取り組みはできないでしょうか？また、重度障害者も暮らせる（24時間介護・支援者がいる）グループホームが、少しずつでも（増えて）できてくれたら、嬉しいです。
- 高次脳機能障害という一見わかりづらい障害に対しての理解とサービスを受けられる場所がほしい
- 高齢な両親との生活にピリオドを打つ時期が突然来る前に家族以外の人との生活を体験し、いつでも移行できる準備をしなければと思っています。この時期に、受けられるサービスの充実を願っています。（今の時点で両親70代です）

- 今のところ上記のとおりですが、年を経た時に、何かあるかも知れません。よろしく  
お願い致します
- 今は自分で動く事が出来て、家族の手助けがあるので、自分から調べてサービスを受  
けた事はありません。ネット社会の中で、どの位、どのように手続きをして…という  
事が良く解りません。個々の手助けになる行政（細かい）であったら助かると思いま  
す。
- 今は小学生です。これから先の方が不安と心配があります。安心して大人（自立）に  
なれることが、私たち家族の願いです。
- 今は必要ないサービスも、今後必要になるかもしれないので、色々なサービスがある  
とありがたいです。
- 今生活している施設が古くなっているので、補助金などで環境を整えて欲しい
- 今入所しているグループホームへの支払い代金が少ない障害者年金で支払うのが大変  
だ。
- 在宅の障害者の病気や健康は、同居の家族の管理まかせとなっておりますが、通所施設  
や福祉施設などに予算などを使ってどの人も健康チェック（歯、その他）を義務づけ  
るなどしていただくとギャクタイなどを見つけたりする事も出来本人のために良い  
のではないかと思います。※イメージは小学校などの集団検診です
- 仕事から帰って来てから（4時30分～）や土曜日や日曜日の仕事が休みの時に家に  
居るばかりなので、気軽に行ける場所を作って頂きたいです。（ストレッチをしたり、  
悩みを相談出来る場所）体を動かす事があまりないので運動させて頂ければなお良い  
です。
- 市の福祉サービスには大変感謝しております。足りないところを助けていただけると  
が一番有難いことです。
- 市内の支援事業所に対し、市独自の給付金を増やしヘルパー確保につなげてほしい。  
ヘルパー不足でサービスを利用したくてもできないです。障がいのある人の住宅補助  
金を拡充して下さい。働く場を増やして下さい。企業をもっと誘致して下さい。
- 市役所の職員さんは聞いたことしか教えてくれない。
- 市立公立小中学校の特別支援教育に対しての取組みで学校によって差があり、進んで  
いるところもあればほとんど障害に対して理解不足の学校がある。障害に対しての理  
解は子供時代から学んでいかなければ偏見はなくならないと思うのと、公立小中学校  
では福祉教育をしっかり学べる環境を作してほしい
- 施設の入所で本人にあったところというのか、あうような場所が親としてはなかなか  
見つけられず、子もイヤな気持ちで過ごし、職員さん方も気を付けてくれるのでしょ  
うか。職員さんの人数も少なく忙しいので大変なののでしょうか。その子の性格的な事  
を見て接してほしいと思うのです。親の無理な願いでしょうかね？※見えても子が  
心を開かないと無理なのかもしれませんが。

- 私は障害者だと思っていない。ふつうに働けます。もともと障害者ではない。
- 児童として答えるアンケートとしては答えにくかった。
- 児童の活動の場は多いですが、学校を卒業した人達の余暇の場所が少な過ぎです。施設開放事業等は、児と者の受け入れ人数のバランスを再考して下さい。
- 自分にどういうサービスが受けられるのか、教えてくれることがないので、今まで受けられるべきサービスを受けていなかったことが多々あります。もっと積極的にサービスの内容を教えてほしい。
- 自分自身の障がいについてわからない所が多く、とまどったり、生き辛さを感じるので、「勉強会」など「サークル」をもっと使ってみたいので、そのような場がもっとあればいいなと思いました。又、障がいをもっている、特技を生かせたらどんなに自信がつくことかと思うので、どんどん芸術面、音楽祭、作文、アート展みたいなことも行ってほしいです。
- 手に職を持っているものです。元気でいるまで働きます。病気をしたら職を失うので年金だけで生活できるか不安です。耳が不自由なので補聴器が高く、いわゆるローン返済でやりくりしたり大変です。今は補聴器も高く、市の負担でも残りは自費で大変です。耳にあったものを買わないと仕事でお客様と上手につきあえないのが現状です。もっと安く協力して欲しいです。
- 受けられる福祉サービスが分かりにくい。支援センターに行っているが職員に聞いても分からず、教えてくれなかったので分からない事があった。一緒に利用していた人にたまたま教えてもらう事が出来たサービスがあった。行政の取り組みやサービスが書いてある（まとめてある）冊子を送付して頂けると目を通せるので助かります。
- 就労する年齢になった時に受け入れられる事業所等があるか心配です。今現在でも不足していて、基本的に病気や高齢で亡くなるまでずっと居るので、新規で入るのが難しいと聞きます。本人の能力にあった仕事につくというより、何でも良いから受けてくれる所をと入る様な現状をどうにかしてほしい。
- 就労できるようになりたいです。そのための幅広い援助を期待しています。
- 就労の場、生活の場が地域の中で埋まっていけるよう取り組んでいただければうれしです
- 就労継続支援A型をもっと増やしてほしい。北広島市のバスの料金を割引してほしい。（精神障害者手帳で）
- 重度の知的障害者は福祉サービスの申請そのものがないので、本当に重度の人（IQ50以下）のために、親が保護する能力がなくなった後、行政が身元を引き受ける制度を作ってほしいです。「のたれ死に」することになると行政やご近所の負担がより大きくなってしまいます。重度になると本人は人権とか社会的ルールなどの価値観は存在しません。

- 小学校までは言葉の教室やコムキタルームに通えていましたが、中学校、高校になると支援してくれる場所がなくなり、中学校の支援級の先生にお願いすることが多くなり、負担を掛けてしまいます。中学、高校や社会でコミュニケーション能力をどのように身につけていけば良いか悩んでいます。学校の帰りに週や月に何回か通えるコミュニケーションスクール（支援級の子も通える）のような場所があるとうれしいです
- 障がい者が受けられる行政や民間のサービスや相談窓口等をまとめた冊子の発行
- 障がい者も働ける場所を増やして下さい。将来が不安です。
- 障がい者福祉サービスは沢山あるけれど、障がいを持った人が必要とする内容が他にもあるのではないのでしょうか？ 人材確保は大変なことですが、現在増加されている発達障がいは早期支援によって変わることがあると思うので、施設や事業所、学校、保護者と行政の繋がりが大事だと思います。北広島市が住み良いまちになることを願っております
- 障がい者枠の職場がもっとたくさんあればいいと思います。
- 障害があっても、出来る事は多いです。市役所などの掃除や花の手入れ、図書の整理など働く場を下さい。（身につけるまで時間はかかるかもしれませんが、身につけるときちんとやります。手をぬく事ができません。）
- 障害者が健常者並の生活が送れる事は理想的であるが、現実的ではない。資金がいくらあっても足りない。そこは最低限で良いのだと思う。他にも行政に求められている事はあらず。狭い部分ではなく広い範囲での投資を望む
- 障害者で就労していますが、現在1年毎の更新です。今後定着する様な動きもありますが、次回契約の時に試験がある様です。障がいで知的な遅れもある為難しいと思います。継続的に雇用できる様な制度になればと思います。（筆記試験は本人にとって大変苦手で、難しいものです。）
- 障害者手帳を取得していますが、3級は全く制度を利用出来ず、何の為に存在しているのか意味が解りません。
- 職業安定所や市役所または自立支援施設や道庁などが、もっと関心を持っていただき、そのような組織がうまく機能すると、障がいを持っていても、あたり前に生活できるように対応してほしいです。
- 親が介護をできなくなった時に、入れる施設が北広島市内であるのか心配です。入居者が定員いっぱいである場合、断られるのでしょうか、不安。高校卒業後、就労支援又は生活介護どちらかにでも入れる空きがあるのでしょうか？市域で通える場所が良いと考えていますが、入れるのか心配です。市民が入れず市外を探さなければならない状況になるのでしょうか？
- 親が生存の間は色々な面、行政等と相談できることもあるが本人が1人になった時、非常に不安を感じます。

- 精神障がいと7年前に手術した側わん症の後遺症をかかえています。精神科の方に障がい者として認められています。整形の方は身体障がいと認められていません。身体もかなり不自由で冬は通院にタクシーを使わざるを得なく、身体障がい者と認められればきっと補助もできるのですが。
- 精神療養・発達障がいへの理解・支援の充実化をお願いしたい
- 息子が30才をむかえ、主人が定年が近くなりこの先どうしたらよいか悩む。息子の調子（体調）も少しずつ悪くなり、介護する私は老いを感じる事が多くなった。ショートステイの受け入れも「1回も受けられない人もいるんだよ」との言葉に頼むのにもためらいがある。ショートステイができないと考えると休息をどうとろうとか、予定が全くたてられないとか気分が落ち込む。
- 他市より北広島市行政は取り組みについては進んでいると思います。しかし、障がい者各々が異なった事情を抱えており、それに即しての対応の柔軟性だったり、実状の実態が把握できていなかったりと思われることが最近多いと思います。より良い福祉の向上性には失礼ですがまだまだ不勉強ではないかと思われます。より一層の配慮を望みます。
- 地域で暮らしたいと思ってもグループホームなど数が少なく難しい現状です。特に女性のグループホームが少ないので増やして欲しいです。重い軽い障害に関係なく地域の方々と一緒に暮らせる安心した北広島市になってほしいです。
- 通院の交通費について、毎年上限の倍以上なので半額より多く自費のため家計が苦しい。介護タクシーの情報や事業所、参入者を増やして欲しい。通院ではなく通学や通園の際毎日使用するとなると、タクシーチケットが足りない。オムツ券が不便なので、おしり拭きや尿器、清拭剤など日用品も使えるか商品券の方が便利。
- 通勤で札幌へ。札幌まで通勤しています。交通費は会社からは出てはませんが、北広島市から交通費の半額が助成されます。とても有難い制度だと思います。ありがとうございます。
- 点字ブロックが非常に少ない。福祉センターに行った時は驚いた。駅構内も少ないと聞いている。北広島市は長く在住しているが「福祉のまち」とは思えない。恵庭や千歳と違い札幌が近いので、住人も市職員も腰かけの街として将来は札幌市へと考えている人が多いように思う。北広島市をどのような街にするか真剣さを感じない。
- 特に要望等はありませんが、今以上に福祉の町（市）北広島市がもっと福祉最先端の市（町）になる様に望んでおります。
- 内職を支援会社を教えてください。
- 日頃障がい福祉サービス（行政の取り組み）深く感謝申し上げます
- 日常生活では問題がありつつも、なんとか工夫して生活できているけど、緊急の時が不安。だからといって何でも登録するとか個人情報さらすのも不安。みなさんを信用してない訳ではないけれど、最近色々なニュースがあるので。USB紛失とかサ

イバー攻撃とか、不自由だけどサービスを利用するほどでも…というグレーな部分だけど、やっぱり色々不安や相談を聞いて欲しい時がある

- 日常歩行して居る折、歩道がUP/DOWNが又は、破損が有り、歩きづらく、冬場は特にひどい状況に有り除雪もしっかり行って頂きたい。更に住宅街をかなりのスピードで車が走る事が有る。夜間地域を警戒パトロールと定期巡回も行ってほしいと思う。
- 年々障害をもっている子が増えていると思います。その親を支えてくれる場、乗り越えられる環境を作ってほしい。みんな悩んでいます。ムーブメントレインボーなどの活動はとてもいい場だと思います。広めてみんな幸せになれる様に活動支援をよろしくをお願いします。
- 発達支援センターを使用できるのは幼児まで。小学校から急に相談するところもリハビリも出来ないことに今から不安があります
- 発達障害の当事会の活動を充実させたい。当事者、一般の方への啓蒙理解をすすめて、だれもが住みやすい社会となるよう、自分の出来る事をしていきたい。ピアカウンセリングも出来ればと思う。
- 避難セットがない。
- 普通の生活をしていたら福祉サービス等は全く分からない事が多く、みらいさん事業所さんにお世話になりっぱなしです
- 福祉サービスには感謝しております。ただし、今後有料になったり負担が多くなると生活出来ないし、レンタル品の負担増になると、借りたい物が借りられず生活の範囲が狭くなったり、支障が起きますのでフォローをお願いします。
- 福祉施設に通いながら一般就労を目指していますが、公共交通機関を使って遠くまで通うのがむずかしいので、地元就労を希望していますが、なかなか地元の求人が少なく思うようにはいきません。障がい者雇用をする企業や会社等が少ないという事です。ね。上野市長！耳を傾けて下さい。
- 補装具等の申請に関し、認定して頂けることが多く、経済的、子どもの自立支援のためにもとても助かっており、感謝しています。今後、成長に伴い、必要なものが変わったり、本人が相談することもあるかと思いますが、よろしくお願いします。札幌や他の管内市町村と比べても手厚く支援して頂けてありがたく思います。
- 法律や障害者に関わる情報をつねに教えてほしい。市役所に聞きにゆくのではなく、インターネットをする人ばかりいるわけじゃないので、市役所では障害者を把握しているのだから、本人に通知してほしい
- 北広島市には女性のグループホームが足りないと聞いていますが何故でしょうか。公的施設（特別養護老人ホーム）も足りているのでしょうか。

- 北広島市に交流の場所を早く作って欲しい
- 北広島市は他市に比べて、障がい福祉が充実していてありがたいです。療育も子育て支援の一環とのことで、自己負担分を市で負担してくれたり、発達支援センターの先生方も親身に相談にのってくれます。障害のある子どもを加配を付けて受け入れする幼稚園が市内に少ないようなので、もう少し選択できると思います。
- 北広島市は福祉サービスに力が入っていると思います。障がい児が住みやすい町だと思います。ただ、児童デイサービスの数がとても少ないのが残念です。
- 本当に言葉が全く話せず（理解できず）周囲と全くコミュニケーションのとれない最重度の障害者にとっては、どんなに制度を充実させても本人は申請できず利用出来ません。親が死んだり重病になり、子の介護ができなくなった青年期以降「みよりのない重度の障害者」がワンストップで安心して生きていける介護制度（一度入所したら医師や職員の診断で継続して同じサービスが死ぬまで受けられるような）があってほしいです。今は申請書類や手続きが多すぎます。
- 有りがとうございます
- 用語が理解できない用語。「障害者手帳」とは何をさすのですか？「身体障害者手帳」ですか？又は問10～13、14の設問ですか？
- 率直な意見です。ダウン症の子どもがおり、現在子供を通じて年に数回、関東（主に東京、神奈川）の人達と交流を持っていますが、発達支援センターでの取り組み、そして小学校の学習指導等全般に渡り高度なものではなく残念に思います。加えて障がいを持つ子ども達の受け入れをして頂ける習い事の充実も全く足りません。「あたたかいご指導」はとても感じておりますが、自立してからの健常の人達との壁がより厚くなる気がします。
- 療育手帳、精神障がい手帳のサービスが少なすぎる。（例タクシーチケット・ガソリン券・公共交通機関の割引等

